

保健衛生事業の概要

令和 7 年度実施

(令和 8 年度版)

四日市市

目 次

第 1 章 総説

1. 概 要	P. 1
2. 沿 革	P. 1
3. 人 口	P. 2
4. 保健所の組織及び事務分掌	P. 3 ～

第 2 章 事業の実績

I. 健康づくり課	P. 5 ～
II. 保健企画課	P. 2 7 ～
III. 保健予防課	P. 4 2 ～
IV. 衛生指導課	P. 6 8 ～
V. 食肉・衛生検査所（旧：食品衛生検査所）	P. 8 1 ～
VI. こども家庭センター	P. 8 5 ～
VII. 保健所内	P. 1 1 8 ～

第1章 総説

1. 概 要

四日市市は三重県の東北部に位置し、西は鈴鹿連峰、東は伊勢湾に面して北勢の中心を占めている。面積は、206.50k m²。

平成19年10月21日に保健所政令市に関する政令が公布され、保健所の設置が承認された。所管区域は、本市の行政区域であり、これまで市が行ってきた母子保健、成人保健、老人保健などの業務に加え、三重県が行ってきた精神保健、難病、感染症、結核、食品衛生、医務、薬務、生活衛生などの、より専門的な業務を担当することとなった。それにより医療・福祉・教育などと連携した総合的な保健衛生行政を効果的に推進し、市民のニーズに応じたきめ細かい保健衛生サービスが可能になった。

2. 沿 革

年 月 日	事 項
	【主な経緯】
平成 17 年 2 月 7 日	楠町との合併により、中核市要件を満たす。
平成 18 年 11 月 22 日	市長が20年4月の保健所政令市移行を目指すことを表明。
平成 19 年 10 月 21 日	政令公布 保健所政令市の指定に関する政令が公布され、保健所の設置が承認。
平成 20 年 4 月 1 日	保健所政令市移行に伴う機構改革により健康部が創設され保健所業務を所管する。
平成 21 年 9 月 24 日	保健所事務部門を県四日市庁舎より四日市市総合会館へ移設。 機構改革組織変更により、保健衛生検査室と食肉衛生検査所を統合し、保健所組織の食品衛生検査所とする。
平成 25 年 4 月 1 日	機構改革組織変更により、健康福祉部内に保健所を設置。母子保健についてはこども未来部の所管とする。
平成 26 年 4 月 1 日	四日市市食品衛生検査所新築に伴い、食肉衛生検査部門を県四日市庁舎より移転。
令和 5 年 4 月 1 日	機構改革組織変更により、保健所内に保健企画課を新設する。
令和 8 年 4 月 1 日	機構改革組織変更により、食品衛生検査所の衛生検査部門を鈴鹿山麓リサーチパーク内に新たに設置した衛生検査センターへ移転し、食品衛生検査所を食肉・衛生検査所とする。

3. 人 口

1) 年次別人口推移

(各年 10 月 1 日現在)

年 次	世帯数 (戸)	人 口			人口密度 (1km ² あたり)	備 考
		総数 (人)	男性 (人)	女性 (人)		
令和 7 年	147,072	305,223	153,321	151,902	1,478	
6 年	145,962	306,749	154,072	152,677	1,486	
5 年	144,956	308,248	154,982	153,266	1,493	
4 年	144,556	310,113	156,002	154,111	1,502	
3 年	142,498	310,110	155,643	154,467	1,502	

2) 年齢階層別人口推移

(各年 10 月 1 日現在)

年 次	人口総数 (人)	年少人口※1		生産年齢人口※2		老年人口※3	
		実数(人)	構成比 (%)	実数(人)	構成比 (%)	実数(人)	構成比 (%)
令和 7 年	305,223	35,142	11.5	189,312	62.0	80,769	26.5
6 年	306,749	35,908	11.7	189,947	61.9	80,894	26.3
5 年	308,248	36,782	11.9	190,647	61.8	80,819	26.2

※1 年少人口 0～14 歳 ※2 生産年齢人口 15～64 歳 ※3 老年人口 65 歳以上

[年少・老年・従属人口指数及び老年化指数] 令和 7 年 10 月 1 日現在 () : 令和 6 年

・年少人口指数	18.6 (18.9)	・老年人口指数	42.7 (42.6)
・従属人口指数	61.2 (61.5)	・老年化指数	229.8 (225.3)

年少人口指数＝年少人口÷生産年齢人口×100

老年人口指数＝老年人口÷生産年齢人口×100

従属人口指数＝(年少人口＋老年人口)÷生産年齢人口×100

老年化指数＝老年人口÷年少人口×100

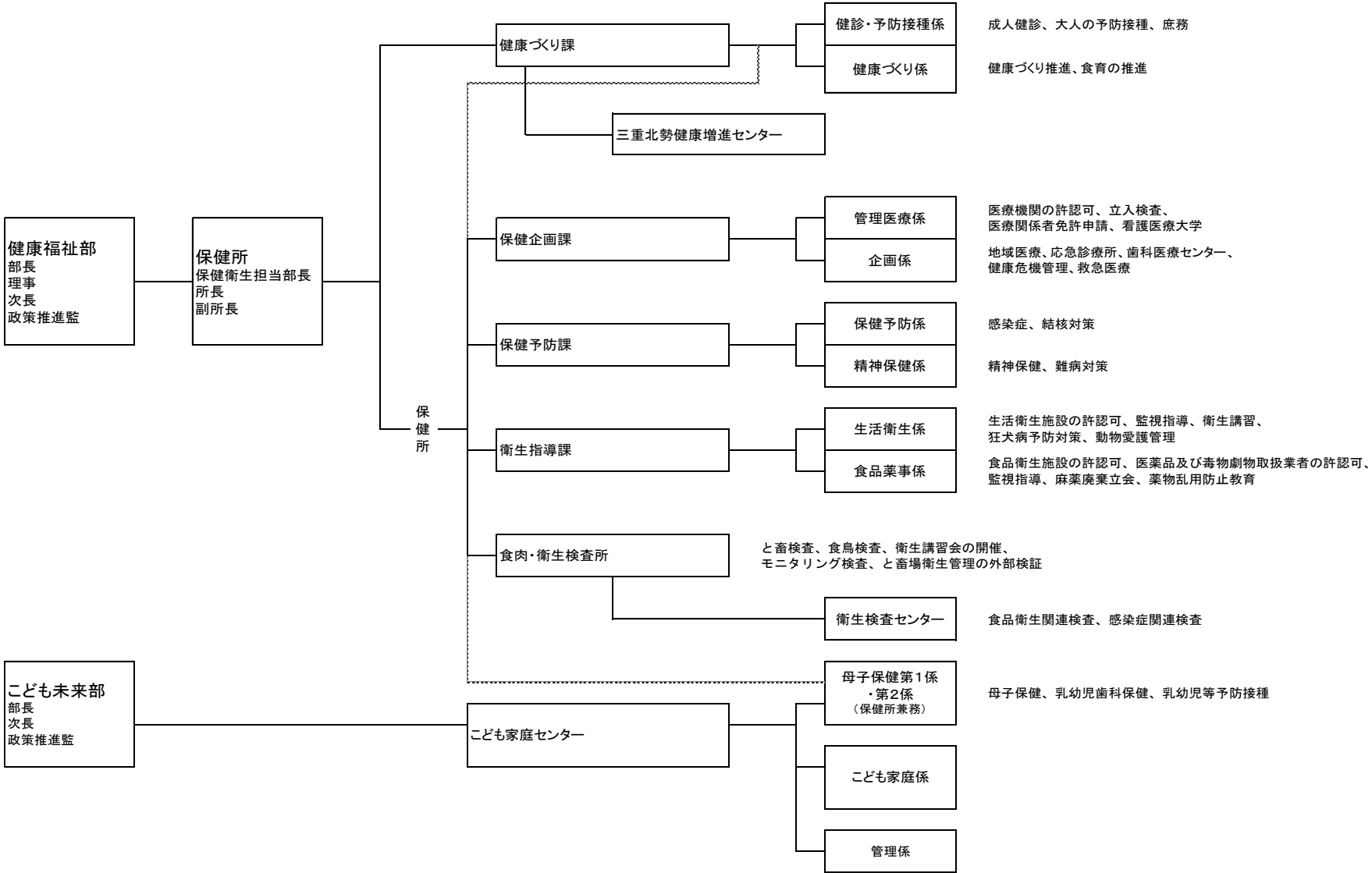
4. 保健所の組織及び事務分掌

職員配置(令和8年4月1日現在)

		医師	歯科医師	獣医師	薬剤師	保健師	助産師	看護師	歯科衛生士	理学療法士	作業療法士	管理栄養士	臨床検査技師	診療放射線技師	その他の職種	事務職	会計年度任用職員 (フルタイム)	再任用	合計
健康福祉部																			
	部長															1			1
	保健衛生担当部長															1			1
	理事兼保健所長	1																	1
	次長、社会福祉事務所長、こども未来部次長															1			1
	保健所副所長															1			1
	参事															1			1
	政策推進監															1			1
健康づくり課	課長					1													1
	健診・予防接種係					4(1)		(1)								4			8(2)
	健康づくり係					5						3					(1)		8(1)
	健康増進センター															4		(1)	4(1)
健康福祉部保健所																			
	保健衛生担当部長															(1)			(1)
	理事兼所長	(1)																	(1)
	副所長															(1)			(1)
保健企画課	課長(保健所副所長兼務)															(1)			(1)
	副参事、課長補佐															1			1
	副参事(統括保健師)					1													1
	管理医療係					1										1		1	3
	企画係															3			3
保健予防課	課長															1			1
	課長補佐、精神保健係長															1			1
	保健予防係長					1													1
	保健予防係					3										1			4
	精神保健係					5										3		1	9
衛生指導課	課長															1			1
	副参事、課長補佐					1													1
	生活衛生係			3	1											2			6
	食品薬事係			2	5											1			8
食肉・衛生検査所	所長			1															1
	副所長															1			1
				13												1			14
	衛生検査センター												5			1	(1)		6(1)
こども未来部																			
	部長															1			1
	次長、こども未来課長															1			1
	次長、健康福祉部次長															(1)			(1)
	政策推進監															1			1
こども家庭センター	所長															1			1
	副参事、所長補佐					1													1
	所長補佐・こども家庭係長					1													1
	こども家庭係					1									1	2	5		10
	管理係														1	3	1		5
	母子保健第1係					7					1(6)					1	(3)	(1)	9(10)
	母子保健第2係					8	1		1								(1)		10(1)

()内の数字は再計

〈令和8年度〉



第2章 事業の実績

I. 健康づくり課

1. 成人保健事業

1) 健康管理のために

(1) 健康手帳の交付

健診・保健指導等の記録、その他健康の保持のために必要な事項を記載し、自らの健康管理に役立てるために健康手帳を交付した。

交付者数（人）

	令和7年度	令和6年度	令和5年度
40歳～74歳	144	126	148
75歳以上	139	114	145
合 計	283	240	293

平成30年度以降、厚生労働省のホームページから直接ダウンロードでの交付を併用

(2) 健康相談事業

健康相談を行い、市民の健康保持増進を図った。

実施状況 40～64歳【（ ）内は20～39歳】

	実施回数	相談延べ実施人数		
		令和7年度	令和6年度	令和5年度
あさけプラザでの相談	週2回	2 (0)	0 (0)	2 (0)
健康づくり課等での相談 (来所)	随時	1 (0)	8 (6)	6 (0)
電話による健康相談	随時	32 (5)	22 (0)	18 (1)
依頼による相談	随時	4 (0)	2 (1)	5 (3)
健康教育と併設	随時	0 (0)	0 (0)	0 (0)
合 計		39 (5)	32 (7)	31 (4)

65歳以上は、3)介護予防事業の(1)健康相談に計上

(3) 検診等

疾病を早期に発見し、適切な治療及び生活習慣の改善につなげるため、各種検診を実施した。

検診受診状況

区分	年 度		40 歳以上					40 歳未満		
			対象者数 (人) ※1	受診者数 (人) ※2			受診率 (%) ※3	受診者数 (人)		
				地区 巡回	医療 機関	合計		地区 巡回	医療 機関	合計
胃がん検診	令和7年度	バリウム	84,031	1,277	3,952	5,229		0		0
		内視鏡			5,928	5,928				
		合計		1,277	9,880	11,157	9.0	0		0
	令和6年度	バリウム	83,172	1,598	4,257	5,855		0		0
		内視鏡			5,676	5,676				
		合計		1,598	9,933	11,531	9.0	0		0
	令和5年度	バリウム	81,728	1,568	4,167	5,735		0		0
		内視鏡			5,448	5,448				
		合計		1,568	9,615	11,183	8.7	0		0
乳がん検診	令和7年度	マンモグラフィ	59,280	2,508	4,539	7,047	18.1			
		エコー		506		506		250		250
	令和6年度	マンモグラフィ	59,544	2,697	4,682	7,379	18.3			
		エコー		490		490		273		273
	令和5年度	マンモグラフィ	59,679	2,745	4,578	7,323	17.8			
		エコー		455		455		302		302

結核検診・肺がん検診	令和7年度	122,482	2,765	13,469	16,234	5.4	0		0
	令和6年度	122,952	2,914	13,109	16,023	5.5	0		0
	令和5年度	123,063	2,871	12,101	14,972	5.2	0		0
大腸がん検診	令和7年度	122,482	2,481	16,299	18,780	6.5			
	令和6年度	122,952	2,647	16,336	18,983	6.7			
	令和5年度	123,063	2,668	15,387	18,055	6.4			

検診受診状況

区分	年 度	20歳以上の女性					
		対象者数 (人) ※1	受診者数(人) ※2				受診率(%) (20～69歳) ※3
			地区 巡回	医療 機関	妊婦健診 での受診者	合計	
子宮頸がん検診	令和7年度	90,775	1,493	9,200	1,983	12,676	18.3
	令和6年度	90,882	1,579	9,493	2,025	13,097	18.6
	令和5年度	91,301	1,641	9,200	1,962	12,803	18.2
HPV 検 査	令和7年度		55	732	329	1,116	
	令和6年度		90	850	360	1,300	
	令和5年度		93	867	338	1,298	

※1 対象者数は、40～69歳(ただし、胃がん検診は50～69歳、子宮頸がん検診は20～69歳)を計上。

※2 受診者数は、40歳以上(子宮頸がん検診は20歳以上)を計上。

※3 受診率は、下記計算式にて算出。

(胃がん検診受診率算出方法)

＝(「前年度受診者数(バリウム＋内視鏡)」＋「当該年度受診者数(バリウム＋内視鏡)」－「2年連続受診者数(バリウム＋内視鏡)」)÷「当該年度対象者数」×100

(乳がん検診・子宮頸がん検診の受診率算定方法)

＝(「前年度受診者数」＋「当該年度受診者数」－「2年連続受診者数」)÷「当該年度対象者数」×100

受診率は、※1を分母とし、※2のうち、40～69歳(胃がん検診は50～69歳、子宮頸がん検診は20～69歳)の者を抽出し算出。

検診受診状況（医療機関にて実施）

区分	年 度	受診者数（人）
		計
検査 肝炎 ウイルス	令和7年度	149
	令和6年度	136
	令和5年度	136

さわやか歯科検診（歯周病検診）受診状況

年 度	対象者数 （人）※	受診者数（人）							受診率 （％）
		20歳	30歳	40歳	50歳	60歳	70歳	合計	
令和7年度	22,012	89	157	132	231	261	291	1,161	5.3
令和6年度	22,941	120	170	159	210	234	279	1,172	5.1
令和5年度	23,112	122	158	180	238	242	320	1,260	5.5

※20歳、30歳、40歳、50歳、60歳、70歳の人口

（４）健康増進法健康診査・保健指導

各医療保険による特定健康診査の対象とならない、生活保護受給者等の40歳以上の人を対象とし、メタボリックシンドロームの早期発見、予防改善のための健診及び保健指導を実施した。

健康増進法健康診査・保健指導受診状況

年 度	健康診査			保健指導							
				動機付け支援				積極的支援			
	対象者数 （人）	受診者数 （人）	受診率 （％）	対象者数 （人）	受診者数 （人）		受診率 （％）	対象者数 （人）	受診者数 （人）		受診率 （％）
					初回面接	実績評価			初回面接	実績評価	
令和7年度	2,657	543	20.4	26	1	1	7.7	18	1	0	5.6
令和6年度	2,799	499	17.8	18	0	0	0.0	18	0	1	5.6
令和5年度	2,817	511	18.1	20	0	1	5.0	15	1	2	20.0

(5) 大人の風しん対策（風しん抗体検査・予防接種）

「先天性風しん症候群」の発症を防止するため、妊娠を希望している女性等を対象に風しん抗体検査及びワクチン公費助成（抗体価が低い人のみ）を行った。

また、今まで公的な接種を受ける機会がなく、抗体保有率が他の世代と比べて低い男性（昭和37年4月2日から昭和54年4月1日生まれ）のうち、令和6年度までに受けた抗体検査において抗体値が低いと判明した人で、長期療養を要する疾病にかかった人やMRワクチンの偏在等の理由でワクチン接種ができなかった人を対象に予防接種を実施した。

受診・接種状況

		対象者	令和 7 年度 受診・接種者 数(人)	令和 6 年度 受診・接種者 数(人)	令和 5 年度 受診・接種者 数(人)
妊娠を 希望する 女性等へ の補助	抗 体 検 査	妊娠を予定又は希望している女性	112	123	143
		同居者	98	112	157
		風しん抗体価が低い妊婦の同居者	74	53	48
		合計	284	288	348
	風しんワクチン等接種公費助成		257	235	300
追加的 対策	抗体検査		9	1,288	751
	予防接種			366	176

(6) 大人の予防接種

① 高齢者インフルエンザ

インフルエンザの予防と重症化を防ぐために、高齢者に対してインフルエンザの予防接種を実施した。

接種状況

	令和7年度			令和6年度			令和5年度		
	対象者数 (人)	接種者数 (人)	接種率 (%)	対象者数 (人)	接種者数 (人)	接種率 (%)	対象者数 (人)	接種者数 (人)	接種率 (%)
65歳 以上	80,769	42,287	52.4	80,894	41,378	51.2	80,819	44,575	55.2
60～64 歳	130	80	61.5	130	84	64.6	125	91	72.8

② 高齢者肺炎球菌ワクチン

高齢者の肺炎の予防と重症化を防ぐために、肺炎球菌ワクチンの予防接種を実施した。

定期接種については、65 歳から 5 歳刻みの年齢を対象とした経過措置が令和 5 年度末に終了し、令和 6 年度は 65 歳および 60 歳以上 65 歳未満で心臓、腎臓、呼吸器機能障害により身体障害者手帳 1 級を所持する者を対象とした。

接種状況

	令和 7 年度		令和 6 年度		令和 5 年度	
	65 歳 (人)	60～64 歳 (人)	65 歳 (人)	60～64 歳 (人)	65 歳以上 (人)	60～64 歳 (人)
定期 接種	1,396	19	842	11	2,681	11
公費助 成			113		76	

③ 高齢者带状疱疹ワクチン

高齢者の带状疱疹の予防と重症化を防ぐために、带状疱疹ワクチンの予防接種を実施した。

定期接種については、65 歳から 5 歳刻みの年齢に加えて 100 歳以上を対象として令和 7 年度より開始された。公費助成は 50 歳以上を対象とした。

接種状況

			令和 7 年度	令和 6 年度
定期接種	不活化ワクチン	1 回目	4,783	
		2 回目	4,614	
	生ワクチン		698	
公費助成	不活化ワクチン	1 回目	1,206	5,278
		2 回目	1,987	4,320
	生ワクチン		96	338

④ 高齢者新型コロナワクチン

高齢者の新型コロナウイルス感染症の予防と重症化を防ぐために、新型コロナワクチンの予防接種を実施した。令和6年10月から、高齢者新型コロナ予防接種が定期接種となった。

接種状況

	令和7年度			令和6年度		
	対象者数 (人)	接種者数 (人)	接種率 (%)	対象者数 (人)	接種者数 (人)	接種率 (%)
65歳 以上	80,769	3,116	3.9	80,894	8,481	10.5
60～64 歳	130	27	20.8	130	52	40.0

2) 健康づくり支援

(1) 健康教育

各種教室を実施し、健康増進、疾病予防を図った。

実施状況

教室	年度	回数 (回)	参加者数 (人)			
			延人員	実人員	40 歳以上	40 歳未満
カラダスッキリ塾	令和 7 年度	5	163	38	37	1
	令和 6 年度	5	114	29	27	2
	令和 5 年度	5	130	29	29	0
女性の健康づくり セミナー	令和 7 年度	3	85	36	30	6
	令和 6 年度	2	54	33	25	8
保健事業指導者 支援事業	令和 7 年度	2	64	64	56	8
	令和 6 年度	2	68	68	56	12
	令和 5 年度	2	78	78	64	14
乳がん予防 健康教育	令和 7 年度	56	3,264	3,264	3,014	250
	令和 6 年度	57	3,460	3,460	3,187	273
	令和 5 年度	58	3,502	3,502	3,200	302
出前講座	令和 7 年度	16	779	768	605	163
	令和 6 年度	18	364	355	291	64
	令和 5 年度	19	596	587	519	68
地区及び各種団体等 からの依頼	令和 7 年度	2	14	14	14	0
	令和 6 年度	6	110	110	94	16
	令和 5 年度	5	202	202	179	23
三重北勢健康増進 センター開催 健康づくり教室 (※)	令和 7 年度	129	1,535	471	471	0
	令和 6 年度	142	1,308	399	399	0
	令和 5 年度	146	1,161	352	351	1

(※) 令和 7 年 プール機械修理に伴い、教室開催数は減少

(2) 健康ボランティア開催による健康教育

健康ボランティアによる、地域での健康づくりの啓発や教室を開催した。

実施状況

参加者数（人）

年 度	ステキ健康サポーターによる活動	食生活改善推進員による活動
令和 7 年度	24,154	6,862
令和 6 年度	25,088	10,574
令和 5 年度	26,399	11,369

ステキ健康サポーター：生活習慣病予防をすすめるボランティア

食生活改善推進員：食生活改善をすすめるボランティア

(3) 健康ボランティア養成

運動実践や食生活の改善など地域で健康づくりを推進するため、健康ボランティアを養成した。

実施状況

教室	年 度	回数 (回)	参加者数（人）			
			延人員	実人員		
					40 歳以上	40 歳未満
ステキ健康サポーター 養成講座	令和 7 年度	5	32	8	8	0
	令和 6 年度	5	54	13	13	0
	令和 5 年度	5	79	18	16	2
食生活改善推進員養成 事業(栄養教室)	令和 7 年度	7	55	11	11	0
	令和 6 年度	7	81	13	12	1
	令和 5 年度	7	111	17	16	1

(4) 働く世代の健康づくり支援事業

① 地域職域連携推進協議会

地域保健と職域保健の連携により、働く世代の健康づくりに関する情報の共有や協働事業の実施等について協議する。

開 催 日	議 事
令和 7 年 8 月 21 日(木)	○人生会議に関する取り組みについて ○メンタルヘルス対策について ○認知症対策について ○健康づくり課の取り組みについて
令和 8 年 2 月 26 日(木)	○感染症対策について ○メンタルヘルス対策について ○認知症対策について ○健康づくり課の取り組みについて

② みんなの健康☆応援事業所登録事業

事業所の健康づくりを応援するため、登録事業所に対して毎月健康情報を配信し、事業所や従業員が健康づくりに取り組むきっかけを作った。

登録事業所数

(事業所)

	令和7年度	令和6年度	令和5年度
登録事業所数	173	170	169
健康情報を提供している事業所数	435	436(※1)	503

(※1) 組合加入事業所の加入状況の見直しにより事業所数が減少

③ 四日市をARUKUンピック

働く世代の健康の維持増進及び健康習慣の定着をはかるとともに、参加する企業が健康経営に取り組む端緒となることを目的として、スマートフォンのアプリを活用した企業対抗型のウォーキングイベント「企業対抗！四日市をARUKUンピック」を開催した。

参加状況

	参加事業所数	参加チーム	参加者(人)
令和7年度	47	199	954
令和6年度	49	180	875
令和5年度	46	133	631

④ こにゅうどうくんバーチャルスタンプラリー

スマートフォンのアプリの歩数計測機能を活用し、アプリ上の仮想コースを進み、イベント期間内に計71.9kmを移動することで完歩とするウォーキングイベントを開催した。

参加状況

(人)

	令和7年度
参加者数	374

(5) 啓発事業

市民が健康づくりに取り組むきっかけとなるよう啓発活動を実施した。

① がん検診受診について

- ・がん検診受診勧奨動画を作成し、市ホームページ、本庁舎案内板、市内商業施設、市内医療機関、YouTube 等での公開を行った。

② 健康づくりについて

- ・健康づくりへの関心を高めるため、健康情報冊子「ARUKU」「ARUKUvol.2」「ARUKUvol.3」について、地区市民センター、庁内窓口、企業、健康ボランティアなどを通じて配布を行った。

配布数

(冊)

冊子名	令和 7 年度	令和 6 年度	令和 5 年度
ARUKU	3,847	3,246	2,659
ARUKUvol.2	3,147	2,975	2,616
ARUKUvol.3	2,793	4,654	9,280

- ・街の中に「歩く」ことが浸透するように、「ARUKU」を基盤とした、啓発活動を実施

◆工事現場の仮囲等へのマグネット標示の設置 (1 か所)

本庁舎横ごみ倉庫外壁

◆ポスター掲示による啓発

掲示場所：市関連施設、国道 1 号線地下歩道橋、みんなの健康☆応援事業所、マイレージ特典協力店、商店街団体

- ・健康づくりに取り組むきっかけの促進を図るため、「健康マイレージ事業」を実施。一定のポイントのため、応募があった人に協力店で特典が受けられる「三重とこわか健康応援カード」を交付した。令和 7 年度からは、リーフレットと併用し、ポイント付与と「三重とこわか健康応援カード」の発行申請を健康アプリからも行なえるようにした。

対象者：四日市市在住、在勤の 18 歳以上

交付者数

(人)

申込方法	令和 7 年度	令和 6 年度	令和 5 年度
リーフレット	918	1,009	781
アプリ	142		
計	1,060	1,009	781

- ・市民が、継続して楽しみながら運動を実施できるよう運動の成果を記録で見える化することにより、運動習慣が身につくように促す「令和 7 年度 毎日をアクティブに暮らすために ARUKU+10」を実施した。(令和 7 年 11 月～令和 8 年 1 月)

対象者：四日市市在住・在勤・在学する 18 歳以上の人

参加者数

(人)

	令和 7 年度	令和 6 年度	令和 5 年度
参加者数	990	1,476	1,023

- ・市民の関心を高め、健康づくりの推進につなげるため、健康情報冊子「ARUKU」の動画版を市公式 YouTube チャンネルにて放映した。(令和 3 年 11 月 24 日～放映)

視聴回数(令和8年3月31日 時点)

(回)

	令和8年 3月31日時点	令和7年 3月31日時点	令和7年度 年間視聴回数
市街地編	1,709	1,621	88
南部丘陵公園編	2,044	1,836	208
垂坂公園・羽津山緑地編	2,675	2,427	248
中央緑地編	1,873	1,664	209
チェックパターンエクサ サイズ編	1,246	1,145	101
霞ヶ浦緑地編	179		179
楠中央緑地編	185		185

PR 編：本庁舎1階電子掲示板、本庁舎及び総合会館エレベーター前電子掲示板で放映

③ イベントにおける啓発活動

イベント名	第1回みなとランフェスティバル
日時	令和8年2月1日(日) 8:30~13:30
場所	四日市市中央緑地
内容	ARUKU 事業の啓発 健康情報冊子 ARUKU、啓発グッズ等 500 部配布

(6) 受動喫煙対策についての周知啓発及び相談

望まない受動喫煙が生じないように、ポスターやリーフレットの配布等による啓発や、市民・事業者からの受動喫煙に対する相談を行った。(健康増進法改正に伴い令和元年度から実施)

相談件数

	受動喫煙についての相談件数
令和7年度	21
令和6年度	13
令和5年度	12

(7) 熱中症予防の普及啓発

熱中症の発症を予防するため、市民への情報提供とともに、庁内関係機関、地域活動団体、職域等に働きかけ、市内全域へ熱中症予防に関する知識の普及・啓発を実施。また、6月20日~9月30日を熱中症予防強化月間とし、啓発の強化を図った。

① 健康だより(熱中症予防)の配付(5月号)

配 付 先	配付数	
	令和7年度	令和6年度
公共施設等市関係機関	1,556	1,021
地域活動団体	2,026	1,971
民生委員児童委員協議会連合会	688	695
健康づくり事業等	220	245
商工会等	0	80
医療機関	20	20
計	4,510	4,032

② 啓発ポスター・チラシの配付

	配付数	
	令和7年度	令和6年度
ポスター	725	611
チラシ	23,011	13,524

(配付先) ポスター：庁内、各地区市民センター、クーリングシェルター設置施設等

チラシ：各地区市民センター、クーリングシェルター設置施設、
 幼児健診、高齢福祉課、保護課（高齢者訪問時）、介護保険課（介護保険サービス事業者連絡会）、地域活動団体、健康づくり事業、
 集団がん検診案内、事業所（みんなの健康応援事業所）、保健予防課（講演会）、公園緑政課（ボランティア）、観光交流課（四日市まつり）等

③ その他周知・啓発

- ・地区回覧

6月 各地区市民センターお知らせ版

- ・広報よっかいち6月上旬号準特集
- ・四日市市公式ホームページ
- ・四日市市公式LINEへのバナー掲載
- ・四日市市安全安心防災メールの配信

7月1日、8月1日、9月2日に、啓発メールを配信

- ・暑さ指数、熱中症警戒アラート発表時の注意喚起
- ・庁内放送（市役所・総合会館）

6月20日～9月30日の期間、毎日10時に実施。

- ・地域活動団体、介護等関係団体への啓発

民生委員児童委員協議会連合会会議等において、高齢者の熱中症予防について啓発の協力を依頼

- ・企業、事業所等への啓発（6月実施）

みんなの健康☆応援事業所約170箇所へ「熱中症予防の注意喚起」と「環境省の熱中症予防情報サイト」についてメール配信

3) 介護予防事業（おおむね65歳以上の方対象）

(1) 健康相談

健康づくりや認知症、閉じこもり予防などの介護予防に関する相談を行った。

相談状況

(人)

年度	来所相談		依頼による 相談	電話相談 (ヘルシーガイド等)	健康教育 と併設	合計
	あさけプラザ	健康づくり課 窓口等				
令和7年度	2,344	183	10	73	0	2,610
令和6年度	2,420	185	10	80	0	2,695
令和5年度	1,858	184	15	76	4	2,137

(2) 訪問事業

健康づくりや認知症、閉じこもり予防などの介護予防に関する訪問指導を行った。

実施状況

(人)

年度	実人員			延人員		
	閉じこもり 予防	その他	計	閉じこもり 予防	その他	計
令和7年度	12	2	14	69	24	93
令和6年度	14	1	15	65	9	74
令和5年度	17	0	17	67	0	67

4) 栄養指導・食育推進ネットワーク事業

(1) 給食施設指導

健康増進法に基づき、特定多数の人に継続的に食事を供給する施設に対して栄養管理指導や研修会を行った。

① 給食施設巡回指導

令和3年度・4年度の巡回指導は、新型コロナウイルス感染症の影響により、三重県の動向等を踏まえ中止としたが、啓発資料等による情報提供を実施した。

令和5年度から巡回指導を再開した。

実施状況

(件)

		令和7年度	令和6年度	令和5年度
学校	特定給食施設指導数	0	0	0
	一般給食施設指導数	0	0	0
病院	特定給食施設指導数	9	9	9
	一般給食施設指導数	4	4	4

老人保健施設	特定給食施設指導数	2	0	0
	一般給食施設指導数	2	0	0
児童福祉施設	特定給食施設指導数	4	7	14
	一般給食施設指導数	4	3	12
老人福祉施設	特定給食施設指導数	2	1	2
	一般給食施設指導数	7	7	2
社会福祉施設	特定給食施設指導数(※)	0	0	0
	一般給食施設指導数	4	0	2
事業所	特定給食施設指導数	3	0	0
	一般給食施設指導数	2	0	0
寄宿舍	特定給食施設指導数	0	0	0
	一般給食施設指導数	0	0	0

(※) 指導対象施設なし

② 給食施設研修会

実施状況

開催日	利用者数 (人)	内 容
令和 8 年 2 月 25 日 (水)	51	講義:「日本人の食事摂取基準 2025 年版の運用・実践について」 講師: 鈴鹿医療科学大学 准教授 大槻 誠 氏

(2) 栄養成分表示等に関する相談

食品表示法第 4 条、第 5 条、健康増進法第 65 条第 1 項に基づき、食品の表示等に関する相談を行った。

実施状況

(件)

	令和 7 年度	令和 6 年度	令和 5 年度
特定保健用食品	0	0	0
特別用途食品	0	0	0
食品表示基準 (又は栄養表示基準)	9	6	14
栄養機能食品	0	0	1
誇大表示の禁止	0	0	0
計	9	6	15

(3) 食育推進事業

食に関する取り組みの充実に向け、庁内及び食育推進関係団体等がともに連携し、各種事業を行った。

① 四日市市食育推進会議

実施状況

開催日	議 事
第 1 回 令和 7 年 10 月 31 日 (金)	1. 令和 6 年度食育推進事業について (実施報告) 2. その他
第 2 回 令和 8 年 2 月 18 日 (水)	1. 令和 7 年度食育推進事業について (報告) 2. その他

② 啓発事業

実施状況

	令和 7 年度			令和 6 年度			令和 5 年度		
	回数 (回)	参加者数 (人)		回数 (回)	参加者数 (人)		回数 (回)	参加者数 (人)	
		延人員	実人員		延人員	実人員		延人員	実人員
食育推進のための啓発事業	1	49	49	1	211	211	1	107	107
高校生・大学生のための食育教室	1	240	240	1	390	390	1	138	138
食育推進ポスター事業	応募数 759 作品			応募数 738 作品			応募数 868 作品		

その他、食育推進ポスターの入賞作品を用いて、野菜の摂取量向上の推進を目指した啓発活動を行った。

２．三重北勢健康増進センター事業

１）利用状況と推移（人）

区 分		令和 7 年度	令和 6 年度	令和 5 年度
プール	一般	18, 293	17, 590	14, 959
	65 歳以上	18, 140	15, 804	14, 183
	中学生以下	8, 106	8, 527	7, 857
	小計	44, 539	41, 921	36, 999
トレーニングジム	一般	12, 046	11, 909	10, 048
	65 歳以上	15, 432	12, 530	11, 160
	小計	27, 478	24, 439	21, 208
軽運動室及びランニングトラック	一般	7, 288	5, 785	4, 982
	中学生以下	763	1, 114	805
	小計	8, 051	6, 899	5, 787
グラウンドゴルフ場	一般	2, 178	2, 696	2, 881
	中学生以下	47	48	44
	小計	2, 225	2, 744	2, 925
計		82, 293	76, 003	66, 919

健康づくり教室 ※1	1, 535	1, 308	1, 161
------------	--------	--------	--------

※1 健康教育の三重北勢健康増進センター開催健康づくり教室を再掲。

障害児等機能回復訓練 ※2	—	—	—
---------------	---	---	---

※2 こども未来部事業

運動施設専用使用	10, 248	9, 386	8, 056
会議施設使用	4, 427	6, 237	3, 319

利用者合計	96, 968	91, 626	78, 294
-------	---------	---------	---------

3. 統計資料

1) 年齢別死因と死亡割合（令和6年）

※厚生労働省 人口動態

（全体）

	10～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80～	総数
1位	不慮の事故 (25.0) 心疾患 (25.0)	自殺 (44.4)	自殺 (46.2)	悪性新生物 (35.4)	悪性新生物 (40.2)	悪性新生物 (43.3)	悪性新生物 (39.7)	悪性新生物 (41.2)	悪性新生物 (35.9)	老衰 (23.2)	悪性新生物 (24.9)
2位		悪性新生物 (33.3)	心疾患 (7.7) 悪性新生物 (7.7)	自殺 (15.4)	心疾患 (12.5)	心疾患 (18.9)	心疾患 (19.2)	心疾患 (12.5)	心疾患 (15.4)	悪性新生物 (18.5)	老衰 (16.6)
3位		心疾患 (5.6)		心疾患 (10.8)	自殺 (8.0)	脳血管疾患 (6.7)	脳血管疾患 (5.5)	脳血管疾患 (6.4)	老衰 (5.3)	心疾患 (16.4)	心疾患 (15.8)

（男性）

	10～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80～	総数
1位	不慮の事故 (33.3) 心疾患 (33.3)	自殺 (41.7)	自殺 (55.6)	悪性新生物 (22.0)	悪性新生物 (31.2)	悪性新生物 (38.3)	悪性新生物 (32.7)	悪性新生物 (36.9)	悪性新生物 (38.2)	悪性新生物 (21.4)	悪性新生物 (26.8)
2位		悪性新生物 (16.7)	心疾患 (11.1)	自殺 (17.1)	心疾患 (15.6)	心疾患 (20.0)	心疾患 (22.8)	心疾患 (15.2)	心疾患 (16.7)	心疾患 (16.5)	心疾患 (16.6)
3位		不慮の事故 (8.3)		心疾患 (12.2)	自殺 (9.1)	脳血管疾患 (10.0)	脳血管疾患 (7.9)	脳血管疾患 (6.1)	肺炎 (4.6)	老衰 (16.3)	老衰 (10.5)

(女性)

	10～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80～	総数
1位		自殺 (50.0)	自殺 (33.3) 悪性新生物 (33.3)	悪性新生物 (58.3)	悪性新生物 (60.0)	悪性新生物 (53.3)	悪性新生物 (55.6)	悪性新生物 (50.0)	悪性新生物 (31.5)	老衰 (29.7)	老衰 (23.6)
2位		悪性新生物 (33.3)		自殺 (12.5)	心疾患 (5.7) 自殺 (5.7)	心疾患 (16.7)	心疾患 (11.1)	心疾患 (7.1) 脳血管疾患 (7.1)	心疾患 (13.1)	心疾患 (16.2)	悪性新生物 (22.7)
3位		心疾患 (16.7)		心疾患 (8.3)		大動脈及び 解離 (3.3) 肺炎 (3.3) 自殺 (3.3)	腎不全 (4.4)		老衰 (8.9)	悪性新生物 (15.8)	心疾患 (14.9)

2) 主要死因別の死亡数・死亡総数に対する割合(令和6年)

	死亡数(人)			死亡総数に対する割合(%)	
	令和6年	令和5年	差引増減	令和6年	令和5年
			(R6-R5)		
全死因	3,673	3,569	104	100.0	100.0
悪性新生物	916	851	65	24.9	23.8
心疾患	581	531	50	15.8	14.9
脳血管疾患	212	213	△ 1	5.8	6.0
肺炎	146	148	△ 2	4.0	4.1
不慮の事故	88	116	△ 28	2.4	3.3
慢性閉塞性肺疾患	40	28	12	1.1	0.8
老衰	612	598	14	16.7	16.8
腎不全	58	67	△ 9	1.6	1.9
大動脈瘤及び解離	46	47	△ 1	1.3	1.3
肝疾患	35	34	1	1.0	1.0
糖尿病	50	38	12	1.4	1.1
喘息	2	3	△ 1	0.1	0.1
高血圧疾患	19	18	1	0.5	0.5
結核	1	4	△ 3	0.0	0.1

3) 悪性新生物 部位別死亡割合 (%)

(男性)

部位	R3年	R4年	R5年	R6年	全国
気管・気管支及び肺	24.6	25.6	23.6	26.0	23.6
大腸	12.7	14.4	13.8	12.6	13.0
胃	13.9	12.5	13.0	11.9	11.1
肝臓	5.2	6.7	8.0	4.9	6.8
その他	43.6	40.8	41.5	44.5	45.4

※各項目、小数点第二位四捨五入

(女性)

部位	R3年	R4年	R5年	R6年	全国
大腸	18.1	16.8	17.1	18.9	15.8
気管・気管支及び肺	18.1	12.4	16.9	14.2	14.3
乳房	6.5	7.4	8.0	9.3	9.8
胃	9.6	8.6	10.2	5.7	8.1
肝臓	3.7	4.1	5.2	9.8	4.5
子宮	5.7	5.3	5.0	6.7	4.4
その他	38.3	45.4	37.6	35.2	43.1

※各項目、小数点第二位四捨五入

4) 年齢別 悪性新生物部位別死亡数

(全体)

部 位	R3 全体						R4 全体						R5 全体						R6 全体						R3～R6 全体																
	20歳以下	30～39	40～49	50～59	60～69	70歳以上	20歳以下	30～39	40～49	50～59	60～69	70歳以上	20歳以下	30～39	40～49	50～59	60～69	70歳以上	20歳以下	30～39	40～49	50～59	60～69	70歳以上	20歳以下	30～39	40～49	50～59	60～69	70歳以上	総数										
口唇・口腔及び咽頭	0	0	0	1	1	13	16	0	0	1	2	1	1	13	18	0	0	0	0	3	18	21	0	0	1	0	0	2	3	2	7	63	77								
食道	0	0	0	2	2	3	27	34	0	0	0	2	2	5	9	0	0	0	1	0	3	16	20	0	0	0	0	3	2	11	16	0	0	0	3	7	10	59	79		
胃	0	0	2	8	7	7	88	112	0	0	3	5	4	3	83	98	0	0	1	4	7	7	83	102	1	0	1	4	2	6	85	99	1	0	7	21	20	23	339	411	
結腸	0	0	1	3	4	8	83	99	0	0	3	11	3	7	74	96	0	0	2	7	5	2	82	98	0	0	2	1	3	6	75	87	0	0	8	22	15	23	314	382	
直腸S状結腸移行部及び直腸	1	0	1	3	2	4	25	36	0	0	1	2	2	5	28	38	0	0	2	2	3	3	23	33	0	0	1	6	3	3	40	53	1	0	5	13	10	15	116	160	
肝及び肝内胆管	0	0	0	0	3	4	35	42	0	0	0	0	4	3	44	51	0	1	0	1	0	4	53	59	0	0	1	1	2	3	41	48	0	1	1	2	9	14	173	200	
胆嚢及びその他の胆道	0	0	0	0	2	0	41	43	0	0	0	1	0	2	27	30	0	0	0	0	1	2	30	33	0	0	0	1	2	1	40	44	0	0	2	5	5	138	150		
脾	0	0	3	7	6	3	62	81	0	0	1	2	8	13	71	95	0	0	2	3	5	5	49	64	0	0	2	3	6	3	69	83	0	0	8	15	25	24	251	323	
嚙咽	0	0	0	0	0	0	3	3	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	1	2	0	0	0	0	0	0	4	4	0	0	0	0	1	9	10		
気管・気管支及び肺	0	0	0	6	7	16	173	202	0	0	0	0	3	3	10	167	183	0	0	2	8	7	12	150	179	0	0	1	10	5	12	165	193	0	0	3	27	22	50	655	757
皮膚	0	0	0	0	0	0	4	4	0	0	0	0	0	0	3	3	0	0	0	0	0	1	4	5	0	0	1	0	0	3	4	0	0	1	0	0	1	14	16		
乳房	0	0	0	4	3	1	15	23	1	1	2	4	4	1	12	25	0	0	1	4	2	2	20	29	1	1	7	2	5	4	18	38	2	2	10	14	14	8	65	115	
子宮	0	0	1	3	3	4	9	20	0	0	3	2	1	2	10	18	0	1	4	3	0	1	9	18	0	0	2	5	1	3	15	26	0	1	10	13	5	10	43	82	
卵巣	0	1	1	1	1	0	5	9	0	0	3	2	2	1	8	16	0	0	2	1	3	6	12	0	0	0	2	0	1	8	11	0	1	4	7	4	5	27	48		
前立腺	0	0	0	1	3	0	25	29	0	0	0	1	0	2	30	33	0	0	0	0	0	0	27	27	0	0	0	1	0	0	30	31	0	0	0	3	3	2	112	120	
膀胱	0	0	0	1	0	1	25	27	0	0	0	1	0	0	19	20	0	0	3	1	0	24	28	0	0	0	0	0	1	0	13	14	0	0	0	5	2	1	81	89	
中枢神経系	0	1	0	0	0	1	1	3	1	0	1	2	1	1	4	10	0	0	0	0	0	2	5	7	3	0	1	1	1	1	5	12	4	1	2	3	2	5	15	32	
悪性リンパ腫	0	0	1	0	2	1	36	40	0	0	0	1	1	1	36	39	0	0	1	0	1	28	30	0	0	0	2	2	1	20	25	0	0	1	4	5	4	120	134		
白血病	0	0	1	2	1	2	14	20	1	0	0	1	1	3	20	26	2	0	1	4	0	2	19	28	0	0	0	1	0	3	16	20	3	0	2	8	2	10	69	84	
その他のリンパ系腫瘍・造血系腫瘍及び関連腫瘍	0	0	0	1	0	0	8	9	0	0	0	2	0	1	14	17	0	0	0	1	0	0	8	9	0	0	0	0	0	1	15	16	0	0	0	4	0	2	45	51	
その他	0	0	0	1	2	6	53	62	0	0	0	1	2	6	52	61	0	0	2	2	3	3	47	57	2	0	2	5	2	5	54	70	2	0	4	9	9	20	206	250	
総 計	1	2	11	44	49	62	745	914	3	1	18	43	39	64	721	889	2	2	17	46	35	57	702	861	7	1	22	45	38	57	746	916	13	6	88	178	161	240	2,914	3,580	

(男性)

[illegible]

(女性)

部 位	R3 女性							R4 女性							R5 女性							R6 女性							R3～R6 女性										
	29歳以下	30～39	40～49	50～59	60～64	65～69	70歳以上	29歳以下	30～39	40～49	50～59	60～64	65～69	70歳以上	29歳以下	30～39	40～49	50～59	60～64	65～69	70歳以上	29歳以下	30～39	40～49	50～59	60～64	65～69	70歳以上	29歳以下	30～39	40～49	50～59	60～64	65～69	70歳以上				
口唇・口腔及び咽喉	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	9	9	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	26				
食道	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	1	1	0	2	0	0	0	0	0	4	4	0	0	0	1	1	2	0	0	0	0	2	19				
胃	0	0	1	3	2	26	34	0	0	2	1	3	0	23	29	0	0	1	3	2	31	37	0	0	0	1	3	32	36	0	3	6	8	7	112				
結腸	0	0	0	3	3	3	40	49	0	0	1	1	7	1	23	34	0	1	3	3	1	40	48	0	2	0	1	3	48	54	0	4	13	8	9	161			
直腸・S状結腸移行部及び直腸	0	0	0	1	0	0	14	15	0	0	1	1	0	1	10	13	0	1	1	1	2	9	14	0	1	1	1	2	14	19	0	3	4	2	5	47			
肝及び肝内胆管	0	0	0	0	0	0	13	13	0	0	0	0	0	2	12	14	0	0	0	0	3	16	19	0	1	0	1	1	19	22	0	1	0	1	6	80			
胆嚢及びその他の胆道	0	0	0	0	0	0	20	20	0	0	0	0	0	1	12	13	0	0	0	0	1	2	12	15	0	0	0	1	22	23	0	0	0	0	2	3	86		
膵	0	0	1	4	4	0	26	35	0	0	0	0	0	3	6	37	46	0	1	2	1	2	25	31	0	0	0	1	2	26	32	0	2	7	10	9	116		
喉頭	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1			
気管・気管支及び肺	0	0	0	2	0	2	60	64	0	0	0	0	0	1	41	42	0	0	1	1	3	3	53	61	0	0	0	5	2	4	44	55	0	1	8	5	10		
皮膚	0	0	0	0	0	0	4	4	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	8		
乳房	0	0	0	4	3	1	15	23	1	1	2	4	4	1	12	25	0	0	1	4	2	2	20	29	1	1	7	2	5	4	18	38	2	2	10	14	14	8	
子宮	0	0	1	3	3	4	9	20	0	0	0	3	2	1	2	10	18	0	1	4	3	0	1	9	18	0	2	5	1	3	15	26	0	1	10	13	5	10	
卵巣	0	1	1	1	1	0	5	9	0	0	3	2	2	1	8	16	0	0	2	1	3	6	12	0	0	2	0	1	8	11	0	1	4	7	4	5	27		
前立腺	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0		
膀胱	0	0	0	0	0	1	8	9	0	0	0	0	1	0	3	4	0	0	0	1	0	5	6	0	0	0	0	0	0	0	5	5	0	2	0	1	21		
中枢神経系	0	1	0	0	0	1	0	2	0	0	0	0	0	1	2	3	0	0	0	0	0	2	2	2	0	0	0	0	1	1	4	2	1	0	0	3	5		
悪性リンパ腫	0	0	0	0	0	0	15	0	0	0	0	0	0	1	0	19	20	0	0	0	0	1	13	14	0	0	1	0	0	9	10	0	0	2	0	1	56		
白血病	0	0	0	0	0	1	7	9	0	0	0	0	0	0	4	4	1	0	1	3	0	1	8	14	0	0	1	0	1	3	5	1	0	2	4	0	3		
その他のリンパ腫・白血病・造血組織及び関連組織	0	0	0	0	0	0	3	3	0	0	0	1	0	1	6	8	0	0	1	0	0	5	6	0	0	0	0	0	0	6	6	0	0	2	0	1	20		
その他	0	0	0	0	0	0	3	16	19	0	0	0	0	2	23	23	0	0	1	1	0	23	26	2	0	1	2	0	1	23	29	2	0	2	3	3	7	85	
総 計	0	2	5	21	16	18	291	353	1	1	12	20	17	23	265	338	1	1	11	23	16	24	266	362	5	14	21	15	25	305	386	7	5	42	85	64	90	1,147	1,440

5) 悪性新生物 部位別死亡数 (令和3年～令和6年累計)

		29歳以下	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	合計	70歳未満の 死亡数	70歳未満 死亡の割合
									再計	
胃	男	1	0	4	15	28	227	275	48	17.5%
	女	0	0	3	6	15	112	136	24	17.6%
大腸	男	1	0	6	18	39	222	286	64	22.4%
	女	0	0	7	17	24	208	256	48	18.8%
肺	男	0	0	2	19	57	457	535	78	14.6%
	女	0	0	1	8	15	198	222	24	10.8%
子宮	女	0	1	10	13	15	43	82	39	47.6%
乳	女	2	2	10	14	22	65	115	50	43.5%

6) 75 歳未満年齢調整死亡率

悪性新生物

	H30 年	R1 年	R2 年	R3 年	R4 年	R5 年	R6 年
総数	69.1	65.7	66.3	63.8	66.0	63.3	67.3
男	84.1	82.6	80.8	86.7	81.2	72.0	72.6
女	55.8	50.3	53.5	43.0	52.9	55.9	63.2

胃がん

	H30 年	R1 年	R2 年	R3 年	R4 年	R5 年	R6 年
総数	10.4	5.3	9.2	8.9	6.2	7.2	6.4
男	13.1	9	13.8	12.6	7.8	10.3	9.2
女	7.8	1.8	4.8	5.4	4.8	4.2	3.5

大腸がん

	H30 年	R1 年	R2 年	R3 年	R4 年	R5 年	R6 年
総数	13.3	15.9	11.3	14.8	16.9	14.3	14.8
男	16.3	22.2	13.9	21.3	22.8	14.1	14.7
女	10.3	9.8	8.8	8.5	11.4	14.4	15.2

肝がん

	H30 年	R1 年	R2 年	R3 年	R4 年	R5 年	R6 年
総数	4.4	3.6	3.1	2.7	2.4	2.6	2.6
男	6.3	4.9	4.8	5.3	3.9	3.8	2.7
女	2.5	2.4	1.4	0.3	0.9	1.4	2.6

肺がん

	H30 年	R1 年	R2 年	R3 年	R4 年	R5 年	R6 年
総数	11.3	13	12.2	11.9	9.7	12.4	11.7
男	17.4	20.6	19.8	20.4	17.2	17	16.2
女	5.7	6	5.2	4.1	2.9	7.9	7.5

乳がん

	H30 年	R1 年	R2 年	R3 年	R4 年	R5 年	R6 年
総数	14.5	10.3	10	4.7	9.2	5.7	13.43
女	14.5	10.3	10	4.7	9.2	5.7	13.43

子宮がん

	H30 年	R1 年	R2 年	R3 年	R4 年	R5 年	R6 年
総数	3.8	7.1	5.5	6.3	6.1	6.1	7.9
女	3.8	7.1	5.5	6.3	6.1	6.1	7.9

Ⅱ．保健企画課

1. 安心の地域医療検討委員会

1) 四日市市安心の地域医療検討委員会

保健、福祉、医療の連携体制など地域医療の推進を図るため、地域医療の在り方や今後の方向性について協議した。

	開催日	内 容
1	令和 7 年 7 月 24 日 (木)	1. 報告 ・ 令和 6 年度在宅医療推進事業について ほか 2. 議事 ・ 本市の在宅医療・介護連携の現状について
2	令和 8 年 1 月 14 日 (水)	1. 報告 ・ 令和 7 年度在宅医療推進事業（中間報告）について ほか 2. 議事 ・ 高齢者の急変・救急搬送を巡る判断と人生会議（ACP）について

2) 市民啓発推進部会

市民が在宅医療や人生会議（ACP）などについて理解を深め、自己の医療やケアに対する希望が実現できるようにするための情報提供及び啓発支援等について協議した。

	開催日	議 事
1	令和 7 年 10 月 8 日 (水)	・ 新たな普及啓発物の作成の検討について ・ 令和 7 年度医療・介護関係者向け研修会について ・ 令和 8 年度以降の取組について
2	令和 8 年 1 月 21 日 (水)	・ 「家族と人生会議簡単記録シート」について ・ 令和 8 年度取組について

2. ケアマネジャー等向け研修会

適正なケアプランを策定できるよう、研修及び意見交換会を開催した。

	開催日	講 義 内 容	受講者数
1	令和 8 年 3 月 11 日 (水)	「食べにくい」のサイン、どうしていますか？ ー 訪問歯科診療の視点をケアマネジメントにどう活かすか ー さちデンタルクリニック 院長 森 幸 氏 きむら歯科口腔医院 院長 木村 貴之 氏	20 人
2	令和 8 年 3 月 19 日 (木)	『人生会議トランプで学ぶ！ ～現場で活かす対話の力～』	33 人

3. 訪問看護師関係研修事業

1) 訪問看護基礎研修

潜在看護師や訪問看護師のほか、訪問看護に興味のある現役看護師に対し、在宅看護、訪問看護の基盤となる知識・技術を習得、復習するための研修を、オンデマンド講義にて実施した。

(1) 日程・講義内容

	開催日	講義内容	講師
1	オンデマンド 視聴期間 令和7年11月1 日(土)～令和8 年2月28日(土)	訪問看護概論	四日市医師会訪問看護ステーション 管理者 川島 典子 氏
2		利用者の立場から伝えたいこと	訪問看護利用者 青木 健太 氏
3		生活モデルの理解と応用	四日市看護医療大学 准教授 多次 淳一郎 氏
4		訪問看護に関する制度	みんなのかかりつけ訪問看護ステーション四日市 管理者 松下 容子 氏
5		ケアマネジメントと多職種連携	四日市看護医療大学 講師 中村 いお美 氏
6		在宅で多い医療的ケア	みんなのかかりつけ訪問看護ステーション四日市 看護師 碓田 弓 氏
7		自立に向けた援助	四日市羽津医療センター附属訪問看護ステーション 副看護師長 東川 亜依子 氏
8		在宅で多い医療的ケア	みんなのかかりつけ訪問看護ステーション四日市 看護師 碓田 弓 氏
9		在宅療養でのリスク管理	訪問看護リハビリステーションあすか 管理者 森 あゆみ 氏
10		対象別訪問看護論① 小児	ナーシングホームもも四日市 管理者 筒井 みどり 氏
11		対象別訪問看護論① 精神	心の訪問看護ステーションひなが 管理者 島本 美保子 氏
12		対象別訪問看護論② 認知症	特別養護老人ホームもも大安 島村 真美 氏
13		協働する他職種の理解① 理学療法士	訪問看護ステーションいくわ 徳力 康治 氏
14		協働する他職種の理解① 言語聴覚士	刀根 奈穂美 氏

(2) 受講者内訳

受講者内訳	受講者数
訪問看護ステーション看護師	13 人
病院・診療所	0 人
潜在看護師	0 人
合 計	13 人

3) 在宅・施設看護スキルアップ研修

訪問看護ステーションの訪問看護師が、身近なところで必要な知識・技術を修得できる場として研修を実施した。

(1) 日程・講義内容

	開 催 日	講 義 内 容	講 師	受講者数
1	令和 7 年 7 月 5 日 (土)	ハンドケア・フット ケアの知識と技術	株式会社 MAHALO 谷口 愛 氏	17 人
2	令和 7 年 11 月 29 日 (土)	身体観察・アセスメ ントの知識と技術	三重県立総合医療センター 奥田 美香 氏	2 人
3	令和 8 年 2 月 21 日 (土)	災害時対応に活かす 知識と技術	四日市看護医療大学 准教授 多次 淳一郎 氏 三重県訪問看護ステーション連絡協議会 伊勢志摩地区 佐藤 知恵子 氏 中村 みゆき 氏	19 人

4. 在宅医療支援病床確保事業

在宅医の負担軽減と、在宅医療に携わろうとする医師の確保、並びに在宅医療を希望する市民・患者が安心して生活できる環境の整備を目的として、平成 25 年 8 月から、在宅医が在宅患者の入院が必要と判断したとき、スムーズな入院受け入れなどの体制を地域で構築するための支援事業を実施してきたが、市内及び三泗地域の医療機関において、地域包括ケア病床の整備が進み、本補助事業は一定の目的を達したことから、令和 6 年度末をもって終了した。

5. 在宅医療啓発活動補助事業

在宅医療の啓発を行う市民活動について経費の一部を補助した。

	団体名	事業名・内容	講師	開催日・会場
1	日永ついたち会 第12クラブ	最期まで自分らしく生きる為に「ACPって何だろう」 ○在宅医療の現状及びACPの必要性を学ぶ。	笹川内科胃腸科 クリニック 医師 山中 賢治 氏	令和7年6月1日(日) 泊山崎町中部公会所
2	日永ついたち会	「在宅における認知症及び認知症予防」 ○認知症になった場合の在宅医療を考えるとともに、認知症の予防について学ぶ。	三原クリニック 医師 三原 貴照 氏	令和7年6月22日(日) 日永中之瀬古会館
3	三重西 社会福祉協議会	「人生会議をしましょう」 ○自分や身近なひとのため、これからを考えると共に、自分が望む医療やケアを考える。	キャンナスこもの 看護師 鈴木 裕美 氏	令和7年7月5日(土) 三重西小体育館
4	PPKほぼ	「薬の正しい飲み方について」 ○その人らしく暮らし、長生きするために、在宅医療における薬の正しい飲み方について学ぶ	エール調剤薬局 保々店 薬剤師 北角 裕真 氏	令和7年7月31日(木) 保々地区市民センター
5	川島地区福祉教室 実行委員会	「認知症について」 ○住み慣れた地域で元気に暮らしていけるよう「認知症」について一緒に考える。	三原クリニック 医師 三原 貴照 氏	令和7年8月10日(日) 川島地区市民センター
6	県地区 社会福祉協議会	「薬と薬剤師」 ○薬に関する正しい知識と薬剤師の役割について学ぶ。	四日市市薬剤師会 薬剤師 平 安幸 氏	令和7年11月29日(土) 県地区市民センター
7	富洲原地区 社会福祉協議会	「ACPってなんだろう？」 ○最期まで自分らしく過ごすための「ACP」について学ぶ。	笹川内科胃腸科 クリニック 医師 山中 賢治 氏	令和7年12月6日(土) 富洲原地区市民センター
8	桜地区 社会福祉協議会	「四日市市の在宅医療の現状について」 ○在宅医療とは何かを学ぶ。	いしが在宅ケア クリニック 医師 伊藤 由恵 氏	令和8年1月18日(日) 桜地区市民センター

9	三重北 社会福祉協議会	「自分らしく、家で過ごすために～在宅医療ってなんだろう～」 ○地区の実情に詳しいケアマネジャーによる在宅医療と介護の現状と課題、サービスへのつながり方を学ぶと共に、ケアマネジャーを交えた意見交換会を行う。	三重福社会 陽光苑 ケアマネジャー 大河内 美代 氏 吉原 菜穂子 氏	令和8年1月31日(土) 坂部が丘中央集会所
10				令和8年2月7日(土) 大沢台集会所
11	NPO法人 桜ボランティア協会	「在宅での認知症ケアと家族にできること」 ○在宅で介護されている認知症の方に対する望まれる在宅医療について学ぶと共に、医療従事者の立場から地域コミュニティとのかかわり方について考える。	いしが在宅ケア クリニック 医師 伊藤 由恵 氏	令和8年2月6日(金) 桜台第一会館
12	川島地区 福祉教室実行委員会	「在宅で薬剤師がお手伝いできること」 ○健康に日常生活や在宅療養を送るために、正しい薬の飲み方について学ぶ。	みらい調剤薬局 薬剤師 稲田 菜穂 氏 管理薬剤師 茂知田加代 氏	令和8年3月1日(日) 川島地区市民センター

6. 在宅医療・介護連携支援事業

四日市市在宅医療・介護連携支援センター（愛称：つなぐ）において、医療・介護関係者からの相談支援を行うなど、医療と介護の連携強化に努めた。

1) 相談件数

	医療機関からの相談	介護機関からの相談	合 計
相談件数	307 件	776 件	1,083 件

2) 訪問件数

	医療機関への訪問	介護機関への訪問	合 計
訪問件数	26 件	99 件	125 件

7. 介護・看護人材育成研修

介護職・看護職の不足が懸念されていることから、各職種のスキルアップ研修を実施し、市内の介護現場への定着、就業意欲が高められるよう支援をした。

1) 介護職向けスキルアップ研修会

(1) 勤続年数おおむね3年目程度の職員対象

	開催日時	講義内容	講師	受講者数
1	令和8年 2月13日(金)	初級研修 『アンガーマネジメント』	株式会社 AWESOME EYE 代表 菅生 としこ 氏	20 人

(2) 勤続年数おおむね10年目程度の職員対象

	開催日時	講義内容	講師	受講者数
1	令和8年 2月13日(金)	中堅研修 『カスタマーハラスメント』	株式会社 AWESOME EYE 代表 菅生 としこ 氏	14 人

8. がん患者・家族支援事業

1) 「がん患者と家族の方のおしゃべりサロン」 in 四日市

がん患者とその家族への支援のため、三重県がん相談支援センターとの共催により、地域における情報交換と交流の場として、年6回サロンを開催した。

(1) 開催状況

※いずれも水曜日(2月のみ月曜日) 四日市市総合会館

開催日	参加人数	サポーター等関係者
令和7年4月9日	2 人	6 人
令和7年6月11日	4 人	6 人
令和7年8月13日	4 人	4 人
令和7年10月8日	6 人	6 人
令和7年12月10日	2 人	5 人
令和8年2月9日	4 人	6 人

2) 四日市市若年がん患者在宅療養支援事業

若年がん患者及びその家族の、在宅における生活の支援や、身体的・経済的な負担を軽減するため、介護保険制度に準じた在宅介護サービス、福祉用具貸与等の公費助成を令和6年度10月から開始した。

年 度	利 用 者 数	参 考
令和7年度	0 名	令和6年度 1 名

9. 応急診療所事業

四日市市応急診療所において、休日における市民の一次救急医療を行った。

診療日：日曜日、祝（休）日、12月31日、1月1日、1月2日、1月3日

診療時間：10:00～12:00 13:00～16:00

診療科目：内科、小児科、耳鼻咽喉科（耳鼻咽喉科は日曜日のみ）

1) 受診状況

年度	内科 (人)	小児科 (人)	耳鼻科 (人)	計 (人)	一日平均
					() は診療日数
令和7年度	1,481	1,382	293	3,156	44.5人(71日)
令和6年度	1,388	1,298	418	3,104	43.7人(71日)
令和5年度	2,404	2,209	312	4,925	69.4人(71日)

2) 運営委員会開催状況

※Zoomを利用してオンライン上で開催した。

	開催日	議 事
1	令和7年 10月2日(木)	1. 会長、副会長の選任について 2. 報 告 (1) 令和6年度運営状況について (2) その他報告事項について 3. 議 事 (1) -1 応急診療所における採用薬剤について (1) -2 検査キットについて (2) 年末年始の体制及び報償費について

10. 歯科医療センター事業

四日市市歯科医療センターにおいて、障害者に対する歯科診療及び年末年始における応急の歯科診療を行った。

1) 診療日及び診療時間

応急診療：12月30日、12月31日、1月1日、1月2日（9：00～11：30）

障害者（児）診療（予約制）：火曜日（13：30～16：30） 月2回

木曜日（13：30～16：30）月3～4回

木曜日（9：30～12：00）月1～2回

日曜日（9：30～12：30）月2回

※祝・休日と12月28日～1月3日を除く。

2) 受診状況

年 度	休日診療			障害者診療			
	診療実日 数（日）	受診者 数（人）	1日平均 （人）	診療実日 数（日）	受診者数（人）		一日平均 （人）
					延数	新患再掲	
令和7年度	4	77	19.3	92	1,868	987	20.3
令和6年度	4	62	15.5	93	1,852	841	19.9
令和5年度	4	49	12.2	92	1,774	755	19.3

3) 運営委員会開催状況

	開 催 日	議 事
1	令和7年 10月16日（木）	1. 事業報告（令和6年度事業報告・令和7年度事業経過報告等） 2. 協議事項 (1) 工事・点検等について (2) 診療日拡充の検討について

11. 四日市市地域保健運営協議会

地域保健及び保健所の運営に関する事項について検討を行い、今後に反映していく目的で協議会を開催とした。

	開 催 日	議 事
1	令和8年 3月9日（月）	1. 四日市市保健医療推進プランの進捗状況について 2. 令和8年度 医療・保健・衛生関連事業について

12. 四日市地域救急医療対策協議会

救急搬送及び救急医療体制の充実強化、感染症などの健康危機事例発生時の迅速かつ的確な対処などについて検討を行い、平常時からの連携体制を確保していくことを目的に協議会を開催した。

	開催日	議 事
1	令和7年 7月9日（水）	1. 報告 （1）四日市市医療救護所開設訓練の実施 2. 議事 （1）四日市市新型インフルエンザ等対策行動計画改定について
2	令和7年 10月22日（水）	1. 報告 （1）市内における感染症の発生状況について （2）四日市市感染症予防計画に基づく取組状況について 2. 議事 （1）四日市市新型インフルエンザ等対策行動計画（素案）について （2）三重郡三町における行動計画改定作業の進捗状況について
3	令和8年 2月4日（水）	1. 報告 （1）四日市地域メディカルコントロール協議会報告事項 （2）輪番日受入患者数実績報告 （3）救急医療情報システム運営状況 （4）災害医療に関する情報伝達訓練の実施（三泗地域） 2. 議事 （1）四日市市新型インフルエンザ等対策行動計画（最終案）について

13. 四日市地域メディカルコントロール協議会

救急救命士に対する指示体制や、病院前救護など、メディカルコントロール体制に係る調整や整備により、救急搬送・救急医療体制の充実強化を図ることを目的に協議会を開催した。

	開催日	議 事
1	令和8年 1月30日（水）	1. 過去5年間の医療機関別搬送状況 2. 過去5年間の病院収容決定までの問い合わせ回数状況 3. 処置拡大行為実施状況 4. 救急ワークステーションの運用実績について 5. 救急出動に関する時間調査 6. 転院搬送に関する調査 7. 高齢者の搬送状況について 8. 成人（18歳以上65歳未満）の生存調査について 9. 心肺蘇生を望まない傷病者に関する調査

1 4. 健康危機（災害・感染症等）への対応

関係機関と連携し、健康危機（災害・感染症等）発生時に対する訓練を実施するとともに、健康危機発生時に適切な対応を行うための人材確保に努めた。

1) 医療救護所開設訓練の実施

大規模災害に備え、四日市市と四日市医師会をはじめとする関係機関が、医療救護所の開設訓練の実践と検証を通じ、より実効性のある医療救護活動マニュアルの整備と災害時の即応体制の確立を図った。

開 催 日	訓 練 内 容	参加者所属	参加数
令和 7 年 6 月 26 日（木）	場所：いしが在宅ケアクリニック ・ 参集訓練 ・ 設営訓練 ・ 医療救護訓練	四日市医師会・株式会社スズケン・ 四日市市（保健企画課・衛生指導 課・食品衛生検査所・健康づくり 課・こども家庭センター・危機管理 課・消防救急課）	31 人

2) 医療情報に関する情報伝達訓練の実施（三泗地域）

大規模災害時における迅速・的確な情報伝達体制の確認と検証のため、医療情報の収集、伝達等に関する訓練を実施した。

開 催 日	訓 練 内 容	市内参加機関数
令和 7 年 11 月 11 日（火）	場所：四日市市保健所 ・ 被災状況の情報伝達訓練 ・ 三重県等との ZOOM 会議による情報共有訓練	病院 19 診療所 153 歯科診療所 60 薬局 74

3) 感染症に関する人材の確保

健康危機が発生した際、積極的疫学調査や健康観察等の専門的な保健所業務を支援する保健師・看護師・臨床検査技師等の外部専門人材（IHEAT）の確保を令和 6 年度から開始した。

年度	IHEAT 登録者数		
	保健師・看護師	臨床検査技師	合計
令和 7 年度	12 人	9 人	21 人

15. 各種統計・報告

1) 衛生行政報告例

国及び地方公共団体の衛生行政運営の基礎資料を得ることを目的として、衛生行政の実態を把握した。

2) 地域保健・健康増進事業報告

地域住民の健康の保持及び増進をめざし、地域の特性に応じた保健施策の効率的、効果的に推進するための基礎資料を得ることを目的として実態を把握した。

3) 病院報告

医療法に基づいて病院（療養型病床群を有する診療所を含む）における患者の利用状況と病院の従事者の状況を把握した。

4) 医療施設調査

医療施設の分布及びその機能の実態を把握するための調査を実施している。静態調査は3年毎に実施し、動態調査は月毎に実施している。（静態調査：令和7年度は非該当）

5) 国民生活基礎調査

国民生活の基礎的事項を調査し、厚生労働行政の企画及び立案に必要な基礎資料を得ることを目的として毎年度実施している。

6) 患者調査

病院及び診療所を利用する患者の傷病状況等の実態を把握し、医療行政の基礎資料を得ることを目的として3年毎に実施している。（令和7年度は非該当）

7) 受療行動調査

全国の医療施設を利用する患者に対して、受療の状況や受けた医療に対する満足度等を調査することにより、医療に対する認識や行動を把握し、今後の医療行政の基礎資料を得ることを目的として3年毎に実施している。（令和7年度は非該当）

16. 免許の申請、書き換え交付状況

医師や歯科医師、その他保健医療従事者の免許申請等の受理、免許証の交付を行った。

令和7年度

	新規申請（件）	書き換え（件）	再交付（件）	抹消（件）	計（件）
医 師	29	9	2	3	43
歯 科 医 師	3	2	0	0	5
保 健 師	26	23	0	0	49
助 産 師	6	5	0	0	11
看 護 師	118	111	6	0	235
准 看 護 師	11	6(3)	5(0)	0	22(3)
栄 養 士	21	17	3	0	41
臨 床 検 査 技 師	13	5	0	0	18
衛 生 検 査 技 師	0	0	0	0	0
診 療 放 射 線 技 師	7	3	1	0	11
理 学 療 法 士	13	7	1	0	21
作 業 療 法 士	5	2	0	0	7
薬 剤 師	16	11	2	0	29
管 理 栄 養 士	24	18	1	0	43
視 能 訓 練 士	2	1	0	0	3
合 計	294	220	21	3	538

（ ）内の数字は県外免許の数（内数）

17. 病院・診療所・助産所立入検査

医療法等関係法令に基づき、医療の安全の確保のために、市内の全病院、診療所及び助産所に対して立入検査を行い、法令等に規定された人員の配置や構造設備に関する検査、医療従事者向け各種マニュアル整備等の確認をし、指導助言を行った。

1) 病院・診療所・助産所立入検査の状況

(1) 立入実施施設数

	病院（毎年実施）			診療所・助産所 （概ね5年に1度実施）		
年度	対象数 （件）	実施数 （件）	実施率 （％）	対象数 （件）	実施数 （件）	実施率 （％）
令和7年度	13	13	100.0	425	75	17.6
令和6年度	13	13	100.0	419	85	20.3
令和5年度	13	13	100.0	420	84	18.7

(2) 病院立入実施結果

年 度	令和7年度	
指 摘 内 容	病院数（件）	不備率（％）
医療安全管理体制の整備	13	0
医療従事者に対する健康診断の実施	13	0
医療従事者の不足	13	0
その他	13	0

(3) 診療所・助産所立入実施結果

年 度	令和7年度	
指 摘 内 容	診療所・助産所数 （件）	不備率（％）
医療安全管理体制の整備	75	0
医療従事者に対する健康診断の実施	75	0
その他	75	0

18. 衛生検査所立入検査

臨床検査技師等に関する法律に基づき、衛生検査所に立ち入り、法令等に規定された人員の配置や構造設備に関する検査を行った。

19. 医務

医療法等関係法令に基づき、医療施設の開設・内容変更・廃止等の事務及び構造設備の適正管理等について確認検査を行った。

1) 市内医療関係施設数

	病院	医科 診療所	歯科 診療所	歯科 技工所	助産所	施術所	衛生 検査所	合計
令和7年度	13	269	146	32	10	316	1	787
令和6年度	13	263	147	32	9	309	1	774
令和5年度	13	263	148	33	9	305	2	773

各年度末の施設数

2) 確認検査と開設・廃止状況

(件)

	確認検査		開設許可		開設届 ※		廃止		使用許可	
年 度	R7	R6	R7	R6	R7	R6	R7	R6	R7	R6
病院	3	2	0	0	0	0	0	0	15	14
医科診療所	13	10	37	16	40	19	34	19	0	0
歯科診療所	4	1	2	1	5	2	6	3	0	0
歯科技工所	0	0	－	－	0	0	0	1	－	－
助産所	1	1	0	0	1	1	0	1	0	0
施術所	9	10	－	－	14	15	7	11	－	－
衛生検査所	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
総数	30	24	39	17	60	37	47	36	15	14

※施術所の「出張施術業務開始届」を含む

3) 市内病院及び許可病床数

令和8年3月末現在

	許可病床数					
	一 般	療 養	精 神	結 核	感 染	総 数
三重県立総合医療センター	400				4	404
市立四日市病院	535				2	537
四日市羽津医療センター	226					226
みたき総合病院	111	88				199
主 体 会 病 院	98	130				228
小山田記念温泉病院	222	155				377
医療法人社団プログレス 四日市消化器病センター	20	20				40
富 田 浜 病 院	47	106				153
総合心療センターひなが			480			480
山中胃腸科病院	48	45				93
石田胃腸科病院	38					38
水 沢 病 院		38	174			212
四日市徳新会病院		42				42
計	1,745	624	654		6	3,029

Ⅲ. 保健予防課

1. 結核対策

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づき、結核患者に対する適正医療の提供、療養支援及び接触者に対する健康診断を実施し、早期発見・早期治療につなげることで、結核のまん延防止に努めた。

また、結核定期健康診断の受診勧奨と正しい知識の普及啓発を行い、結核の予防を図った。

1) 結核登録患者の状況

(1) 新登録患者数（活動性分類・年齢階級別）

令和7年1月1日～令和7年12月31日（人）

分類別 年齢	活 動 性 結 核								(別掲) 潜在性 結核 感染症
	総 数	肺 結 核 活 動 性						肺外 結核 活動性	
		総 数	喀 痰 塗 抹 陽 性			その他の 結核 菌陽性	菌陰性 その他		
			総 数	初回治療	再治療				
総 数	15	13	6	6	0	5	2	2	6
0～4	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5～9	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10～14	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15～19	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20～29	4	3	1	1	0	1	1	1	0
30～39	2	2	1	1	0	1	0	0	0
40～49	1	1	0	0	0	1	0	0	1
50～59	1	1	0	0	0	0	1	0	1
60～69	0	0	0	0	0	0	0	0	2
70～	7	6	4	4	0	2	0	1	2

(2) 新登録患者数・罹患率の推移

() は、喀痰塗抹陽性患者数の再掲

	令和7年	令和6年	令和5年
新登録患者数（人）	15(6)	28(10)	31 (11)
罹患率（人口10万対）	4.9	9.1	10.6

※新登録患者のうち、潜在性結核感染症除く

(3) 年末現在登録者数（活動性分類・受療状況別）

令和7年12月31日現在（人）

分類別 区分	総 数	肺結核活動性				肺外 結核 活動性	不活動性 結核	活動性 不明	(別掲) 潜在性 結核 感染症
		登録時喀痰塗抹陽性		その他の 結核 菌陽性	菌陰性 その他				
		初回治療	再治療						
総 数	50	8	0	3	3	0	36	0	8
入 院	6	6	0	0	0	0	0	0	0
外来医療	8	2	0	3	3	0	0	0	3
医療なし	36	0	0	0	0	0	36	0	5
不 明	0	0	0	0	0	0	0	0	0

2) 感染症診査協議会における結核医療診査状況

(1) 感染症法第37条の2申請状況（通院医療）

令和7年1月1日～令和7年12月31日（件）

	総数	被用者保険		国民健康保険			後期 高齢者	生活 保護	その他	(別掲) 変更 申請
		本人	家族	一般	退職本人	退職家族				
申請件数	37	10	5	5	0	0	17	0	0	1
承認件数	36	9	5	5	0	0	17	0	0	1

(2) 感染症法第37条申請状況（入院患者の医療）

令和7年1月1日～令和7年12月31日（件）

	総数	新規申請	継続申請	再申請	解除報告（別掲）	
					入院	就業制限
申請件数	19	7	12	0	8	6
承認件数	19	7	12	0		

(3) 感染症法第37条による結核医療費の被保険者別状況

	新規 数	被用者保険		国民健康保険			後期 高齢者	生活 保護	その他
		本人	家族	一般	退職本人	退職家族			
令和7年	7	0	0	1	0	0	6	0	0
令和6年	13	1	0	1	0	0	10	1	0

3) 結核検診

(1) 定期健康診断実施状況

令和7年度 (人)

区分 対象別	受診項目別 (延べ人数)				被発見者数 (実人数)	
	間接撮影	直接撮影	喀痰	その他 (※1)	結核患者	発病の おそれあり
事業所	1,519	13,096	1	6	1	0
学校	2,109	2,689	0	0	0	0
施設	410	1,318	1	0	0	0
一般住民	0	12,038	0	0	0	0
総数	4,038	29,141	2	6	1	0

※1 CT検査等

(2) 接触者健診および管理検診実施状況

令和7年度 (人)

区分 対象別		対象者数 (実人数)	検査実施 人数 (延べ人数)	受診項目別 (延べ人数)			被発見者数 (実人数)		
				ツベルク リン反応 検査	IGRA 検査 (※2)	直接 撮影	結核患者	潜在性結 核感染者 (※3)	発病の おそれ あり
接触者	患者家族	10	17	0	16	1	0	0	0
	その他	41	55	0	53	2	0	0	0
	総数	51	72	0	69	3	0	0	0
管理検診 (※4)		11	15	0	0	15	0	0	0

※2 結核菌に感染しているかどうかを調べる血液検査

※3 結核に感染しているが、発病していない状態で、結核医療を必要とする者

※4 結核治療終了後の患者等に対して実施する検診

4) 結核健康相談

結核登録患者や家族を対象に訪問するなどして、保健指導を実施した。

(件)

保健指導件数	令和7年度	令和6年度	令和5年度
所内面接件数	12	21	26
訪問指導件数	28	48	61
電話相談件数	170	273	375

5) 直接服薬確認（DOTS）事業

(1) DOTS支援状況

(人)

	対象者数	支援方法		
		面接・訪問	郵送	電話連絡
令和7年度	30	4 (14)	10 (31)	16 (64)
令和6年度	45	18 (83)	8 (58)	19 (138)
令和5年度	51	16 (48)	8 (40)	27 (117)

() 内は、延人数

(2) DOTSカンファレンス

結核治療の完遂のため、結核病床を有する医療機関と支援状況等を情報共有するDOTSカンファレンスに参加した。

令和7年度

実施場所	実施日	参加者	対象者数
三重中央医療センター	令和7年8月21日 令和7年9月18日 令和7年11月20日 令和7年12月18日 令和8年1月15日 令和8年3月19日	担当医、病棟看護師、病棟薬剤師、検査技師、医療社会専門員、保健所保健師	入院：7件

2. 地域精神保健福祉対策

1) 措置・移送業務

「精神保健福祉法」に基づき、精神障害者の医療及び保護を行い、社会復帰の促進及びその自立と社会経済活動への参加の促進のために必要な援助を行い、その発生の予防その他精神的な健康の保持増進に努めた。

(1) 精神障害者保護取扱状況

(件)

	申 請 ・ 通報件数						通報等による 調査結果の 処 理		指 定 医 診 察 結 果		措置非該当の 場合の結果	
	計	法22条	法23条	法26条 の2	法26条 の3	法27条 第2項	診察 必要	診察 不要	措置 該当	措置 非該当	医療保 護入院	その他
令和7年度	39	0	38	0	0	1	39	0	24	15	7	8
令和6年度	55	0	55	0	0	0	52	3	26	26	8	18
令和5年度	49	0	49	0	0	0	48	1	26	22	3	19

※精神保健福祉法

第 22 条：親族又は一般人からの申請 第 23 条：警察官の通報

第 26 条の 2：精神科病院の管理者の届出

第 26 条の 3：心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った者に係る通報

第 27 条第 2 項：市長職務診察

(2) 病名別・措置入院者数

(件)

	総 数	認 知 症	ア ル コ ー ル	依 存 症	薬 物 依 存 症	統 合 失 調 症	双 極 性	感 情 障 害	そ う 病	う つ 病	人 格 障 害	そ の 他
男 性	17	1	0	0	0	10	0	0	2	0	0	4
女 性	7	0	0	0	0	3	1	0	0	0	0	3
令和 7 年度 措置患者総数	24	1	0	0	0	13	1	0	2	0	0	7
令和 6 年度 措置患者総数	26	0	0	0	0	11	3	1	1	1	1	9
令和 5 年度 措置患者総数	26	2	0	0	0	9	3	0	3	3	2	7

(3) 四日市市保健所精神措置等連携会議

関係機関：医療機関、警察署

内 容：精神措置業務や精神保健相談に係る情報共有及び連携について

開催日：令和 7 年 11 月 20 日(木)

出席者数：4 人

2) 手帳・医療の助成業務

(1) 精神障害者保健福祉手帳交付状況

(件)

	令和 7 年度	令和 6 年度	令和 5 年度
1 級	235	222	221
2 級	2,403	2,323	2,161
3 級	1,425	1,264	1,102
合 計	4,063	3,809	3,484

(2) 自立支援医療費(精神通院)受給者証交付状況

(件)

	令和 7 年度	令和 6 年度	令和 5 年度
交付数	7,444	7,239	7,012

3) 地域精神保健福祉対策業務

(1) 精神保健福祉相談

精神疾患の治療やその対応等について、相談指導に医師、保健師等が応じ、社会復帰の促進及

び自立と社会参加の促進を図った。また、医療や福祉を必要とする精神障害者に適切な関係機関を紹介した。

対 象：本人、家族、その他

周知方法：広報よっかいち掲載、チラシ配布など

場 所：四日市市総合会館

(件)

		令和 7 年度	令和 6 年度	令和 5 年度
相談件数		4,600	4,229	4,264
内訳	面接	461	446	576
	電話（メール含む）	3,685	3,418	3,376
	訪問	454	365	312

医師による精神保健福祉相談（再掲）

実 施 日：原則 毎月第 2 木曜日及び第 4 金曜日 年 24 回

思春期相談 年 4 回

アルコール関連問題相談 年 1 回

(件)

	令和 7 年度	令和 6 年度	令和 5 年度
来所相談	24	31	34
家庭訪問	2	3	1

（２）普及啓発

① こころの健康講座

広く市民がこころの健康や病気について正しく理解することにより、こころの健康の保持増進を図るとともに、本人または家族、知人にこころの病気が疑われる時に適切に対応し、必要な相談や受診につながることを目的として実施している。

対 象：市民、市内通学・通勤者

場 所：四日市市勤労者・市民交流センター

内 容：精神科医・公認心理師による講演、家族会・当事者との交流

(人)

	令和 7 年度	令和 6 年度	令和 5 年度
参加者人数	60	74	79

② こころの健康づくり講演会

地域住民がこころの健康の保持、増進を図り、こころの健康や病気について正しい知識を得ることで、適切に相談や受診につながるよう実施している。

対 象：市民、市内通学・通勤者

場 所：四日市市総合会館 8 階 視聴覚室

内 容：①講演 「自分を大切にする習慣」 ②ゲートキーパー養成研修
 講 師：精神科医 Tomy 氏

(人)

	令和 7 年度	令和 6 年度	令和 5 年度
参加者人数	163	512	193

※令和 6 年度のみ、会場が四日市市文化会館第 2 ホールで開催。

③ 地区出前講座・地区依頼健康教育

回 数：5 回

参 加 者：280 人

内 容：精神疾患の正しい理解、自殺予防、ストレスケア 等

④ 心のサポーター養成研修（地区出前講座 1 回分重複）

精神障害の有無や程度にかかわらず、誰もが安心して自分らしく暮らすことができる社会を目指すため、こころの病気を持つ人に対する偏見を持つことなく、傾聴を中心とした支援ができる者（心のサポーター）を養成した。

内 容：心のサポーターの活動紹介、こころの病気の知識、こころの病気からの回復について、こころをサポートする方法等

回 数：2 回

参 加 者：113 人

（３）自殺予防対策

① 自殺対策連絡会議

本市の現状を把握し、各関係機関が課題等の実態を共有し、関係機関に訪れた人の日常の中に隠れている自殺の兆候に気付き、支援体制を整えるなど市内の総合的な取り組みを行っていくための情報共有、研修、情報交換等を実施し、相談に対する職員の意識の向上を図った。

対 象：人権施策推進委員会相談体制部会員

四日市市人権にかかる相談ネットワーク連絡会会員

各地区市民センター職員

自殺予防対策に係る関係職員

四日市アルコールと健康を考えるネットワーク会員

自立支援協議会こころのバリアフリー推進部会会員 等

【第 1 回】

内 容：「自死遺族こそ幸せであれーリプレシヤスの想いと支援者へのメッセージ」

講 師：自死遺族コミュニティ Rprecious（リプレシヤス）代表 宮本 みか 氏

参 加 者：21 人

【第2回】

内 容：「心に寄りそう言葉かけー自殺予防の視点からー」

講 師：NPO メンタルケア協議会 副理事長 西村 由紀 氏

参 加 者：26 人

② 普及・啓発

自殺対策基本法に基づき、「自殺予防週間」や「自殺対策強化月間」に、自殺予防に対する意識を高めるための普及啓発活動を集中的に実施した。

（ⅰ）自殺予防週間（9月10日～9月16日）

- ・庁内関係部署に啓発用ポスター、チラシ、パンフレット、ティッシュ配布
- ・広報掲載、市ホームページ掲載、庁内モニターの放映、市内公立中学校2年生2,514人にクリアファイルを配布（YESnet）

（ⅱ）自殺対策強化月間（3月）

- ・庁内関係部署に啓発用ティッシュ等配布
- ・市内大学・専門学校や遊技場に啓発用ティッシュ等配布
- ・市内の路線バス（三重交通）のバスマスク掲示
- ・広報「健康だより」掲載
- ・働く世代の健康情報掲載
- ・近鉄四日市駅、近鉄富田駅、あすなろう鉄道構内ポスター掲示
- ・市立図書館2階にパネル、関係書籍、パンフレット等の展示
- ・デジタルサイネージでの啓発（イオンモール四日市北店）

③ ゲートキーパー養成研修※令和6年度までは、メンタルパートナー養成研修

自殺予防について正しい知識を持ち、身近な人の変化に気づき、自殺を考えている人や悩んでいる人を相談窓口等へつなぐ役割が期待される人の養成を実施し、支援のネットワークづくりに努めた。

内 容：自殺の現状とその背景にある問題、自殺のサイン、声のかけ方
ゲートキーパーとしての役割等（DVD視聴含）

回 数：5回

参 加 者：387人（研修・講座・講演会等重複）

④ 自殺未遂者支援

自殺未遂者の再企図防止のため、救命救急センターと連携し、支援の在り方を検討するための検討会を実施した。市内精神科病院・四日市市教育委員会（指導課）・消防等が参加し、より連携を深めることができた。

- ・自殺未遂者支援検討会

場 所 三重県立総合医療センター 会議室

回 数 6回（隔月開催）

- ・臨床心理士との自殺未遂者事例検討会

場 所 四日市市総合会館
回 数 3 回

⑤ 四日市市人権研修リーダー養成講座

働く世代の自殺率を減少させるため、事業所に対し効果的にメンタルヘルスについての正しい知識の普及、適切な支援につなげるため、四日市市人権啓発企業連絡会の協力を得て、研修会を開催した。

内 容：「紛争解決の心理学 人はなぜ争い、どう和解するのか」

講 師：鈴鹿医療科学大学 保健衛生学部医療福祉学科 准教授 上原 俊介 氏

参 加 者：58 人

⑥ 健康経営セミナー

職場における従業員のメンタルヘルスの保持・増進を図るため、健康経営の視点を交えたセミナーを、健康づくり課との共催にて開催した。

内 容：「自分と仲間のここを守る！職場でできるセルフ&ラインケア」

講 師：総合心療センターひなが 溝渕 耕輔 氏

参 加 者：18 人

（４）組織の育成・支援

① 若年者早期支援事業

若年者の統合失調症を中心とした精神疾患の早期発見、早期治療につなげるため、また思春期の自殺対策について、多機関で包括的に取り組むため、医療機関、教育委員会、保健所が連携を強化し、事業を実施した。

内 容：・四日市早期支援ネットワーク本会議参加 1 回

・連絡会議参加 11 回

・児童生徒への出前授業 中学校 2 件

・教職員等事例検討会 3 回、ケース会議 1 回

・思春期精神科医師相談 実施回数 4 回

来所者 5 人

・個別相談（会議での個別ケース情報交換を含む） 31 名（延べ 61 件）

・YESnet 夏季研修会（教職員対象）1 回

② 四日市アルコールと健康を考えるネットワーク

四日市地域の医療機関や職域及び地域の関係機関の関係者が連携を図り、アルコール依存症等の研究、啓発、情報交換を行っているネットワークの事務局として企画、調整を行った。

内 容：・従事者向け研修会の開催 5 回

・多機関連携事例共有会 2 回

・ネットワーク会議の開催 2 回

・ネットワーク運営委員会の開催 2 回

・各種チラシ等の作成

（５）地域等における連携会議

こころの病などで悩む人への支援を実施するため、地域及び関係機関等において情報の共有、検討を図るため会議に出席した。

連携会議出席回数 22 回（実人数 19 人）

３．難病対策

１）特定医療費（指定難病）受給者証認定状況

国が指定する 348 の指定難病を対象とした特定医療費の助成制度により、医療費の自己負担の軽減が図られている。本市では、申請の受付、三重県桑名保健所への経由事務を行った。

令和 7 年度末現在認定者数（人）

告示番号	病 名	認定者数
1	球脊髄性筋萎縮症	3
2	筋萎縮性側索硬化症	27
3	脊髄性筋萎縮症	0
4	原発性側索硬化症	1
5	進行性核上性麻痺	23
6	パーキンソン病	317
7	大脳皮質基底核変性症	13
8	ハンチントン病	1
9	神経有棘赤血球症	0
10	シャルコー・マリー・トゥース病	3
11	重症筋無力症	82
12	先天性筋無力症候群	0
13	多発性硬化症／視神経脊髄炎	52
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー	13
15	封入体筋炎	10
16	クロウ・深瀬症候群	0
17	多系統萎縮症	22
18	脊髄小脳変性症（多系統萎縮症を除く。）	64
19	ライソゾーム病	13
20	副腎白質ジストロフィー	0
21	ミトコンドリア病	4
22	もやもや病	38
23	プリオン病	1
24	亜急性硬化性全脳炎	0

25	進行性多巣性白質脳症	0
26	HTLV-1 関連脊髄症	0
27	特発性基底核石灰化症	0
28	全身性アミロイドーシス	17
29	ウルリッヒ病	0
30	遠位型ミオパチー	1
31	ベスレムミオパチー	1
32	自己貪食空胞性ミオパチー	0
33	シュワルツ・ヤンペル症候群	0
34	神経線維腫症	12
35	天疱瘡	11
36	表皮水疱症	1
37	膿疱性乾癬（汎発型）	8
38	スティーヴンス・ジョンソン症候群	0
39	中毒性表皮壊死症	0
40	高安動脈炎	6
41	巨細胞性動脈炎	10
42	結節性多発動脈炎	2
43	顕微鏡的多発血管炎	38
44	多発血管炎性肉芽腫症	4
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	26
46	悪性関節リウマチ	9
47	バージャー病	1
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	2
49	全身性エリテマトーデス	148
50	皮膚筋炎／多発性筋炎	69
51	全身性強皮症	104
52	混合性結合組織病	24
53	シェーグレン症候群	28
54	成人発症スチル病	11
55	再発性多発軟骨炎	6
56	ベーチェット病	40
57	特発性拡張型心筋症	45
58	肥大型心筋症	11
59	拘束型心筋症	0
60	再生不良性貧血	12
61	自己免疫性溶血性貧血	2
62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	2
63	特発性血小板減少性紫斑病	48

64	血栓性血小板減少性紫斑病	0
65	原発性免疫不全症候群	6
66	IgA 腎症	51
67	多発性嚢胞腎	43
68	黄色靱帯骨化症	11
69	後縦靱帯骨化症	87
70	広範脊柱管狭窄症	4
71	特発性大腿骨頭壊死症	59
72	下垂体性 ADH 分泌異常症	20
73	下垂体性 TSH 分泌亢進症	0
74	下垂体性 PRL 分泌亢進症	5
75	クッシング病	1
76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	0
77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	12
78	下垂体前葉機能低下症	51
79	家族性高コレステロール血症（ホモ接合体）	0
80	甲状腺ホルモン不応症	0
81	先天性副腎皮質酵素欠損症	2
82	先天性副腎低形成症	0
83	アジソン病	0
84	サルコイドーシス	36
85	特発性間質性肺炎	46
86	肺動脈性肺高血圧症	13
87	肺静脈閉塞症／肺毛細血管腫症	0
88	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	7
89	リンパ脈管筋腫症	2
90	網膜色素変性症	29
91	バッド・キアリ症候群	1
92	特発性門脈圧亢進症	2
93	原発性胆汁性胆管炎	36
94	原発性硬化性胆管炎	5
95	自己免疫性肝炎	8
96	クローン病	140
97	潰瘍性大腸炎	438
98	好酸球性消化管疾患	7
99	慢性特発性偽性腸閉塞症	0
100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	0
101	腸管神経節細胞僅少症	0
102	ルビンシュタイン・テイビ症候群	0

103	CFC 症候群	0
104	コステロ症候群	0
105	チャージ症候群	0
106	クリオピリン関連周期熱症候群	0
107	若年性特発性関節炎	6
108	TNF 受容体関連周期性症候群	0
109	非典型溶血性尿毒症症候群	2
110	ブラウ症候群	0
111	先天性ミオパチー	1
112	マリネスコ・シェーグレン症候群	0
113	筋ジストロフィー	11
114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	0
115	遺伝性周期性四肢麻痺	0
116	アトピー性脊髄炎	0
117	脊髄空洞症	2
118	脊髄髄膜瘤	0
119	アイザックス症候群	0
120	遺伝性ジストニア	1
121	神経フェリチン症	0
122	脳表ヘモジデリン沈着症	3
123	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症	0
124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	3
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	0
126	ペリー症候群	0
127	前頭側頭葉変性症	4
128	ビッカースタッフ脳幹脳炎	1
129	痙攣重積型（二相性）急性脳症	0
130	先天性無痛無汗症	0
131	アレキサンダー病	0
132	先天性核上性球麻痺	0
133	メビウス症候群	0
134	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	0
135	アイカルディ症候群	0
136	片側巨脳症	0
137	限局性皮質異形成	0
138	神経細胞移動異常症	1
139	先天性大脳白質形成不全症	0
140	ドラベ症候群	0
141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	0

142	ミオクロニー欠神てんかん	0
143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	0
144	レノックス・ガストー症候群	1
145	ウエスト症候群	4
146	大田原症候群	0
147	早期ミオクロニー脳症	0
148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	0
149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	0
150	環状 20 番染色体症候群	0
151	ラスムッセン脳炎	0
152	P C D H19 関連症候群	0
153	難治頻回部分発作重積型急性脳炎	0
154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	1
155	ランドウ・クレフナー症候群	0
156	レット症候群	1
157	スタージ・ウェーバー症候群	0
158	結節性硬化症	4
159	色素性乾皮症	0
160	先天性魚鱗癬	0
161	家族性良性慢性天疱瘡	0
162	類天疱瘡（後天性表皮水疱症を含む。）	7
163	特発性後天性全身性無汗症	4
164	眼皮膚白皮症	0
165	肥厚性皮膚骨膜症	0
166	弾性線維性仮性黄色腫	0
167	マルファン症候群	6
168	エーラス・ダンロス症候群	0
169	メンケス病	0
170	オクシピタル・ホーン症候群	0
171	ウィルソン病	2
172	低ホスファターゼ症	0
173	VATER 症候群	0
174	那須・ハコラ病	0
175	ウィーバー症候群	0
176	コフィン・ローリー症候群	0
177	ジュベール症候群関連疾患	0
178	モワット・ウィルソン症候群	0
179	ウィリアムズ症候群	0
180	A T R - X 症候群	0

181	クルーズン症候群	0
182	アペール症候群	0
183	ファイファー症候群	0
184	アントレー・ビクスラー症候群	0
185	コフィン・シリス症候群	0
186	ロスムンド・トムソン症候群	0
187	歌舞伎症候群	0
188	多脾症候群	0
189	無脾症候群	0
190	鰓耳腎症候群	0
191	ウェルナー症候群	0
192	コケイン症候群	0
193	ブラダー・ウィリ症候群	0
194	ソトス症候群	0
195	ヌーナン症候群	0
196	ヤング・シンプソン症候群	0
197	1 p36 欠失症候群	0
198	4 p 欠失症候群	0
199	5 p 欠失症候群	0
200	第 14 番染色体父親性ダイソミー症候群	0
201	アンジェルマン症候群	0
202	スミス・マギニス症候群	0
203	22q11.2 欠失症候群	0
204	エマヌエル症候群	0
205	脆弱 X 症候群関連疾患	0
206	脆弱 X 症候群	0
207	総動脈幹遺残症	0
208	修正大血管転位症	2
209	完全大血管転位症	0
210	単心室症	2
211	左心低形成症候群	1
212	三尖弁閉鎖症	1
213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	0
214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	1
215	ファロー四徴症	1
216	両大血管右室起始症	3
217	エプスタイン病	0
218	アルポート症候群	3
219	ギャロウェイ・モワト症候群	0

220	急速進行性糸球体腎炎	2
221	抗糸球体基底膜腎炎	1
222	一次性ネフローゼ症候群	44
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	0
224	紫斑病性腎炎	1
225	先天性腎性尿崩症	0
226	間質性膀胱炎（ハンナ型）	0
227	オスラー病	1
228	閉塞性細気管支炎	0
229	肺胞蛋白症（自己免疫性又は先天性）	2
230	肺胞低換気症候群	0
231	α 1-アンチトリプシン欠乏症	0
232	カーニー複合	0
233	ウォルフラム症候群	0
234	ペルオキシソーム病（副腎白質ジストロフィーを除く。）	0
235	副甲状腺機能低下症	0
236	偽性副甲状腺機能低下症	0
237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	1
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	2
239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	0
240	フェニルケトン尿症	2
241	高チロシン血症1型	0
242	高チロシン血症2型	0
243	高チロシン血症3型	0
244	メープルシロップ尿症	0
245	プロピオン酸血症	0
246	メチルマロン酸血症	0
247	イソ吉草酸血症	0
248	グルコーストランスポーター1欠損症	0
249	グルタル酸血症1型	0
250	グルタル酸血症2型	0
251	尿素サイクル異常症	0
252	リジン尿性蛋白不耐症	0
253	先天性葉酸吸収不全	0
254	ポルフィリン症	1
255	複合カルボキシラーゼ欠損症	0
256	筋型糖原病	0
257	肝型糖原病	1
258	ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	0

259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	0
260	シトステロール血症	0
261	タンジール病	0
262	原発性高カイロミクロン血症	0
263	脳腱黄色腫症	0
264	無 β リポタンパク血症	0
265	脂肪萎縮症	0
266	家族性地中海熱	2
267	高IgD症候群	0
268	中條・西村症候群	0
269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	0
270	慢性再発性多発性骨髄炎	1
271	強直性脊椎炎	10
272	進行性骨化性線維異形成症	0
273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	0
274	骨形成不全症	1
275	タナトフォリック骨異形成症	0
276	軟骨無形成症	0
277	リンパ管腫症/ゴーハム病	0
278	巨大リンパ管奇形（頸部顔面病変）	0
279	巨大静脈奇形（頸部口腔咽頭びまん性病変）	0
280	巨大動静脈奇形（頸部顔面又は四肢病変）	0
281	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	0
282	先天性赤血球形成異常性貧血	0
283	後天性赤芽球癆	3
284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	0
285	ファンconi貧血	0
286	遺伝性鉄芽球性貧血	0
287	エプスタイン症候群	0
288	自己免疫性後天性凝固因子欠乏症	2
289	クロンカイト・カナダ症候群	0
290	非特異性多発性小腸潰瘍症	0
291	ヒルシュスプルング病（全結腸型又は小腸型）	0
292	総排泄腔外反症	0
293	総排泄腔遺残	0
294	先天性横隔膜ヘルニア	0
295	乳幼児肝巨大血管腫	0
296	胆道閉鎖症	2
297	アラジール症候群	1

298	遺伝性腓炎	0
299	嚢胞性線維症	0
300	I g G 4 関連疾患	13
301	黄斑ジストロフィー	1
302	レーベル遺伝性視神経症	0
303	アッシャー症候群	0
304	若年発症型両側性感音難聴	0
305	遅発性内リンパ水腫	0
306	好酸球性副鼻腔炎	72
307	カナバン病	0
308	進行性白質脳症	0
309	進行性ミオクロームステんかん	1
310	先天異常症候群	0
311	先天性三尖弁狭窄症	0
312	先天性僧帽弁狭窄症	0
313	先天性肺静脈狭窄症	0
314	左肺動脈右肺動脈起始症	0
315	ネイルパテラ症候群（爪膝蓋骨症候群）／L M X 1 B 関連腎症	0
316	カルニチン回路異常症	1
317	三頭酵素欠損症	0
318	シトリン欠損症	0
319	セピアプテリン還元酵素（S R）欠損症	0
320	先天性グリコシルホスファチジルイノシトール（GPI）欠損症	0
321	非ケトーシス型高グリシン血症	0
322	β -ケトチオラーゼ欠損症	0
323	芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	0
324	メチルグルタコン酸尿症	0
325	遺伝性自己炎症疾患	0
326	大理石骨病	0
327	特発性血栓症（遺伝性血栓性素因によるものに限る。）	0
328	前眼部形成異常	0
329	無虹彩症	0
330	先天性気管狭窄症／先天性声門下狭窄症	1
331	特発性多中心性キャスルマン病	5
332	膠様滴状角膜ジストロフィー	0
333	ハッチンソン・ギルフォード症候群	0
334	脳クレアチン欠乏症候群	0
335	ネフロン癆	0
336	家族性低 β リボタンパク血症1（ホモ結合体）	0

337	ホモシスチン尿症	0
338	進行性家族性肝内胆汁うっ滞症	0
339	MECP2 重複症候群	0
340	線毛機能不全症候群（カルタゲナー症候群を含む。）	2
341	TRPV4 異常症	0
342	LMNB1 関連大脳白質脳症	0
343	PURA 関連神経発達異常症	0
344	極長鎖アシル-CoA 脱水素酵素欠損症	0
345	乳児発症 STING 関連血管炎	0
346	原発性肝外門脈閉塞症	0
347	出血性線溶異常症	0
348	ロウ症候群	0
合 計		2,763

2) 難病特別対策推進事業「難病在宅ケア事業」

(1) 在宅療養支援計画策定・評価事業

在宅の重症難病患者の療養を支援するため、関係機関と相互連携して評価及び課題の検討を行うことにより、地域支援体制充実を図った。

① ケア会議参加（定例）

概ね第2火曜日：対象患者2名

事例疾患	検討内容	回 数	出席者
筋萎縮性側索硬化症	在宅療養支援のための情報共有、支援者間の連携等	11 回	地域主治医・看護師・ケアマネジャー・訪問看護師・ヘルパー・保健師等

(2) 訪問相談事業

在宅の重症難病患者・家族の精神的負担の軽減を図り不安を緩和し、地域の関係職種・機関が連携し、包括的な在宅支援を行える体制を整えるため、訪問、電話相談を行った。

① 家庭訪問

	病名	実人数	延人数
令和7年度	筋萎縮性側索硬化症	7	13
	筋ジストロフィー	1	3
	脊髄小脳変性症	1	3
	計	9	19
令和6年度	筋萎縮性側索硬化症	4	4
	計	4	4
令和5年度	筋萎縮性側索硬化症	2	2
	計	2	2

② 来所相談

	実人数	延人数
令和 7 年度	33	42
令和 6 年度	21	23
令和 5 年度	15	15

③ 電話相談

	実人数	延人数
令和 7 年度	22	61
令和 6 年度	10	17
令和 5 年度	12	18

(3) 訪問看護師等育成事業＜難病研修＞

在宅支援に関わる関係機関が難病支援の理解と資質向上を図るため、研修を行った。

日時・場所	内容	対象者	参加数
令和 7 年 10 月 20 日(月) 四日市市総合会館 8 階視聴覚室	特定医療費(指定難病)医療費助成制度の概要、申請について	四日市地域のケアマネジャー等	150 名 (対面 30 名、オンライン 120 名)

3) 災害時対応の支援

医療依存度の高い在宅療養患者の生命を維持するため、災害時に近隣の住民による円滑な支援ができるよう、在宅療養患者が生活している自治会や地域の自主防災組織と協働し、避難訓練を行った。

日時・場所	内容	参加者
令和7年 10月5日(日) 9:00～11:00 市立内部中学校 体育館	(1) 講義 「医療依存度の高い在宅療養患者の 避難支援について」 講師 笹川内科胃腸科クリニック 院長 山中 賢治 氏 (2) 実技訓練 ・アンビュバッグの取扱 ・毛布を使った搬送方法 ・リクライニング車椅子を用いた搬 送訓練	38名 ・波木南台住民（自治会長・地域 支援者・自治会防災担当者） ・笹川内科胃腸科クリニック医師 ・医療機器販売事業者 ・他市保健所等 ・四日市市南消防署 ・四日市市役所 危機管理課
令和7年 10月26日(日) 9:00～11:00 市立西笹川中学 校 体育館	(1) 講義 「医療依存度の高い在宅療養患者の 避難支援について」 講師 笹川内科胃腸科クリニック 院長 山中 賢治 氏 (2) 実技訓練 ・アンビュバッグの取扱 ・毛布を使った搬送方法 ・リクライニング車椅子を用いた搬 送訓練	36名 ・笹川四丁目住民（自治会長・地 域支援者・自治会防災担当者） ・笹川内科胃腸科クリニック医師 ・医療機器販売事業者 ・他市保健所等 ・四日市市南消防署 ・四日市市役所 危機管理課

4. 感染症対策

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」（感染症法という。）に基づき、感染症の発生予防及び感染拡大防止に努め、その患者に対し、人権に配慮した適切な医療を提供するための必要な措置を行い、感染症対策を推進した。

また、発生動向調査により感染症情報を定期的に収集分析し、関係機関及び市民に情報提供を行った。

1) 感染症発生動向調査（感染症サーベイランスシステム）

感染症発生動向調査（感染症サーベイランスシステム：全国規模で情報を迅速に収集、分析、公開するオンラインシステム）を利用して、発生情報を国及び三重県に報告すると共に、感染症発生動向情報を受信し、ホームページにより市民に情報提供した。

2) 感染症患者の発生状況

(1) 一類・二類・三類・新型インフルエンザ等感染症発生状況(二類:結核以外) (件)

	病 名	令和 7 年度	令和 6 年度	令和 5 年度
新型インフルエンザ等感染症	新型コロナウイルス感染症			797
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	5	11	9
	腸チフス	-	1	-

※一類・二類（結核以外）感染症の発生なし。

※新型コロナウイルス感染症について、令和 4 年度及び令和 5 年度の件数は、令和 4 年 9 月から発生届の対象者が限定されたため、公表件数とする。また、令和 5 年 5 月 8 日より五類感染症（定点報告）へ移行した。

(2) 四類・五類感染症発生状況（全数報告対象疾患のうち届出のあったもの） (件)

	病 名	令和 7 年度	令和 6 年度	令和 5 年度
四類感染症	E 型肝炎	2	2	-
	A 型肝炎	-	1	-
	つつが虫病	-	2	1
	デング熱	-	2	-
	レジオネラ症	8	11	7
五類感染症	アメーバ赤痢	1	2	-
	ウイルス性肝炎	1	-	-
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	4	3	5
	急性弛緩性麻痺	1	2	1
	急性脳炎	1	5	1
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	6	4	6
	後天性免疫不全症候群	3	3	2
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	3	2	4
	侵襲性肺炎球菌感染症	11	8	4
	水痘(入院例に限る。)	-	1	-
	梅毒	50	52	23
	百日咳	144	1	-

(3) 病原体検査実施状況 (件)

病 名	令和 7 年度	令和 6 年度	令和 5 年度
コレラ	-	2	-
腸管出血性大腸菌感染症	29	39	51
腸チフス	-	2	-
E 型肝炎	-	1	-

A型肝炎	-	1	-
重症熱性血小板減少症候群	1	-	1
つつが虫病	1	2	1
デング熱	1	3	2
鳥インフルエンザ	1	-	-
日本紅斑熱	-	-	2
鼻疽	-	1	-
ライム病	-	-	2
レプトスピラ病	-	-	1
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	3	2	5
急性弛緩性麻痺	1	2	2
急性脳炎	-	4	1
風しん	1	2	1
麻しん	3	1	1
RSウイルス	-	-	-
咽頭結膜熱	-	-	1
インフルエンザ	-	22	49
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	-	-	1
感染性胃腸炎	23	-	65
急性呼吸器感染症	250		
手足口病	-	-	2
突発性発疹	-	-	1
ヘルパンギーナ	-	-	3
無菌性髄膜炎	-	-	1
流行性耳下腺炎	-	1	-
新型コロナウイルス感染症	-	1	5,487

※新型コロナウイルス感染症の検査について、患者発見・隔離のための有症状者等の検査は令和5年5月7日で、重症化リスクが高い者が多い医療機関、高齢者施設等での陽性者発生時の周囲の者への検査は令和6年3月31日で終了した。令和6年度は、三重県新型コロナウイルス感染症ゲノムサーベイランス事業として検査を実施した。

※急性呼吸器感染症について、令和7年4月7日より五類感染症に位置付けられた。

(4) 社会福祉施設等における発生状況

社会福祉施設等からの感染症集団発生時の報告に対し、調査及び指導等を行った。(件)

施設種別	病 名	令和7年度	令和6年度	令和5年度
社会福祉施設	インフルエンザ	3	6	5
	感染性胃腸炎	9	3	12
	新型コロナウイルス感染症	17	36	75

学校等	感染性胃腸炎	1	3	3
医療機関等	インフルエンザ	1	1	-
	新型コロナウイルス感染症	8	9	24

※新型コロナウイルス感染症について、令和5年5月8日から9月30日までは、三重県独自基準として、施設内感染による感染者が1週間で5人以上確認された場合に報告を求めた。

3) 衛生教育

感染症予防のための広報、ホームページ掲載、チラシの配布を行うとともに、自治会や企業、各種団体からの依頼により感染症予防のための健康教育を実施した。

また、福祉施設職員の感染症の及び食中毒の予防に対する意識を高め、正しい知識を日々の業務に活かすことにより、感染症発生時の拡大防止を図るため、介護保険課の協力のもと、感染症研修会を行った。

	令和7年度	令和6年度	令和5年度
回 数	68	38	25
参加人数	1255	849	813

※うち1回オンライン開催。

感染症研修会（再掲）

日時・場所	内容	対象者	参加数
令和7年9月26日(金) 13:00～15:35 総合会館 7階 第1研修室	【講義】 ・施設における感染対策について ・現場から学ぶ！ 高齢者施設の感染対策 ～集団発生事例から考える感染対策～ 【グループワーク】 ・各施設の集団発生事例をもとにした、感染症発生時の対応の共有・情報交換	介護保険サービス事業所及びサービス付き高齢者向け住宅職員のうち、感染症対策の中心者・実務を担う職員ほか	20人 (前記の延べ人数に含む)

4) 特定感染症検査（HIV除く）の実施

(件)

	令和7年度			令和6年度			令和5年度		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女
梅 毒	388	301	87	402	322	80	455	346	109
B型肝炎	391	302	89	402	322	80	453	342	111
C型肝炎	393	302	91	400	320	80	457	345	112

※B型肝炎・C型肝炎検査：保健所内での実施分

5) B型・C型ウイルス性肝炎治療費助成及び肝がん・重度肝硬変治療費助成受給者証認定状況

B型・C型ウイルス性肝炎の根治を目的に行うインターフェロン治療、C型ウイルス性肝炎の根治を目的に行うインターフェロンフリー治療並びにB型ウイルス性肝炎に対して行う核酸アナログ製剤治療、及び肝硬変・肝がんに関し新たな治療方法の研究開発の促進その他治療水準の向上を図ることを目的に行う肝がん・重度肝硬変治療に対して、医療費の自己負担分の一部を公費で助成する制度である。本市では、申請の受付、三重県桑名保健所への経由事務を行った。

令和7年度末現在認定者数（人）

	令和7年度	令和6年度	令和5年度
インターフェロン治療	0	0	0
インターフェロンフリー治療	15	18	10
核酸アナログ製剤治療	229	222	213
肝がん・重度肝硬変治療	0	1	0

5. エイズ対策

感染者や患者への差別や偏見をなくすための知識普及と早期診断のための検査と相談を行った。

1) 保健所における HIV 抗体検査数 (件)

	令和7年度	令和6年度	令和5年度
検査数	398	406	453
(夜間検査再掲)	128	101	121

2) 相談件数 (件)

	令和7年度		令和6年度		令和5年度	
相 談	来所	電話	来所	電話	来所	電話
	3	48	5	76	6	56

※検査来所時の相談は含まず。

3) 啓発活動

(1) HIV 検査普及週間（6月1日～6月7日）における活動

① 夜間検査の増設

検査実施日：令和7年6月4日（水） 17：30～19：00

結果報告日：令和7年6月11日（水） 17：30～19：00

② 市ホームページへの掲載（バナー広告、特設ページ）

③ SNS 掲載（Facebook、X）

④ 広報よっかいち 5 月下旬号に掲載

⑤ ポルトガル語広報 5 月下旬号に掲載

⑥ デジタルサイネージ掲載

(2) 世界エイズデー（12月1日）における活動

① 夜間検査の増設

検査実施日：令和7年12月 3日（水） 17：30～19：00

結果報告日：令和7年12月 10日（水） 17：30～19：00

② 市ホームページへの掲載（バナー広告、特設ページ）

③ SNS 掲載（Facebook、X）

④ 「世界エイズデー」ポスター掲示・配布（配布先：市内学校（中学校、高等学校、専門学校、大学）、各地区市民センター等）

⑤ 拠点病院（県立総合医療センター）にて啓発物設置

⑥ 総合会館ロビーでのパネル展示 令和7年11月17日（月）～12月5日（金）

⑦ 市内鉄道駅構内（近鉄四日市駅、近鉄富田駅、あすなろう鉄道四日市駅）にて啓発ポスター設置

⑧ 働く世代へ情報を配信

⑨ 街頭啓発実施 四日市ふれあいモール

令和7年11月30日（日） 14時から1時間程度実施

啓発グッズ（啓発カード付入浴剤）の配布 1,500個

⑩ 広報よっかいち 11月下旬号に掲載

⑪ ポルトガル語広報 11月下旬号に掲載

⑫ デジタルサイネージ掲載

⑬ じんけんフェスタ 2025 にて啓発パネル、啓発ティッシュ 100 個を設置
令和7年12月7日（日）

(3) 性感染症に関する講座

実施日	対象	出席者数(人)
令和8年3月12日（木）	市内小中学校養護教諭	58

(4) その他

① 医療機関にて啓発ポスターを掲示。

② 各地区市民センター、大学、専修学校に啓発ポスターの掲示、検査案内カードの配布。

③ 外国人向け啓発リーフレット(ポルトガル語、スペイン語、英語、中国語)を国際交流センター、市役所外国人市民向け生活オリエンテーション窓口、国際共生サロン、市内日本語学校)へ配布、国際交流センターのホームページに資料掲載。

IV. 衛生指導課

1. 食 品 衛 生

1) 食品営業・届出施設の監視指導状況

食の安全と安心を確保するために、四日市市食品衛生監視指導計画に基づき、食品関係事業者に対して監視指導を行った。令和3年6月1日施行の改正食品衛生法により義務化されたHACCPに沿った衛生管理について、取組状況の確認と運用支援に重点を置き、取扱食品の流通の広域性、製造量などから食中毒が発生した場合に大規模となる可能性が高い施設を中心に監視指導を行った。

(1) 業種別監視数

①旧食品衛生法に基づく許可を要する食品関係営業施設

	令和7年度末 施設数	令和6年度末 施設数	令和7年度 監視施設数	令和6年度 監視施設数	令和5年度 監視施設数
飲食店営業	358	1,013	86	139	216
菓子製造業	53	142	13	43	50
乳処 理 業	0	0	0	0	0
特別牛乳さく取処理業	0	0	0	0	0
乳製品製造業	1	1	1	0	1
集 乳 業	0	0	0	0	0
魚介類販売業	16	50	15	51	88
魚介類せり売り業	1	2	0	2	3
魚肉ねり製品製造業	0	1	0	0	1
食品の冷凍冷蔵業	4	11	4	8	10
かん詰・びん詰製造業	2	4	1	0	1
喫茶店営業	75	134	5	6	9
あん類製造業	0	0	0	0	0
アイスクリーム類製造業	6	22	5	0	6
食 肉 処 理 業	5	11	4	5	11
食 肉 販 売 業	19	45	12	33	51
食 肉 製 品 製 造 業	0	2	0	0	1
乳酸菌飲料製造業	0	0	0	0	0
食用油脂製造業	1	1	1	1	1
マーガリン・ショートニング製造業	0	0	0	0	0
み そ 製 造 業	0	1	0	0	0
醬 油 製 造 業	0	0	0	0	0
ソ ー ス 製 造 業	1	4	2	2	1
酒 類 製 造 業	0	0	0	0	0

豆 腐 製 造 業	0	1	0	0	1
納 豆 製 造 業	0	0	0	0	0
め ん 類 製 造 業	0	11	0	2	2
総 菜 製 造 業	9	18	3	5	7
添 加 物 製 造 業	4	10	4	2	3
食 品 の 放 射 線 照 射 業	0	0	0	0	0
清 涼 飲 料 水 製 造 業	1	2	0	0	0
氷 雪 製 造 業	0	0	0	0	1
計	556	1,486	156	299	464

② 改正食品衛生法に基づく許可を要する食品関係営業施設

	令和7年度末 施設数	令和6年度末 施設数	令和7年度 監視施設数	令和6年度 監視施設数	令和5年度 監視施設数
飲 食 店 営 業	3,410	2,646	1,414	1,135	1,258
調理の機能を有する自動販 売 機 に よ る 営 業	26	20	12	8	5
食 肉 販 売 業	89	67	63	49	30
魚 介 類 販 売 業	96	70	81	71	58
魚 介 類 競 り 売 り 業	2	1	2	0	1
集 乳 業	0	0	0	0	0
乳 処 理 業	0	0	0	0	0
特 別 牛 乳 搾 取 処 理 業	0	0	0	0	0
食 肉 処 理 業	15	11	9	6	7
食 品 の 放 射 線 照 射 業	0	0	0	0	0
菓 子 製 造 業	344	273	138	140	109
アイスクリーム類製造業	12	12	5	4	9
乳 製 品 製 造 業	1	1	2	1	2
清 涼 飲 料 水 製 造 業	7	7	5	2	7
食 肉 製 品 製 造 業	5	4	3	3	4
水 産 製 品 製 造 業	11	10	0	8	3
氷 雪 製 造 業	1	0	1	0	0
液 卵 製 造 業	1	1	2	0	1
食 用 油 脂 製 造 業	7	7	1	5	6
みそ又はしょうゆ製造業	9	8	1	1	0
酒 類 製 造 業	9	7	3	1	7
豆 腐 製 造 業	4	4	2	2	3
納 豆 製 造 業	0	0	0	0	0

麵 類 製 造 業	14	7	10	7	4
そ う ざ い 製 造 業	89	70	49	33	35
複 合 型 そ う ざ い 製 造 業	3	3	3	4	1
冷 凍 食 品 製 造 業	3	3	2	2	2
複 合 型 冷 凍 食 品 製 造 業	2	2	2	1	1
漬 物 製 造 業	18	15	5	9	5
密 封 包 装 食 品 製 造 業	21	15	9	7	10
食 品 の 小 分 け 業	13	12	4	5	0
添 加 物 製 造 業	25	21	15	8	17
計	4,237	3,297	1,843	1,512	1,585

③ 届出を要する食品関係営業施設

		令和7年度末 施設数	令和6年度末 施設数	令和7年度 監視施設数	令和6年度 監視施設数	令和5年度 監視施設数
旧許可 業種で あった 営業	魚介類販売業 (包装)	53	77	3	6	6
	食肉販売業 (包装)	82	106	10	11	13
	乳類販売業	191	231	22	14	12
	氷雪販売業	4	5	0	0	0
	コップ式自動販売機 (自動洗浄・屋内設置)	551	532	21	11	1
販売業	弁当販売業	29	24	0	0	0
	野菜果物販売業	71	67	27	28	36
	米穀類販売業	37	25	0	0	0
	通信販売・訪問販 売による販売業	3	3	0	0	0
	コンビニエンス ストア	150	128	38	15	32
	百貨店、総合 スーパー	92	85	90	65	70
	自動販売機による販売 業(コップ式以外)	129	123	9	4	5
	その他の食料・ 飲料販売業	483	400	52	25	40

製造・加工業	添加物製造・加工業	15	15	6	0	12
	いわゆる健康食品の製造・加工業	7	7	3	1	3
	コーヒー製造・加工業	43	31	3	4	0
	農産保存食料品製造・加工業	6	5	0	0	0
	調味料製造・加工業	11	9	2	1	2
	糖類製造・加工業	1	1	0	0	0
	精穀・製粉業	5	4	0	0	0
	製茶業	43	39	2	1	2
	海藻製造・加工業	3	3	0	2	0
	卵選別包装業	7	7	1	1	5
	その他の食料品製造・加工業	81	72	10	8	9
その他	行商	7	5	0	0	0
	集団給食施設（20食以上）	174	170	42	44	40
	器具、容器包装の製造・加工業（合成樹脂）	18	17	0	0	0
	露店、仮設店舗等における飲食の提供のうち、営業とみなされないもの	0	4	0	0	0
	その他	10	9	2	0	0
計		2,306	2,204	343	241	288

（ランク別監視数）

項目 ランク	監視頻度 （目安）	対象施設数 （令和6年度末施設数）	令和7年度 監視数（件）	令和7年度 監視実施率（%）
A	1回以上／1年	275	324	117.8
B	必要に応じて	6,915	2,024	29.3

ランク A：食中毒が発生した場合に大規模となる可能性が高い施設（大量調理を行う飲食店営業、大量調理を行う集団給食施設、大規模小売り店舗、広域流通させる製造業）等
 ランク B：A以外の施設

2) 食品等の収去検査等実施状況

市内において生産、製造、加工及び販売される食品等の抜き取り検査（収去検査）を行い、食品衛生法及び食品表示法に定める基準等に基づき指導を行うことで不良・違反食品を排除し、食中毒、食品事故の未然防止に努めるとともに、事業者の自主衛生管理の強化を図った。

令和7年度は、収去検査を293件実施した結果、四日市市食品の衛生管理指標に基づく不適合が11件判明したため、その製造業者に対する指導等により改善確認を行った。

（乳以外の食品の収去検査）

分 類 \ 項 目	令和7年度 収去検体数	規格基準 違反件数	表示 違反件数	市指標 不適件数	令和6年度 収去検体数	令和5年度 収去検体数
魚 介 類	10	0	0	0	10	10
魚 介 類 加 工 品 （かん詰・びん詰を除く。）	10	0	0	0	10	14
肉 卵 類 及 び そ の 加 工 品 （かん詰・びん詰を除く。）	19	0	0	0	17	19
乳 製 品	2	0	0	0	1	1
穀 類 及 び そ の 加 工 品 （かん詰・びん詰を除く。）	17	0	0	0	22	21
野 菜 ・ 果 物 及 び そ の 加 工 品 （かん詰・びん詰を除く。）	32	0	0	2	33	32
菓 子 類	23	0	0	3	32	29
清 涼 飲 料 水	0	0	0	0	1	0
酒 精 飲 料	0	0	0	0	0	1
か ん 詰 ・ び ん 詰 食 品	9	0	0	0	8	9
そ の 他 の 食 品	168	0	0	6	179	166
器 具 及 び 容 器 包 装	1	0	0	0	1	1
合 計	291	0	0	11	314	303

（乳の収去検査）

分 類 \ 項 目	令和7年度 収去検体数	規格基準 違反件数	表示 違反件数	令和6年度 収去検体数	令和5年度 収去検体数
牛 乳	2	0	0	2	2
合 計	2	0	0	2	2

(拭取り検査・ＡＴＰ検査)

分類 \ 項目	令和 7 年度 収去検体数	令和 6 年度 収去検体数	令和 5 年度 収去検体数
器具等拭取検査	38	45	26
器具等ＡＴＰ検査	176	202	123

３）食品等の要望・申出・相談・調査対応状況

「食品を食べて体調を崩した。」、「食品中に異物（虫、毛等）が入っていた。」など市民からの相談に対して食品等の調査を実施した。また、広域的な食中毒事案の際や不良食品等の調査については、関係の都道府県、政令市等と緊密な情報交換を行い、その原因究明と被害拡大防止に努めた。

(要望・申出・相談・調査件数)

分類 \ 項目		有症者・ 食中毒(疑いを 含む) 相談・ 調査件数	食品要望 申出・相談 ・調査件数	表示相談・ 調査件数	合 計
内 訳	当市での対応	29	84	15	128
	市外から調査依頼	8	1	1	10
	市外への調査依頼	3	1	0	4
令和 7 年度		40	86	16	142
令和 6 年度		55	52	15	122
令和 5 年度		58	65	14	137

４）食中毒の発生

食中毒は 2 件発生し、カンピロバクター・ジェジュニ、ノロウイルスが原因物質であった。原因施設に対して衛生指導を行い、再発防止を図った。

発生年月	原因施設	患者数	原因食品	原因物質
令和 7 年 8 月	飲食店 (その他)	9 名	不明 (令和 7 年 8 月 30 日に 提供された食事)	カンピロバクター・ジェジュニ
令和 8 年 3 月	飲食店 (仕出し 屋、弁当 屋)	12 名	令和 8 年 3 月 22 日に調理さ れた弁当	ノロウイルス

５）食中毒警報

令和 7 年度は、食中毒警報を 3 回発令した。発令時には関係機関に情報提供を行うとともに、掲示板、立て看板、ホームページ、安全安心防災メール、市内ケーブルテレビのデータ放送にて情報発信した。

令和 7 年度	発令 基準※	令和 6 年度	発令 基準※	令和 5 年度	発令 基準※
発令月日		発令月日		発令月日	
7 月 7 日	(1)	7 月 3 日	(3)	7 月 3 日	(1)
7 月 28 日	(1)	7 月 22 日	(1)	7 月 18 日	(1)
8 月 18 日	(1)	7 月 29 日	(1)	8 月 28 日	(1)

※食中毒警報発令基準

- (1) 気温 30℃以上が 10 時間以上継続することが予想される場合
- (2) 気温 25℃以上で相対湿度 90%以上が 10 時間以上継続することが予想される場合
- (3) 24 時間以内に急激に気温が上昇し、その差が 10℃以上を超えることが予想される場合
- (4) (1)から(3)に掲げるもののほか、食中毒及び感染症の発生状況等を勘案し、特に必要があると認める場合

警報の有効期間：警報発令後 48 時間

6) 食品衛生知識の普及啓発

食品等事業者に対し、食品衛生講習会を定期的に開催し、食中毒予防やHACCPに沿った衛生管理について説明した。また、市民への食品衛生知識の普及啓発などを目的として、講習会等を実施した。

さらに、「広報よっかいち」に食中毒予防に係る啓発記事を掲載すると共に、8月8日には大規模小売店舗2店舗において、四日市食品衛生協会と協働し食中毒防止の注意喚起や啓発物品を配布して幅広く食中毒防止について普及啓発を行った。

(食品衛生講習会等の実施状況)

項目 講習会対象者	令和 7 年度		令和 6 年度		令和 5 年度	
	実施回数	参加人数	実施回数	参加人数	実施回数	参加人数
食 品 事 業 者	25	1,083	26	1,056	27	1,138
給 食 関 係 従 事 者	2	279	2	224	2	186
食 生 活 改 善 推 進 員	3	185	1	45	2	66
消 費 者	4	82	4	83	4	81
そ の 他	5	68	3	65	2	867
合 計	39	1,697	36	1,473	37	2,338

2. 獣 医 務 衛 生

狂犬病予防法に基づく飼い犬の登録や狂犬病予防注射などを動物病院と連携して実施した。また、係留されていない犬の捕獲等を行うことで狂犬病の被害防止に努めた。

また、動物の愛護及び管理に関する法律及び三重県動物の愛護及び管理に関する条例に基づき、犬等による人への危害防止、動物取扱業の監視指導、動物の適正飼養の普及啓発を行った。

動物の愛護と生活環境の保全を両立した「人と動物の共生できる社会」の実現を目指し、地域住民等が餌やり等の管理をしている飼い主のいない猫に対し、避妊去勢手術費用の補助を行い、地域環境の維持に努めた。

1) 畜犬登録及び狂犬病予防注射実施状況

(頭)

	登録数			注射頭数		
	令和7年度	令和6年度	令和5年度	令和7年度	令和6年度	令和5年度
登録頭数	18,931	19,072	18,825			
うち新規登録数	1,117	1,368	1,196			
総注射頭数				13,378	13,564	13,569
うち集合注射頭数				736	796	1,033
うち家庭注射頭数				12,642	12,768	12,536

2) 動物による咬傷事故状況（届出件数）（件）

	犬	犬以外
令和7年度	11	0
令和6年度	16	0
令和5年度	9	0

3) 第一種動物取扱業届出数及び監視状況

(件)

		総施設数	区 分							計
			販売	保管	貸出	訓練	展示	譲受飼養	競りあっせん	
令和7年度	登録数	103	51	69	4	9	7	3	0	143
	監視数	29	13	23	1	3	2	1	0	43
令和6年度	登録数	103	52	66	4	9	7	3	0	141
	監視数	35	18	18	3	2	6	0	0	47
令和5年度	登録数	96	49	61	4	9	8	3	0	134
	監視数	24	13	16	0	0	4	1	0	34

4) 犬及び猫の捕獲・引取・処分状況

(頭)

		捕獲	引取	返還	譲渡	殺処分※			
						①	②	③	計
令和7年度	犬	17	19	32	3	1	0	0	1
	猫	-	20	0	9	0	0	11	11
令和6年度	犬	13	25	30	7	0	0	1	1
	猫	-	21	0	6	0	0	15	15
令和5年度	犬	19	21	35	5	0	0	0	0
	猫	-	41	0	21	4	0	16	20

※殺処分の内訳

- ① 譲渡することが適切ではない（治癒の見込みがない病気や攻撃性がある等）
- ② ①以外の処分（譲渡先の確保や適切な飼養管理が困難）
- ③ 引取り後の死亡（病気、老齢、幼齢等のため死亡した動物）

5) 犬及び猫等の相談・問い合わせ状況

(件)

	令和 7 年度			令和 6 年度			令和 5 年度		
	犬	猫	その他の動物	犬	猫	その他の動物	犬	猫	その他の動物
飼い方指導依頼 (糞尿・放し飼い・鳴き声等)	106	66	0	80	73	1	90	56	5
野犬・放浪犬保護依頼	49	-	-	31	-	-	64	-	-
負傷・死亡収容 (36 条) 依頼	10	30	1	9	42	5	5	47	10
引取り (35 条) 依頼	40	50	2	56	49	5	33	51	2
失踪照会	130	67	6	87	104	4	124	138	4
その他	554	591	165	492	539	150	445	485	168
TNR 依頼	-	2	-	-	5	-	-	7	-
動物取扱業に関する通報	0			3			1		
特定動物に関する通報	0			0			0		
人獣共通感染症に関する相談	6			7			11		
ペット防災に関する相談	46			52			10		
犬の登録注射に関すること	1,977			1,823			1,346		
避妊去勢手術補助に関すること	1,278			1,134			516		

6) 飼い主のいない猫の避妊等手術補助金交付事業実施状況

(件)

	飼い主のいない猫			飼い犬			飼い猫		
	メス	オス	計	メス	オス	計	メス	オス	計
令和 7 年度	298	238	536	242	233	475	294	337	631
令和 6 年度	334	283	617	218	252	470	315	332	647
令和 5 年度	368	212	580	250	266	516	338	334	672

3. 生 活 衛 生

市民が安心して施設を利用できるよう、専門的な観点から理容所、美容所、公衆浴場などの生活衛生関係施設の監視を行い、自主的な衛生管理の推進を図った。

(営業施設数及び監視件数等の状況)

	施設数 (令和7年 4月1日現在)	開設数	令和7年度 監視件数	令和6年度 監視件数	令和5年度 監視件数
		廃止数			
理 容 所	223	1 7	13	9	17
美 容 所	714	46 30	113	95	109
クリーニング所	工場 38	0 7	工場 11	工場 5	工場 3
公 衆 浴 場	23	1 0	22	10	3
興 行 場	9	0 0	5	3	3
旅 館 業	79	3 4	18	17	10
総 数	1,086	51 48	182	139	145

4. 薬 務

1) 医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律等に基づく指導

「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」や「毒物及び劇物取締法」等の関係法令に基づき、医薬品や毒物及び劇物を取り扱う事業者に対して、監視指導を行い、医薬品の安全性、適正な流通の確保を図るとともに、毒物及び劇物の取扱いの徹底を図ることによる健康被害や事故の発生防止に努めた。

(薬務六法に基づく施設数及び監視数)

業 種 \ 事 項		許可・ 届出数	令和7年度 監視数	令和6年度 監視数	令和5年度 監視数
医 薬 品	薬 局	160	121	125	118
	薬 局 製 造 医 薬 品 製 造 業	5	2	3	2
	薬 局 製 造 販 売 業	5	2	3	2
	店 舗 販 売 業	63	46	42	53
	業 務 上 取 り 扱 う 施 設		27	18	20

医薬部外品	販 売 業			128	129	132
	業 務 上 取 り 扱 う 施 設			28	20	18
化 粧 品	販 売 業			96	78	93
	業 務 上 取 り 扱 う 施 設			8	3	4
医療機器	販 売 業	高度管理医療機器等	161	107	93	93
		管 理 医 療 機 器	821	195	193	186
		一 般 医 療 機 器		196	193	186
	貸 与 業	高度管理医療機器等	98	79	53	68
		管 理 医 療 機 器	59	97	58	80
		一 般 医 療 機 器		97	58	80
	業 務 上 取 り 扱 う 施 設			27	21	21
毒物劇物	一 般 販 売 業		203	90	75	75
	農 業 用 品 目 販 売 業		14	5	3	4
	特 定 品 目 販 売 業		3	1	1	1
	業 務 上 取 扱 者	電 気 メ ッ キ	2	1	1	1
		運 送 業	15	5	5	7
	非 届 出 業 務 上 取 扱 者			32	26	21
麻 薬	小 売 業			113	111	111
	病 院			21	16	16
	一 般 診 療 所			5	2	4
	家 畜 診 療 所			1	1	1
覚醒剤原料	薬 局			121	125	118
	病 院 / 診 療 所 / 家 畜 診 療 所			27	19	21
総 数			1,609	1,678	1,475	1,563

2) 薬物乱用防止普及・啓発活動等

(1) 不正大麻・けし撲滅運動（令和7年4月1日～令和7年6月30日）

大麻、けしの不正栽培及び自生大麻・けしを撲滅するため、市民に対し「植えてはいけないけしの花」チラシ、ポスター、リーフレット（厚生労働省編、けし・大麻の見分け方）の配布及び市ホームページ、デジタルサイネージ等による普及啓発を図るとともに、その発見除去に努めた。管内における自生けしの発見は76箇所、60,255本あり、除去焼却した。

(2) 「ダメ。ゼッタイ。」普及運動（令和7年6月20日～令和7年7月19日）

国連決議による「6.26 国際麻薬乱用撲滅デー」に合わせて、薬物乱用防止啓発運動を実施した。

街頭啓発：令和7年6月29日（日）近鉄四日市駅北口ふれあいモール

啓発資材の配布とプラカードを掲げて、薬物乱用防止について広く市民へ普及啓発を行った。

参加者：42人 啓発者数：2,500人

（３）麻薬・覚醒剤・大麻乱用防止運動（令和７年１０月１日～令和７年１１月３０日）

①街頭啓発：令和７年１０月２２日（水）近鉄四日市駅北口ふれあいモール

医薬品登録販売者協会主催による街頭啓発に参加し、薬物乱用防止の呼びかけと啓発資材の配付を行った。

参加者：７人

啓発者数：１,０００人

②啓発キャンペーン：「ダメ。ゼッタイ！」薬物乱用防止啓発キャンペーン 四日市大会
地域住民と連携し、薬物乱用防止に関するクイズ大会の実施や乱用薬物に関するパネルコーナー等を設け来場者に対して啓発活動を実施した。

実施日：令和７年１１月２日（日） 四日市市立下野小学校体育館他

参加者：１１４人

参加者数：１,５９３人

（４）薬物乱用防止教室の推進

薬物乱用防止教室を希望する市内小学校・中学校について教育委員会と連携し学校薬剤師、ライオンズクラブ等に講師要請を行った。また、各種講習会や薬物乱用防止教室において薬物乱用防止普及啓発に努めた。

- ・ 「薬物乱用防止教室への講師派遣」：４０件
- ・ 「各種講習会における薬物乱用防止啓発」：６９件

（５）その他の啓発活動

①大四日市まつり（街頭啓発及びおまつり広場）：令和７年８月３日（日）

近鉄四日市駅北口ふれあいモール及び四日市一番街商店街

ふれあいモールにてプラカードを掲げて、薬物乱用防止の呼びかけと啓発資材の配付を行い、四日市一番街商店街では薬物乱用防止の願いを込めた歌詞を踊りで表現した「ダメ。ゼッタイ。音頭」を披露し、薬物乱用防止について市民へ普及啓発を行った。

参加者：６５人

啓発者数：２,１７８人

②よんてつ（四日市徹夜踊りの祭典）：令和７年９月２７日（土） 四日市ドーム

薬物乱用防止の願いを込めた歌詞を踊りで表現した「ダメ。ゼッタイ。音頭」を来場者と一緒に踊り、薬物乱用防止について市民へ普及啓発を行った。

参加者：４４人

啓発者数：８,０００人

③広報よっかいち「きらり四日市人」、CTY-FM「わいわい人探訪」、CTY「ケーブルNews（市政情報コーナー）」において、薬物乱用防止啓発放送を行った。年間を通し、地域でのお知らせ等日本語のみならずポルトガル語等も含め啓発を行った。

5. 献血事業

市内の各種団体、献血会、事業所、学校等の協力を得て、献血意識の普及、啓発に努めるとともに、多くの市民に献血にご協力いただいた。

1) 四日市市献血推進の日（夏、冬）

- ・令和7年7月25日（金）、令和8年1月23日（金）近鉄四日市駅北口ふれあいモールで実施

2) 「令和7年度献血クリスマスキャンペーン」

- ・令和7年12月21日（日）イオンタウン四日市泊店で実施

3) 四日市献血ルーム「サンセリテ」

三重県赤十字血液センターが近鉄四日市駅前「トナリエ四日市」5階にて常設の献血ルームを開設している。

4) 献血状況

(1) 献血イベントの状況

	推進の日（夏）	クリスマスキャンペーン	推進の日（冬）
献血者数（人）	55	40	52
啓発参加者数（人）	76	36	30

(2) 市内献血バス及び献血ルーム「サンセリテ」の状況

	令和7年度		
	献 血 協 力 者 実 績（人）		
	成分献血	200ml 献血	400ml 献血
献血バス	—	—	3,003
サンセリテ	10,337	234	6,486
合 計	10,337	234	9,489

6. 骨髄バンク事業推進

献血イベントに併せ、意識の普及啓発に努めるとともに、平成26年度より骨髄提供を行った市民及び事業所に対し、奨励金を交付する骨髄等提供支援事業を実施している。

1) 骨髄バンクの普及啓発

- ・令和7年7月25日（金） 近鉄四日市駅北口ふれあいモールで実施
- ・令和7年12月21日（日） イオンタウン四日市泊店で実施
- ・令和8年1月23日（金） 近鉄四日市駅北口ふれあいモールで実施

2) 骨髄等提供支援事業実績

- ・令和7年度奨励金の交付実績 1件

V. 食肉・衛生検査所（旧：食品衛生検査所）

1. 食肉検査

1) と畜検査

と畜場法第 14 条に基づき四日市市食肉センターに搬入された牛、豚などの全頭検査を実施した。精密検査が必要な場合は、枝肉内臓等を保留して病理、微生物、理化学等の検査を実施し合否判定を行った。

と畜検査頭数 (頭)

年 度	牛	豚
令和 7 年度	3,416 (とく※13 含む)	93,492
令和 6 年度	4,315 (とく※20 含む)	97,079
令和 5 年度	4,256 (とく※28 含む)	92,293

※とく…1 歳未満の牛のこと

2) 食鳥検査（立入検査）

食鳥処理事業の規制及び食鳥検査に関する法律第 38 条に基づき、認定小規模処理施設で処理される食鳥肉における安全性の確保並びに処理施設の監視指導を行った。

	令和 7 年度	令和 6 年度	令和 5 年度
認定小規模処理施設数(ヶ所)	1	1	2
監視件数(件)	1	2	2
収去検査件数(件)	1	2	2

3) 食肉安全対策

と殺・解体工程、枝肉、冷蔵庫及び食肉処理室等の細菌汚染調査を行った。検査結果に基づき、と畜場・食鳥処理施設の衛生指導を実施した。また、と畜場の衛生管理について外部検証を実施した。

(件)

検査項目	令和 7 年度	令和 6 年度	令和 5 年度
腸管出血性大腸菌	68	68	67
サルモネラ	6	6	6
カンピロバクター	6	6	6
一般生菌数	261	261	256
腸内細菌科菌群数	261	261	256
合 計	602	602	591

2. 試験検査

1) 牛海綿状脳症（BSE）検査

と畜場に搬入された牛のうち、生体検査において行動異常又は神経症状を呈するものが BSE 検査の対象となるが、全て検査対象外であった。

(頭)

年 度	検査数	陰性数
令和 7 年度	0	0
令和 6 年度	0	0
令和 5 年度	0	0

2) 畜産食品残留有害物質検査

食肉及び食鳥肉の残留抗菌性物質等の検査を実施した。

(件)

検査項目	令和 7 年度	令和 6 年度	令和 5 年度
抗生物質	268	290	272
合成抗菌剤	27	27	27
テトラサイクリン類	27	27	27
内部寄生虫薬	27	26	26
合計	349	370	352

3. 衛生検査

1) 食品衛生関連検査

(1) 食品収去 規格基準検査・衛生管理指標検査

(件)

検体種別	令和 7 年度			令和 6 年度 検体数	令和 5 年度 検体数
	検体数	不適合件数			
		指標	規格		
生食用魚介類	10	0	0	10	10
魚肉練り製品	10		0	10	10
食肉製品	10		0	10	10
豆腐	2	2		2	2
生洋菓子	12	1		19	18
生和菓子	9	2		9	9
調理ご飯	32	1		32	32
調理パン	20	4		20	20
漬物	8	0		8	8
生めん	3	0		6	5
ゆでめん	13	0		14	15
惣菜	57	1		71	65
学校給食	48	0		46	40
液卵	1		0	0	0
計	235	11	0	257	244

(2) 食中毒及び有症苦情等の微生物検査

(件)

検 査 項 目	令和 7 年度	令和 6 年度	令和 5 年度
病原大腸菌	72(2)	115(11)	94(2)
サルモネラ属菌	72	115(2)	94(16)
カンピロバクター属菌	72(1)	115(6)	94(2)
黄色ブドウ球菌	72(3)	115(1)	94(6)
セレウス菌	72	115(4)	94
ウェルシュ菌	72(1)	115	116(7)
ビブリオ属菌	72	115	94
エルシニア エンテロコリチカ	72	115	94
細菌性赤痢	39	57	94
ノロウイルス	53(19)	69(30)	72(8)

※ ()内は陽性件数

(3) 毒物迅速検査

(件)

	令和7年度	令和6年度	令和5年度
検体数	0	0	0

2) 感染症関連検査

(1) 感染症血清学的検査

(件)

検査項目	令和7年度	令和6年度	令和5年度
H I V	398	406	453
H B s A g	391 (1)	402 (1)	453 (3)
H C V	393 (1)	400 (1)	457 (2)
S T S	388 (6)	402 (4)	455 (7)
T P	388 (22)	402 (11)	455 (14)

※ ()内はスクリーニング検査陽性件数

HIV : ヒト免疫不全ウイルス抗原・抗体検査 HBsAg : B型肝炎ウイルス抗原検査

HCV : C型肝炎ウイルス抗体検査 STS : 梅毒抗体検査 (脂質を抗原とする)

TP : 梅毒抗体検査 (菌体を抗原とする)

(2) 感染症発生時及び検疫通報時の防疫検査

(件)

検査項目	令和7年度	令和6年度	令和5年度
腸管出血性大腸菌及び ベロ毒素産生遺伝子検索	29 (14)	39 (10)	50 (10)
腸チフス	0	1	0
パラチフス	0	0	0
コレラ	0	1	0
細菌性赤痢	0	0	0
食中毒細菌全般	0	0	16 (1)
ノロウイルス	23 (11)	0	63 (23)
ロタウイルス	0	0	40
アデノウイルス	0	0	40
レジオネラ	0	10	0

※ ()内は陽性件数

VII. こども家庭センター

1. 母子保健事業

1) 安心して出産するために

(1) 母子健康手帳の交付

母子健康手帳を交付し、出産までの経緯や児の成長を記録することで、母並びに乳幼児の健康の保持及び増進を図った。

交付者数（件）

	令和7年度	令和6年度	令和5年度
母子健康手帳交付数	2,167	2,251	2,187
（参考）妊娠届出数	2,055	2,078	2,047

(2) 低所得の妊婦に対する初回産科受診料支援事業

低所得世帯の者が妊娠判定のために初めて産科医療機関を受診した際にかかる費用を補助することにより、低所得世帯の妊婦の経済的負担軽減を図るとともに、必要な支援につなげることを目的とする。（令和6年4月開始）

交付者数（人）

令和7年度	令和6年度
4	2

(3) 妊婦一般健康診査

妊婦を対象に、健康診査（医療機関に委託）を実施して、安全な分娩と健康な児の出生を支援した。また、里帰り出産等のために、県外で妊婦健康診査を受診した場合の、受診費用の補助を行った。

① 県内医療機関受診件数（人）

年 度	① 1～5 回目	② 6～14 回目	合計（①＋②）
	受診件数	受診件数	受診件数
令和7年度	9,792	13,989	23,781
令和6年度	9,751	13,279	23,030
令和5年度	9,764	13,656	23,420

② 県外医療機関等受診費用補助申請件数及び回数（件）

年 度	補助申請件数（件）	補助申請回数（回）
令和7年度	219	916
令和6年度	229	907
令和5年度	268	1,091

③ 合計受診件数 (①+②) (件)

年 度	合計受診件数	妊娠届出者数
令和 7 年度	24,697	2,055
令和 6 年度	23,937	2,078
令和 5 年度	24,511	2,047

(4) 多胎妊婦健康診査受診費用補助金交付事業

多胎児妊娠中の妊婦が、通常の 14 回の妊婦健康診査に加えて、妊娠期間中に追加で受診を要した健診費用の補助を行った。(令和 3 年 4 月開始)

補助申請件数

年 度	申請件数 (件)	妊婦実人員 (人)
令和 7 年度	6	6
令和 6 年度	10	10
令和 5 年度	5	5

(5) 多胎児家庭家事支援サービス費用補助事業

産前産後の育児や家事の負担が大きい多胎妊婦、多胎児家庭が家事支援を受けるためにヘルパー等を利用する場合にかかる費用の一部を補助した。(令和 6 年 4 月開始)

申請・利用件数 (件)

	利用区分	産前産後	0 歳児	1 歳	合計
申請件数 (件)	令和 6 年度	27	21	11	59
	令和 7 年度	9	28	14	51
利用件数 (件)	令和 6 年度	7	43	20	70
	令和 7 年度	0	59	110	169

(6) 育児学級「パパママ教室」

妊婦とその家族を対象に、妊娠・育児に関して模擬体験を交えた具体的な指導を行うことにより、母性父性の健全な育成を行った。(令和 7 年度 19 回/年開催:うち 12 回は日曜日に開催)

参加者数 (人)

年 度	妊婦	家族	合計
令和 7 年度	307	303	610
令和 6 年度	308	306	614
令和 5 年度	285	283	568

(7) 産前・産後サポート事業

妊産婦および乳児の母親を対象に、電話相談、来所相談、訪問指導等を実施することにより、悩みや不安等を解消し、産前産後に安心して生活が送れるよう支援した。

相談件数（件）

年 度	産 前			産 後			合 計
	電話	訪問	その他	電話	訪問	その他	
令和 7 年度	170	66	59	22	703	58	1,078
令和 6 年度	157	88	38	24	572	42	921
令和 5 年度	142	60	24	31	651	2	910

(8) 産婦健康診査事業

産後 2 週間頃、産後 1 か月頃の時期に、母体の回復状況や授乳状況、精神状態を把握し、早期に必要な支援につなぐことで、産後うつ等を予防するため、産科医療機関等に委託して、健康診査を実施した。

① 県内医療機関受診件数（件）

	実施時期	受診件数	うちエジンバラ産後うつ病質問票（EPDS） 9 点以上 または 質問項目 10 番 1 点以上件数
令和 7 年度	産後 2 週間	1,596	186（11.7%）
	産後 1 か月	1,811	161（8.9%）
	計	3,407	347（10.2%）
令和 6 年度	産後 2 週間	1,535	183（11.9%）
	産後 1 か月	1,748	160（9.2%）
	計	3,283	343（10.4%）
令和 5 年度	産後 2 週間	1,526	169（11.1%）
	産後 1 か月	1,771	162（9.1%）
	計	3,297	331（10.0%）

② 県外医療機関等受診費用補助申請人数（人）

年 度	補助申請人数
令和 7 年度	148
令和 6 年度	134
令和 5 年度	172

③ 県外医療機関等受診費用補助回数（回）

年 度	補助申請回数（回）	うちエジンバラ産後うつ病質問票（EPDS）9 点以上 ＋質問項目 10 番 1 点以上件数（件）
令和 7 年度	263	19
令和 6 年度	233	27
令和 5 年度	274	27

④ 県内医療機関＋県外医療機関受診状況（合計）

	実施時期	受診件数 (件)	うちエジンバラ産後うつ病質問票（EPDS）9 点 以上 または 質問項目 10 番 1 点以上件数（件）
令和 7 年度	産後 2 週間	1,707	198（11.6%）
	産後 1 か月	1,959	168（8.6%）
	計	3,666	366（10.0%）
令和 6 年度	産後 2 週間	1,633	197（12.1%）
	産後 1 か月	1,883	173（9.2%）
	計	3,516	370（10.5%）
令和 5 年度	産後 2 週間	1,628	184（11.3%）
	産後 1 か月	1,943	174（9.0%）
	計	3,571	358（10.0%）

(9) 1か月児健康診査費用補助事業

おおむね生後1か月の乳児を対象に、医療機関等で実施する健康診査にかかる費用の一部を補助することにより、保護者の経済的負担の軽減を図るとともに、早期に子どもの健康状態を把握して必要な支援につなげた。(令和4年4月開始)

① 補助件数(件)

	県内	県外補助	合計
令和7年度	1,765	157	1,922
令和6年度	1,722	130	1,852
令和5年度	1,703	176	1,879

② 結果内訳(県内医療機関実施分)(件)

	異常なし	要指導	既医療	要観察	要紹介(要精査、要治療含む)	要精査	要治療	合計
令和7年度	1,627	0	40	70	27	(5)	(1)	1,764
令和6年度	1,558	0	57	79	23	(7)	(5)	1,717
令和5年度	1,583	12	39	38	0	18	13	1,703

※結果判明分のみ記載。

※令和6,7年度の要精密、要治療は要紹介に含まれるため、再掲。

(10) 新生児聴覚検査費用補助事業

聴覚障害を早期に発見し、できるだけ早く適切な支援を受けられるように、生後間もない時期の新生児に対して実施する聴覚検査に要する費用の一部を助成した。

① 補助件数(全員に対して補助:令和4年4月開始)(件)

	県内	県外補助	合計	リファ－児
令和7年度	1,581	136	1,717	22
令和6年度	1,489	130	1,619	20
令和5年度	1,561	157	1,718	25

② 生活保護世帯及び市民税非課税世帯への補助

経済的な理由で、出生後に新生児聴覚スクリーニング検査を受けられず、先天性難聴の発見が遅れることがないよう、生活保護受給世帯、市民税非課税世帯の人に対して、検査費用の成を行った。(平成28年4月開始)

補助件数(件)

年度	所得状況	交付決定件数
令和7年度	生活保護受給世帯	0
	非課税世帯	2

	課税世帯（対象外）	0
	合計	2
令和 6 年度	生活保護受給世帯	1
	非課税世帯	4
	課税世帯（対象外）	0
	合計	5
令和 5 年度	生活保護受給世帯	0
	非課税世帯	2
	課税世帯（対象外）	0
	合 計	2

（１１）産後ケア事業

心身ともに不安定になりやすい産後 1 年未満の時期に、自身の体調や育児に不安がある人や、育児支援を必要とする母子に対して、家庭訪問や医療機関等の施設において、助産師等による、乳房管理や沐浴を含む心身のケアおよび育児サポートを行った。

（三重県助産師会、県内医療機関等に委託）

○利用内訳（延べ人数）

（ ）内は実人員

年 度	訪問型	デイケア型	宿泊型	合計利用回数（延べ回数）（回）	利用決定件数（件）
令和 7 年度	372（156）	933（298）	238（64）	1,543	558
令和 6 年度	331（164）	652（240）	228（62）	1,211	679
令和 5 年度	234（104）	410（153）	126（38）	770	279

※平成 29 年 10 月から訪問型を開始、令和 3 年 4 月から利用期間を産後 1 年までに拡大、令和 3 年 7 月からデイケア型と宿泊型を開始。令和 6 年 4 月から支援状況の有無についての条件を緩和。利用回数は計 7 回まで。

（１２）多胎児産後ケア事業

多胎児育児の負担や不安の軽減を図るため、多胎児家庭に助産師が訪問し、心身のケアや育児サポートを行った（三重県助産師会に委託）。

○利用内訳

年 度	利用者数（人）	延べ件数（件）
令和 7 年度	12	28
令和 6 年度	17	52
令和 5 年度	10	25

(13) 妊婦等包括相談支援事業

児童福祉法に基づき、妊娠時から妊産婦等に寄り添い、出産・育児等の見通しを立てるための面談や継続的な情報発信等を行うとともに、必要な支援につなぐ「伴走型相談支援」を実施した。(令和6年度までは、出産・子育て応援事業に基づく、伴奏型相談支援として実施)

① 妊娠届出時の保健師等面談実施件数 (件)

年 度	こども家庭センター 窓口で面談	家庭訪問にて面談	オンライン面談 (スマートフォンによる)	計
令和7年度	1,490 (72.9%)	0	554 (27.1%)	2,044
令和6年度	1,490 (71.7%)	2 (0.1%)	585 (28.2%)	2,077
令和5年度	1,329 (65.8%)	—	691 (34.2%)	2,020

② 妊娠8か月アンケート (令和5年9月から実施) (件)

年 度	送付人数	回答者数	面談希望者 (面談実施者)
令和7年度	1,923	1,162	40
令和6年度	1,858	1,361	65
令和5年度	1,231	754	37

③ 出生後の面談実施件数 (件)

年 度	専門職面談	赤ちゃん訪問員に よる面談	計
令和7年度	837 (41.0%)	1,203 (59.0%)	2,040
令和6年度	701 (37.6%)	1,161 (62.4%)	1,862
令和5年度	577 (31.0%)	1,282 (69.0%)	1,859

(14) 妊婦のための支援給付事業

子ども・支援法に基づき、子育て妊婦の産前産後期間における身体的・精神的・経済的負担を軽減し、妊婦や胎児である子どもの保健及び福祉の向上に寄与することを目的として給付。(令和7年4月開始)

(対象)

- 1回目…胎児心拍確認後、令和7年4月以降妊婦給付認定を受けた方。
- 2回目…妊娠している子どもの数を届出された方。(主に産後、赤ちゃん訪問を受けた産婦)

マタニティ給付金(妊婦のための支援給付金)支給件数(件)

年 度	1 回 目	2 回 目
令和7年度	2,166	1,913

(15) 出産・子育て応援事業

妊娠届出時から、妊婦や子育て家庭に寄り添って相談に応じ、必要な支援につなぐ「伴奏型相談支援」と、出産・育児関連用品の購入や子育て支援サービスの利用にかかる負担を軽減するための経済的支援を一体的に実施した。(令和7年度から、子ども・子育て支援法に基づく「妊婦等包括相談支援事業」及び「妊婦のための支援給付事業」へ移行。)

※令和7年度対象者は、令和7年3月31日までに面談及び申請した人。

出産・子育て応援金支給件数 (件)

年 度	出産応援金 (※1)	子育て応援金 (※2)
令和7年度	1	345
令和6年度	2,090	1,869
令和5年度	5,206	3,832

- ※1 ・令和5年3月1日以降に妊娠届出をした妊婦に対して5万円支給。
 ・令和6年2月29日までの遡及対象：令和4年4月1日から令和5年2月28日までに妊娠届出をした人、令和4年4月1日から令和5年2月28日までに出生した児童の母。
- ※2 ・令和5年3月1日以降に出生届出をした子の養育者に対して5万円支給。
 ・令和6年2月29日までの遡及対象：令和4年4月1日から令和5年2月28日までに出生した児童を養育する人。

2) 児の発達、成長の確認のために

(1) 乳児一般健康診査

4か月児、10か月児を対象に、健康診査(医療機関に委託)を実施し、成長の確認とともに、障害等を早期に発見して必要な支援につなげた。

受診者数(人)

年 度	4か月児健康診査			10か月児健康診査		
	対象者数	受診者数	受診率(%)	対象者数	受診者数	受診率(%)
令和7年度	1,961	1,917	97.8	1,891	1,853	98.0
令和6年度	1,916	1,844	96.2	1,974	1,860	94.2
令和5年度	2,057	2,013	97.9	2,138	2,086	97.6

(2) 1歳6か月児健康診査

1歳6か月児を対象に健康診査を実施し、心身の障害等を早期に発見し、適切な支援につなげるとともに、生活習慣の自立、むし歯の予防、栄養、その他育児に関する指導を行い、幼児の健康の保持及び増進を図った。(年間36回開催)

受診者数(人)

年 度	対象者数	受診者数	受診者のうち		受診率(%)
			経過 観察者数	経過 観察率(%)	
令和7年度	1,918	1,866	433	23.2	97.3
令和6年度	2,097	2,068	543	26.3	98.6
令和5年度	2,257	2,202	640	29.1	97.6

(3) 3歳児健康診査

3歳児を対象に、健康診査を実施し、視聴覚、運動・発達等心身障害やその他疾病等の進行を未然に防止するとともに、生活習慣の自立、むし歯の予防、栄養、その他育児に関する指導を行い、幼児の健康の保持及び増進を図った。(年間36回開催)

受診者数(人)

年 度	対象者数	受診者数	受診者のうち		受診率(%)
			経過 観察者数	経過 観察率(%)	
令和7年度	2,128	2,059	97	4.7	96.8
令和6年度	2,073	2,013	208	10.3	97.1
令和5年度	2,375	2,281	235	10.3	96.0

(4) 乳幼児事後継続指導心理発達相談

健診や相談後にその内容に伴い、児と保護者を対象に、心理発達相談員による心身の発達・育児不安等の継続指導を行い、児の健康増進、保護者への育児支援を図った。必要な場合には専門機関の紹介を行った。

相談者数(人)

年 度	心身の発達相談数	育児不安相談数	合計
令和7年度	446	0	446
令和6年度	461	1	462
令和5年度	488	9	497

(5) 親子教室「ラッコ」、「イルカ」

各種健診、相談において、発達遅滞・発達障害が疑われる児や育児不安のある保護者を対象に、定期的な集団指導を行うことにより、児の発達を促すための適切な関わり方を学ぶ機会を

設け、育児不安の解消を図った。

- ① 親子教室「ラッコ」参加者数（人）：概ね1歳6か月から2歳6か月頃の幼児。

（年間12回開催）

年 度	実人員	延人員
令和7年度	36	89
令和6年度	41	93
令和5年度	40	97

- ② 親子教室「イルカ」参加者数（人）：概ね2歳6か月以上の幼児。

（年間12回開催）

年 度	実人員	延人員
令和7年度	22	51
令和6年度	27	60
令和5年度	31	78

3）育児支援

（1）育児相談室 すくすくルーム

妊娠期から、子育て期にわたる様々な不安や悩みについて、気軽に立ち寄り保健師や看護師に相談できる場として「すくすくルーム」を開設。必要な指導、助言を行った。

相談者数（人）

※平成28年4月開設

年 度	相談者数		
	乳 児	幼 児	合計
令和7年度	1,031	424	1,455
令和6年度	968	471	1,439
令和5年度	811	409	1,220

（2）妊産婦・乳幼児電話・来所相談

妊産婦または乳幼児の保護者を対象に、母性または乳幼児の健康保持及び増進のために、電話または来所により、随時、必要な指導助言を行った。

相談者数（人）

※妊娠届出時の保健師等面談実施件数より再掲

年 度	総数	相談状況内訳	
		来所相談	電話相談
令和7年度	14,094	2,698	11,396
令和6年度	14,129	2,495	11,634
令和5年度	13,234	2,076	11,158

※令和5年度以降来所相談には、妊娠届出時の保健師等面談実施件数を含む

電話相談件数には、出産子育て応援事業(※※)によるオンライン面談件数を含む

※※令和7年度より、妊婦等包括相談支援事業に変更

(3) 訪問指導

妊産婦訪問指導

若年妊産婦、訪問を希望する妊産婦または医療機関からの情報提供を受けた妊産婦を対象に、保健師や助産師が家庭訪問し、妊娠、出産、育児等を支援した。

新生児訪問指導（生後 28 日未満の児）

訪問希望または医療機関からの情報提供を受けた新生児を対象に、保健師や助産師が家庭訪問し、新生児の発育、栄養、環境、疾病予防等を支援した。

乳幼児訪問指導

生後 28 日以降の乳児で、訪問希望または、育児等に支援を必要とする児を中心に日常生活における適切な育児指導を実施することにより、児の健全な発達を支援した。

実施者数（人）：市内に住所のある人

年 度	妊 婦		産 婦		新生児 (未熟児を除く)		乳児（新生児、 未熟児を除く）	
	実人員	延人員	実人員	延人員	実人員	延人員	実人員	延人員
令和 7 年度	47	61	986	1,231	53	238	1,833	2,758
令和 6 年度	61	66	739	1,367	135	139	1,896	2,718
令和 5 年度	60	76	700	1,316	84	114	2,059	2,741

未熟児		幼児		その他		合計	
実人員	延人員	実人員	延人員	実人員	延人員	実人員	延人員
151	230	65	147	44	45	3,179	4,710
128	234	95	153	54	55	3,108	4,732
165	317	73	130	53	60	3,194	4,754

(4) 乳児家庭全戸訪問事業（こんにちは赤ちゃん訪問事業）

おおむね生後4か月に達するまでの乳児がいる家庭を、保健師、助産師、看護師及びこんにちは赤ちゃん訪問員が全戸訪問し、子育て支援に関する情報提供を行うとともに、支援が必要な家庭に対しては適切なサービスの提供に結びつけた。（※訪問指導より、再掲）

内訳（人）

	対象者数 (実人員)	内訳							
		在宅	不在	訪問 拒否	転居	死亡	面接 電話	居住実 態不明	その他
令和7年度	2,044	2,022	0	0	16	0	4	0	2
令和6年度	1,946	1,923	1	0	14	1	6	0	1
令和5年度	2,074	2,035	3	0	16	4	14	0	2

- ・長期里帰りや、入院者、転居予定者等で、訪問できない場合は電話や来所時面接で対応
- ・4か月を超えてからも訪問や電話、予防接種や4か月児健康診査の受診状況の確認で全て状況把握済
- ・その他は施設入所児、国外生活児

訪問者内訳（人）

年 度	内 訳				うち、市とこんにちは赤ちゃん訪問員が重ねて訪問した者
	市スタッフ		こんにちは赤ちゃん訪問員		
	対象者数 (実人員)	うち継続 支援者	対象者数 (実人員)	うち継続 支援者	
令和 7 年度	829 (40.6%)	507	1,215 (59.4%)	179	0
令和 6 年度	753 (38.6%)	440	1,196 (61.4%)	155	3 (再掲)
令和 5 年度	694 (33.0%)	434	1,406 (67.2%)	182	26 (再掲)

(5) はじめまして絵本事業

赤ちゃんと保護者が絵本を通じてふれあう時間を持ち愛着を育むことを目的として、こんにちは赤ちゃん訪問の際に「はじめまして絵本選考会」で選定したおすすめ絵本5冊の中から、保護者が希望する1冊を配付した。また、併せて地域の子育て支援センターや市立図書館で行なわれている絵本の読み聞かせ等の情報提供を行なった。（対象者：令和7年4月1日以降の出生）

○令和7年度おすすめ絵本と各配付数（計 1,723冊）

絵本名	配付数(冊)	割合(%)
じゃあじゃあびりびり	182	10.6
いないいないばあ	173	10.0
ぺんぎんたいそう	476	27.6
おつきさまこんばんは	176	10.2
しましまぐるぐる	716	41.6

(6) 乳幼児食教室

乳幼児の養育者を対象に、乳幼児期の食生活の指導を通じて、児の健やかな成長を支援した。

(年間 30 回開催)

参加者数 (組)

年 度	前期 (4～7 か月児)	後期 (8～12 か月児)	合計
令和 7 年度	267	140	407
令和 6 年度	297	162	459
令和 5 年度	264	134	398

(7) パンダひろば

生後 6 か月未満の乳児と保護者を対象に、同年代の子どもを持つ親同士がお互いに育児に関する不安や悩みを共有し、仲間づくりのきっかけとなる教室を開催した。(年間 12 回)

参加者数 (組)

令和 7 年度	令和 6 年度	令和 5 年度
432	517	444

(8) さくらんぼひろば

未就園の多胎児とその保護者、多胎児妊婦とその家族を対象に、保護者同士が、多胎児育児の悩みや不安、および多胎児を育てる喜びや楽しみを共有することで、多胎児育児の負担の軽減となる教室を開催した。(年間 12 回)

参加者数 (人)

年 度	令和 7 年度	令和 6 年度	令和 5 年度
組	70	65	50
人数	235	242	159

(9) ふたご・みつごファミリー交流会

相好アリーナ四日市 (四日市市総合体育館) で多胎児家庭(多胎妊婦含む)の交流会を開催した。

(令和4年度から年1回開催)

	開 催 日	場 所	参加組数	参加者数
令和 7 年度	令和 7 年 11 月 23 日(日)	相好アリーナ四日市	12	54
令和 6 年度	令和 6 年 12 月 1 日(日)	四日市市総合体育館	19	81
令和 5 年度	令和 5 年 12 月 17 日(日)	四日市市総合体育館	13	51

4) 子どもの歯を守るために

(1) 妊婦歯科幼児歯科健康診査

妊婦に対する歯科健康診査を実施することにより、妊婦及び生まれてくる子の口腔衛生の向上を図り、また幼児に対する歯科健康診査とフッ素塗布を実施することにより、乳歯の歯質の強化とう蝕予防を図った。(令和3年4月開始)

① 受診者数(人)

年 度	妊婦歯科健康診査			幼児歯科健康診査		
	対象者数	受診者数	受診率	対象者数	受診者数	受診率
令和7年度	2,149	804	37.4	2,051	853	41.6
令和6年度	2,175	782	36.0	2,156	858	39.8
令和5年度	2,165	724	33.4	2,086	837	40.1

② 妊婦歯科健康診査受診結果の内訳

	異常なし	要指導	要精検	要治療	合計
令和7年度	341	176	25	262	804
令和6年度	314	167	19	282	782
令和5年度	288	180	23	233	724

③ 幼児歯科健康診査受診結果の内訳

	異常なし	要指導	要医療	治療中	合計	フッ素塗布 (再掲)
令和7年度	573	256	23	1	853	810
令和6年度	560	269	28	1	858	820
令和5年度	547	249	38	3	837	803

(2) 1歳のバースデー歯科教室

生後10か月から1歳4か月未満の乳幼児と保護者を対象に、萌出間もない乳歯を含む口腔清掃方法の指導およびむし歯予防の啓発を行い、乳歯・永久歯の健全な育成、保持を図った。(令和7年度30回/年開催)

参加者数

年度	令和7年度	令和6年度	令和5年度
組	344	330	297
子ども(人)	347	332	301
保護者(人)	392	373	339

(3) 2歳のバースデー歯科教室

2歳0か月から2歳4か月未満の幼児と保護者を対象に、むし歯予防の啓発と指導、希望者に対するフッ化物応用を行い、乳歯・永久歯の健全な育成、保持を図った。(令和7年度18回)

/年開催)

参加者数

年度	令和 7 年度	令和 6 年度	令和 5 年度
組	181	202	196
子ども (人)	184	204	196
保護者 (人)	209	235	221

5) 地域での子育て支援

(1) 他機関における子育て支援事業への支援

保育園、子育て支援センターなど身近な育児の交流の場へ、保健師や看護師、栄養士が出向いて育児相談を行いました。関係機関や民生児童委員らと連携した育児支援を行うことにより、育児不安の解消を図った。

参加者数 (人)

事業名	令和 7 度			令和 6 年度			令和 5 年度		
	参加回数	教育参加者数	相談者数	参加回数	教育参加者数	相談者数	参加回数	教育参加者数	相談者数
子育て支援C (保育園併設型)	40		159	43		160	44		152
子育て支援C (単独型)	21		102	18		89	19		86
民生委員 児童委員主催等	23		102	21		60	19		60
保育園あそぼう会	2		6	1		5	2		8
その他 (※)	0		0	1		6	3		20
保健師相談計	86		369	84		320	87		326
管理栄養士相談	43		203	37		191	36		176
管理栄養士 依頼による教育等	5	26	26	6	15	15	6	34	7
歯科医師・歯科衛生士 地区依頼	6	87	53	3	56	13	2	39	12

※その他・・・市立四日市図書館、北部児童館

6) 情報提供

(1) 乳幼児事故予防対策

妊産婦、乳幼児と保護者を対象に、乳幼児の事故予防方法について情報提供、指導を行った。
教室は年間 1 回開催、その他、健診や相談の機会に事故予防について啓発を行っている。

参加者数（人）

年度	参加者数	内訳			
		乳児同伴	幼児同伴	妊婦のみ	保護者
令和7年度	90	29	7	0	54
令和6年度	49	8	9	0	32
令和5年度	8	3	0	0	5

7) 中学生ピロリ菌検査事業

日本の胃がんの95%を原因とされているピロリ菌感染の有無を、胃粘膜の萎縮のない若い世代のうちに確認し、除菌治療につなげることで、将来の胃がん発生を予防するため、義務教育年齢である中学3年生に対して、学校検尿などを利用したピロリ菌検査を実施した。（令和3年度から実施）

二次検査で陽性の者は、15歳以上で任意で除菌治療を実施する。令和5年度から、16歳になる年度末までの者を対象に治療後の除菌判定検査の公費補助を開始。

① 1次検査及び2次検査

年度	対象者数	1次検査				2次検査			
		受診者数 (人)	受診率 (受診者数/ 対象者数)	陽性者数 (人)	陽性率 (陽性者/ 受診者数)	受診者数 (人)	受診率 (受診者数/ 対象者数)	陽性者数 (人)	陽性率 (陽性者/ 受診者数)
令和7年度	2,859	2,522	88.2% (2,522/2,859)	114	4.5% (114/2,522)	88	77.2% (88/114)	23	26.1% (23/88)
令和6年度	2,832	2,468	87.1% (2,468/2,832)	111	4.5% (111/2,468)	84	75.7% (84/111)	23	27.4% (23/84)
令和5年度	2,844	2,459	86.5% (2,459/2,844)	138	5.6% (138/2,459)	102	73.9% (102/138)	28	27.5% (28/102)

② 除菌判定検査

年 度	受診者数 (人)	受診率 (受診者数/ (2次検査陽性者数 +前年度からの対象者数))	陽性者数 (人)	陽性率 (陽性者数/受診者数)
令和7年度	19	48.7% (19/ (23+16))	1	5.3% (1/19)
令和6年度	14	34.1% (14/ (23+18))	1	7.1% (1/14)
令和5年度	10	35.7% (10/ (28+0))	1	10% (1/10)

2. 予防接種事業

1) 四日市市予防接種運営委員会

予防接種事業の円滑な運営及び予防接種事故の防止を図るため協議会を開催した。

○運営委員会及び向上部会

開催日	委員会・部会	議 事
令和6年7月28日(金)	四日市市予防接種運営委員会	令和5年度予防接種実績報告 令和6年度予防接種予定について
令和7年1月31日(金)	第1回予防接種率向上委員会	令和6年度予防接種実績について 令和7年度の予防接種について
令和7年7月30日(水)	四日市市予防接種運営委員会	令和6年度予防接種実績報告 令和7年度予防接種予定について
令和8年1月27日(金)	第2回四日市市予防接種運営委員会	令和7年度予防接種事業実績 令和8年度の予防接種について

2) 予防接種者数と接種率について

接種状況

		令和7年度		令和6年度		令和5年度	
		接種者数 (人)	接種率 (%)	接種者数 (人)	接種率 (%)	接種者数 (人)	接種率 (%)
ヒブ	1回目	0	0.0	16	0.8	1,979	91.9
	2回目	0	0.0	177	8.8	2,024	94.0
	3回目	0	0.0	350	17.4	2,063	95.8
	4回目	90	4.5	1,570	72.9	2,103	96.3
小児用肺炎 球菌	1回目	1,960	104.0	1,919	95.6	1,978	91.9
	2回目	1,940	102.9	1,896	94.5	2,025	94.1
	3回目	1,932	102.5	1,861	92.7	2,065	95.9
	4回目	1,812	90.3	1,880	87.3	2,132	97.7
B型肝炎	1回目	1,946	99.5	1,913	98.9	1,978	96.2
	2回目	1,929	98.7	1,893	97.9	2,035	98.9
	3回目	1,936	99.0	1,801	93.1	2,077	101.0
四種混合	1回目	0	0.0	37	1.8	2,146	99.7
	2回目	1	0.1	210	10.5	2,206	102.5
	3回目	1	0.1	388	19.3	2,247	104.4
	追加	348	17.3	1,960	91.0	2,128	97.5

五種混合	1回目	1,964	104.2	1,900	94.7		
	2回目	1,947	103.3	1,715	85.5		
	3回目	1,943	103.1	1,509	75.2		
	4回目	1,757	87.5	331	15.4		
二種混合（ジフテリア、破傷風）学童		1,969	80.1	2,159	2,247	83.7	2,159
不活化 ポリオ	1回目	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	2回目	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	3回目	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	追加	0	0.0	1	0.0	1	0.0
B C G		1,955	100.0	2,089	1,862	96.3	2,089
麻しん 風しん混合 (MR)	1期	1,917	99.8	1,893	90.0	2,127	97.8
	2期	2,234	94.0	2,055	90.3	2,228	94.4
水ぼうそう	1～2歳児 1回目	1,896	98.7	1,903	90.5	2,106	96.9
	1～2歳児 2回目	1,724	89.7	1,910	90.8	1,975	90.8
麻しん	1期	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	2期	0	0.0	0	0.0	0	0.0
風しん	1期	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	2期	0	0.0	0	0.0	0	0.0
日本脳炎	1期1回目	2,038	95.5	2,102	101.3	2,159	93.3
	1期2回目	2,016	94.5	2,067	99.6	2,086	90.1
	1期追加	1,939	92.8	2,071	87.6	1,922	84.2
	2期	2,125	83.8	2,425	99.8	2,661	107.8
HPV (子宮頸がん予防) 2・4価	1回目	2		33		53	
	2回目	10		49		165	
	3回目	18		83		367	
HPV (子宮頸がん予防) 9価	1回目	991		3,847		1,396	
	2回目	1,431		3,219		961	
	3回目	1,159		2,655		539	
ロタリックス	1回目	1,391	71.2	1,518	78.5	1,567	76.2
	2回目	1,401	71.7	1,501	77.6	1,569	76.3
ロタテック	1回目	537	27.5	375	19.4	381	18.5
	2回目	509	26.0	364	18.8	414	20.1

	3回目	480	24.6	355	18.4	413	20.1
合計		49,248		57,861		60,524	

＊日本脳炎予防接種の特例について

平成7年4月2日から平成19年4月1日に生まれた者で、20歳未満にある者は、第1期、第2期の不足分を接種可能。

＊令和6年4月から五種混合ワクチン接種が開始となった。

＊HPVワクチンは、平成25年6月から積極的な勧奨を一時的に差し控えていたが、令和3年11月、「積極的勧奨を差し控えている状態を終了させることが妥当」とされ、本市では令和4年2月から積極的勧奨を再開。

令和4年4月から、積極的勧奨の差し控えにより定期接種の機会を逃した「平成9年4月2日から平成19年4月1日までに生まれた女性」を定期接種の対象とするHPVワクチンキャッチアップ接種が開始し、対象者に個別接種勧奨を実施。キャッチアップ接種が始まり、対象者が大幅に拡大したため、HPVワクチンの接種率は算出していない。

＊HPVワクチンキャッチアップ接種対象期間は令和8年3月末で終了。

＊県外での接種を含む。

3) 予防接種県外医療機関等受診費用補助について

里帰り出産等、都合により、県内で定期予防接種を受けることができない場合に、滞在先の自治体または接種医療機関に接種の依頼を行い、接種後には接種費用に対する補助を行った。

県外医療機関等受診費用補助申請件数（件）

年 度	補助申請件数（件）
令和7年度	105
令和6年度	167
令和5年度	149

4) 任意予防接種費用助成について

(1) おたふくかぜ予防接種費用補助

1歳から小学校入学前1年間になる児を対象に、任意予防接種であるおたふくかぜワクチンの接種費用の一部助成を実施した。

利用件数（件）

	令和7年度	令和6年度	令和5年度
県内医療機関実施（件）	3,315	3,463	1,993
県外接種費用補助申請（件）	2	2	4
合計（件）	3,317	3,465	1,997

※ 平成26年度から、1歳から4歳を対象に一人1回の助成を開始。

※ 令和6年度から、1歳から小学校就学前までの子を対象に一人2回まで助成。

(2) 特別の理由による任意予防接種費用補助金

平成 29 年度より、骨髄移植手術等の理由により、既に接種済みの定期予防接種の予防効果が期待できないため、再度予防接種が必要であると判断された者に対し、当該予防接種に要する費用の助成を開始した。

利用状況

	令和 7 年度	令和 6 年度	令和 5 年度
利用人数 (人)	2	0	1
利用件数 (件)	5	0	1

(3) ヒトパピローマウイルス感染症に係る任意接種費用補助金

HPV ワクチンの積極的勧奨の差し控えにより、定期接種の機会を逃した平成 9 年 4 月 2 日から平成 17 年 4 月 1 日までの間に生まれた女性が、定期接種の対象年齢を過ぎてから任意で HPV ワクチンを接種した際の費用を助成する。(令和 4 年度から令和 6 年度まで)

利用状況

	令和 6 年度	令和 5 年度
利用人数 (人)	4	2
利用件数 (件)	11	4

※キャッチアップ接種開始前(令和 4 年 3 月 31 日まで)の接種が対象

3. 母子保健統計

※厚生労働省の人口動態調査の調査票情報を利用（全国・三重県の数値は、厚生労働省「人口動態統計」より）

※市の数値はすべて日本人と外国人の合計値



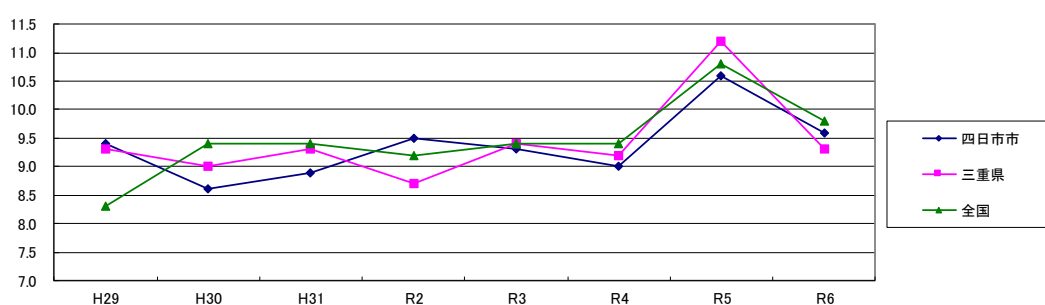
3 低出生体重児の出生割合(出生百対)

※出生時体重2,500g未満

	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6	
低出生体重児数 (外国人を含む)	232	208	211	209	208	197	212	186	
出生数	2,471	2,405	2,368	2,194	2,247	2,193	2,003	1,935	※外国人を含む
四日市市	9.4	8.6	8.9	9.5	9.3	9.0	10.6	9.6	※外国人を含む
三重県	9.3	9.0	9.3	8.7	9.4	9.2	11.2	9.3	※日本人のみ
全国	8.3	9.4	9.4	9.2	9.4	9.4	10.8	9.8	※日本人のみ
※日本人のみ 低出生体重児数	223	197	209	203	200	190	201	175	

低出生体重児の出生割合(出生百対)

図3



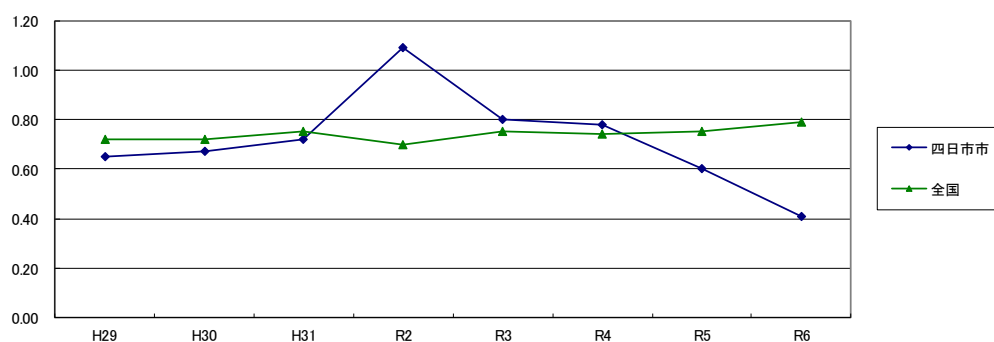
4 極低出生体重児の出生割合(出生百対)

※出生時体重1,500g未満

	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6	
極低出生体重児数 (外国人を含む)	16	16	17	24	18	17	12	8	
出生数	2,471	2,405	2,368	2,194	2,247	2,193	2,003	1,935	※外国人を含む
四日市市	0.65	0.67	0.72	1.09	0.80	0.78	0.60	0.41	※外国人を含む
全国	0.72	0.72	0.75	0.70	0.75	0.74	0.75	0.79	※日本人のみ
※日本人のみ 極低出生体重児数	15	16	17	22	17	17	12	7	

極低出生体重児の出生割合(出生百対)

図4

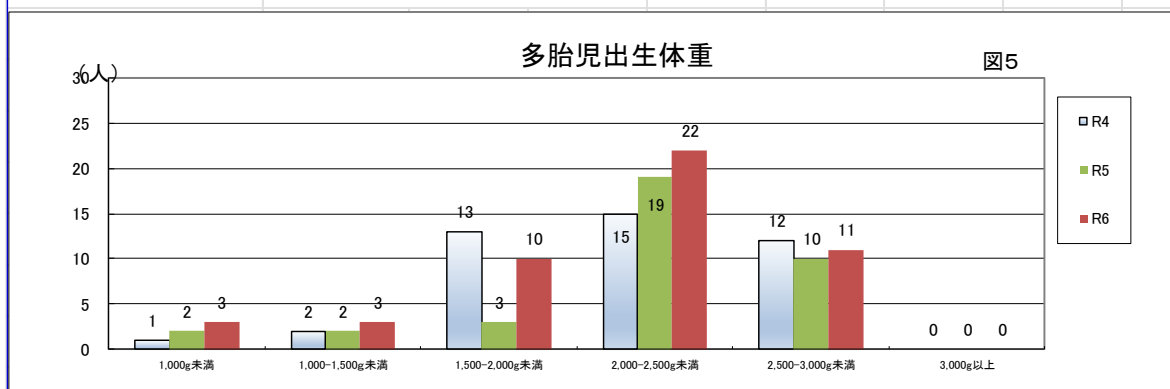


5 多胎出生の状況(四日市市)

(1)多胎児出生時体重

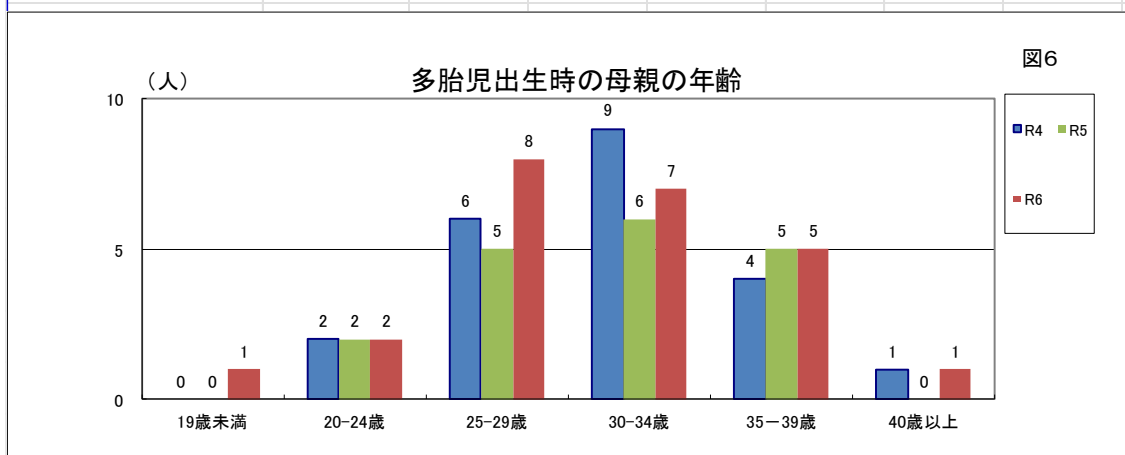
	R4	うち外国人	R5	うち外国人	R6	うち外国人
1,000g未満	1	0	2	0	3	0
1,000-1,500g未満	2	0	2	0	3	0
1,500-2,000g未満	13	0	3	0	10	2
2,000-2,500g未満	15	0	19	2	22	2
2,500-3,000g未満	12	0	10	2	11	0
3,000g以上	0	0	0	0	0	0
計	43	0	36	4	49	4

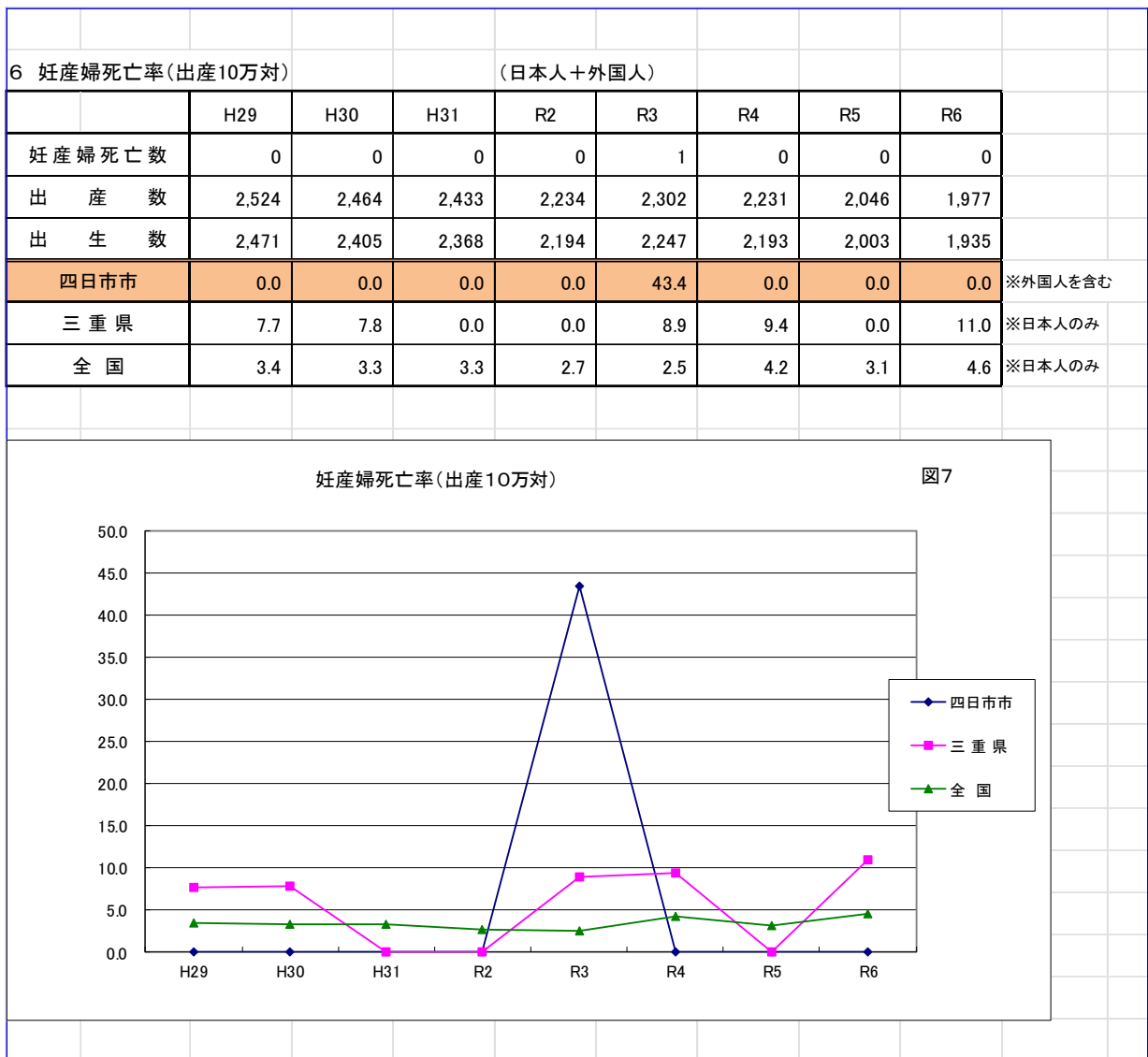
※すべて双胎(1件…出生1)



(2)多胎児出生時の母親の年齢

	R4	うち外国人	R5	うち外国人	R6	うち外国人
19歳未満	0	0	0	0	1	0
20-24歳	2	0	2	1	2	0
25-29歳	6	0	5	1	8	1
30-34歳	9	0	6	0	7	1
35-39歳	4	0	5	0	5	0
40歳以上	1	0	0	0	1	0
計	22	0	18	2	24	2



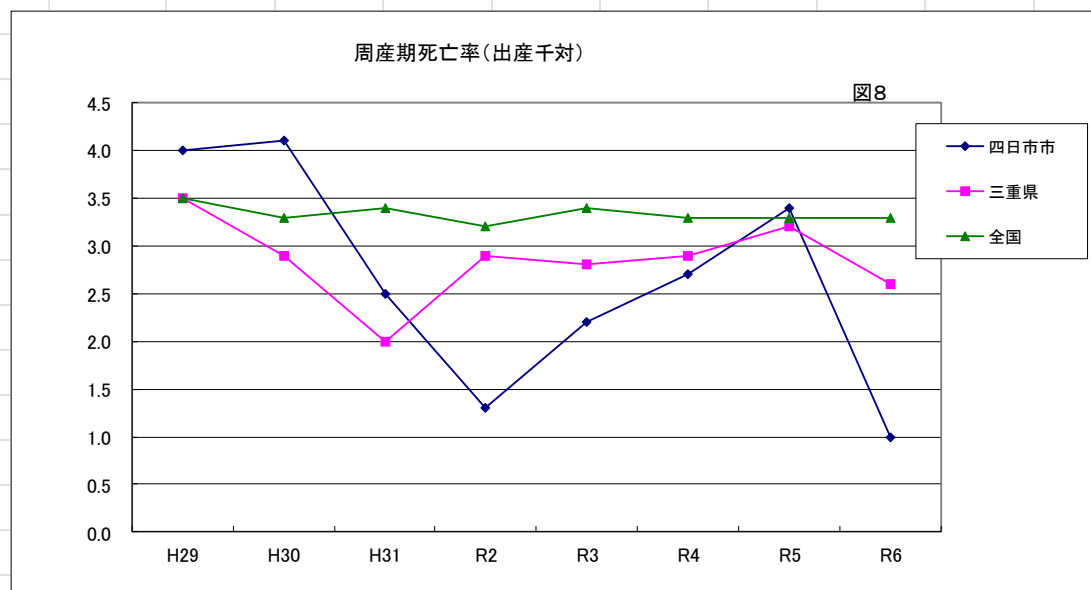


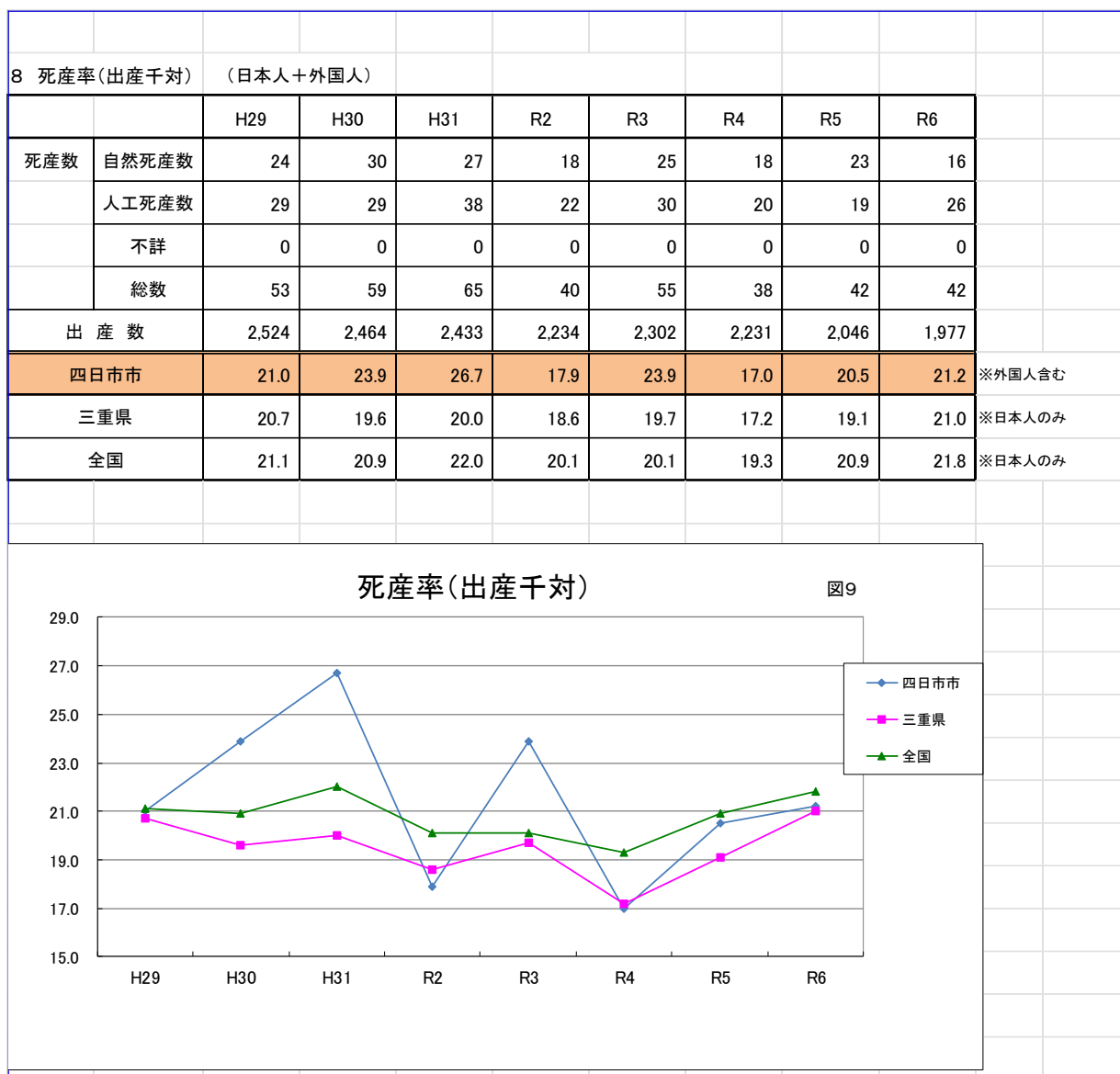
7 周産期死亡率(出産千対)		(日本人+外国人)							
		H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6
周産期 死亡数	妊娠22週以降 の死産数	6	8	6	3	5	6	6	1
	早期新生児死 亡数	4	2	0	0	0	0	1	1
	総数	10	10	6	3	5	6	7	2
出 産 数		2,524	2,464	2,433	2,234	2,302	2,231	2,046	1,977
四 日 市 市		4.0	4.1	2.5	1.3	2.2	2.7	3.4	1.0
三 重 県		3.5	2.9	2.0	2.9	2.8	2.9	3.2	2.6
全 国		3.5	3.3	3.4	3.2	3.4	3.3	3.3	3.3

※外国人を含む

※日本人のみ

※日本人のみ





9 乳児・幼児死亡率

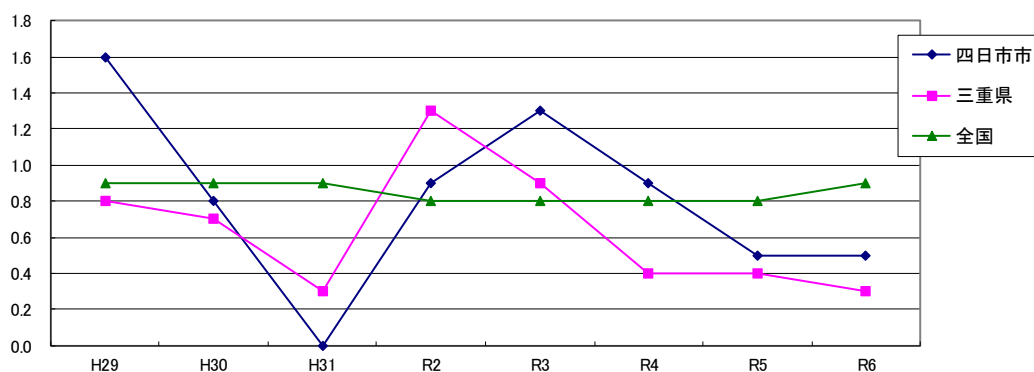
(1) 新生児死亡率(出生千対)

(日本人+外国人)

	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6	
新生児死亡数	4	2	0	2	3	2	1	1	
出生数	2,471	2,405	2,368	2,194	2,247	2,193	2,003	1,935	
四日市市	1.6	0.8	0.0	0.9	1.3	0.9	0.5	0.5	※外国人を含む
三重県	0.8	0.7	0.3	1.3	0.9	0.4	0.4	0.3	※日本人のみ
全国	0.9	0.9	0.9	0.8	0.8	0.8	0.8	0.9	※日本人のみ

新生児死亡率(出生千対)

図1



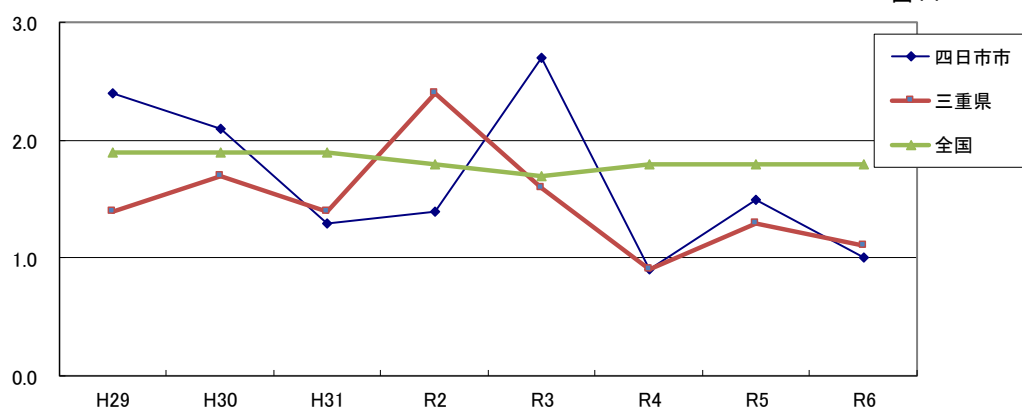
(2) 乳児死亡率(出生千対)

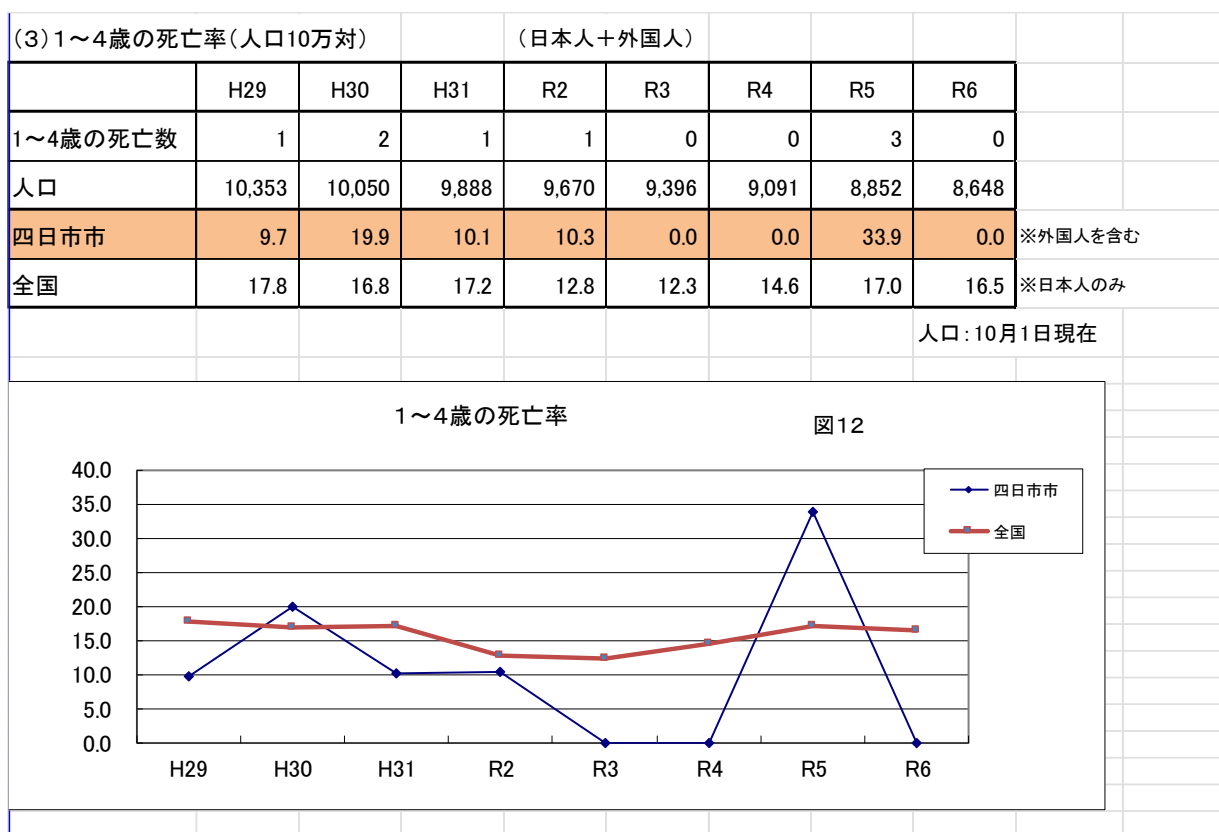
(日本人+外国人)

	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6	
乳児死亡数	6	5	3	3	6	2	3	2	
出生数	2,471	2,405	2,368	2,194	2,247	2,193	2,003	1,935	
四日市市	2.4	2.1	1.3	1.4	2.7	0.9	1.5	1.0	※外国人を含む
三重県	1.4	1.7	1.4	2.4	1.6	0.9	1.3	1.1	※日本人のみ
全国	1.9	1.9	1.9	1.8	1.7	1.8	1.8	1.8	※日本人のみ

乳児死亡率(出生千対)

図11





10 不慮の事故死亡率

(1) 0歳 (人口10万対)

(日本人+外国人)

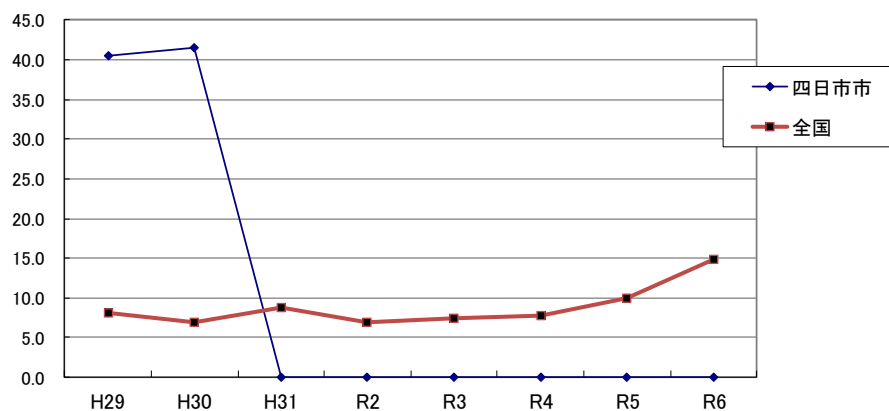
	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6
不慮の事故死亡数	1	1	0	0	0	0	0	0
出生数	2,471	2,405	2,368	2,194	2,247	2,193	2,003	1,935
四日市市	40.5	41.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
全国	8.1	7.0	8.7	6.9	7.5	7.8	10.0	14.9

※外国人を含む

※日本人のみ

不慮の事故死亡率 0歳

図13



(2) 1～4歳 (人口10万対)

(日本人+外国人)

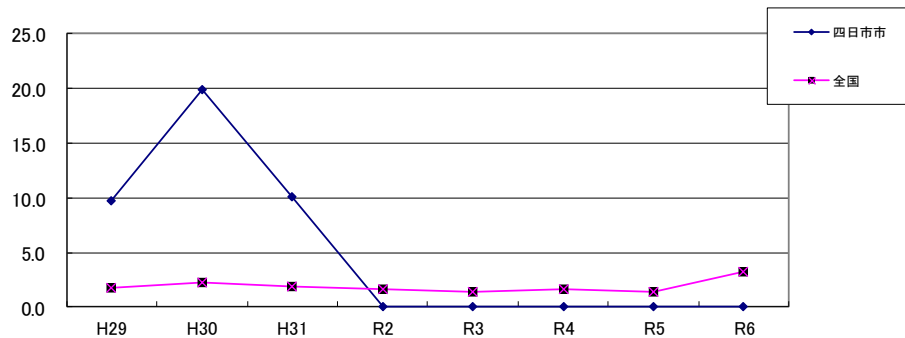
	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6
不慮の事故死亡数	1	2	1	0	0	0	0	0
人口	10,353	10,050	9,888	9,670	9,396	9,091	8,852	8,648
四日市市	9.7	19.9	10.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
全国	1.8	2.2	1.9	1.6	1.4	1.7	1.4	3.2

※外国人を含む

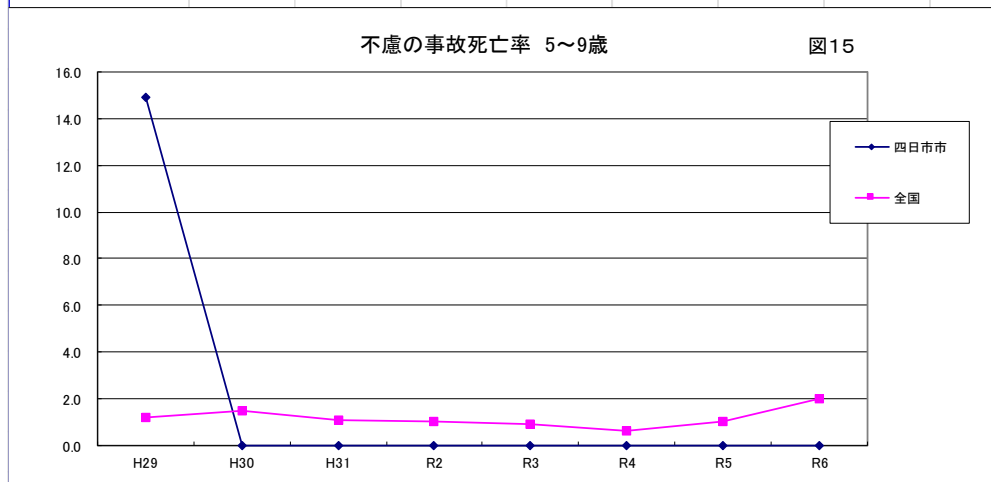
※日本人のみ

不慮の事故死亡率 1～4歳

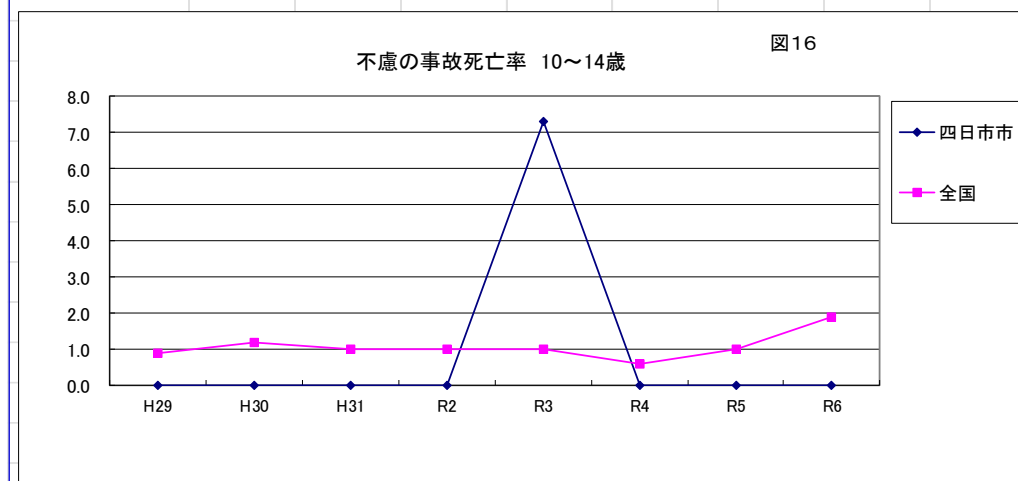
図14

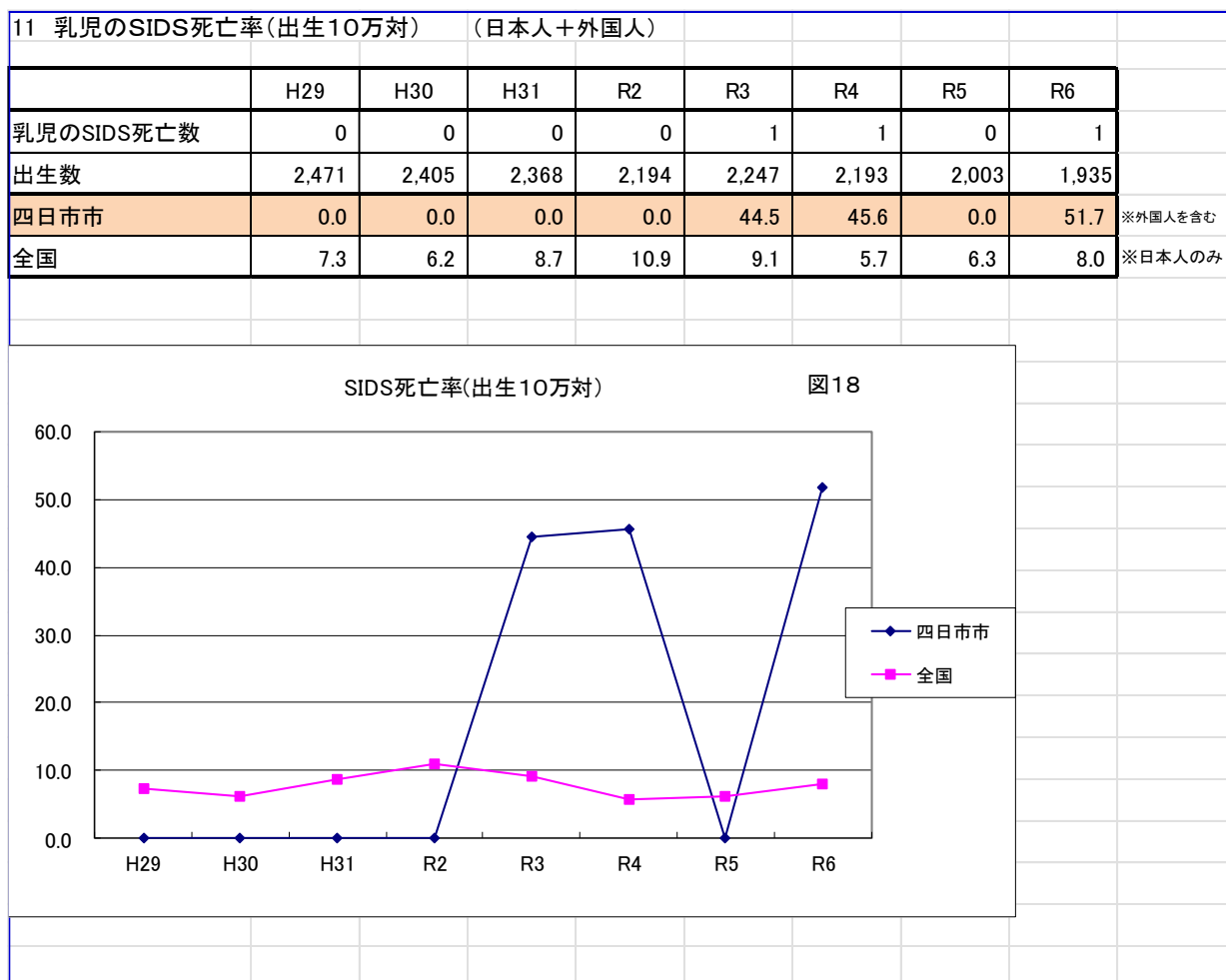
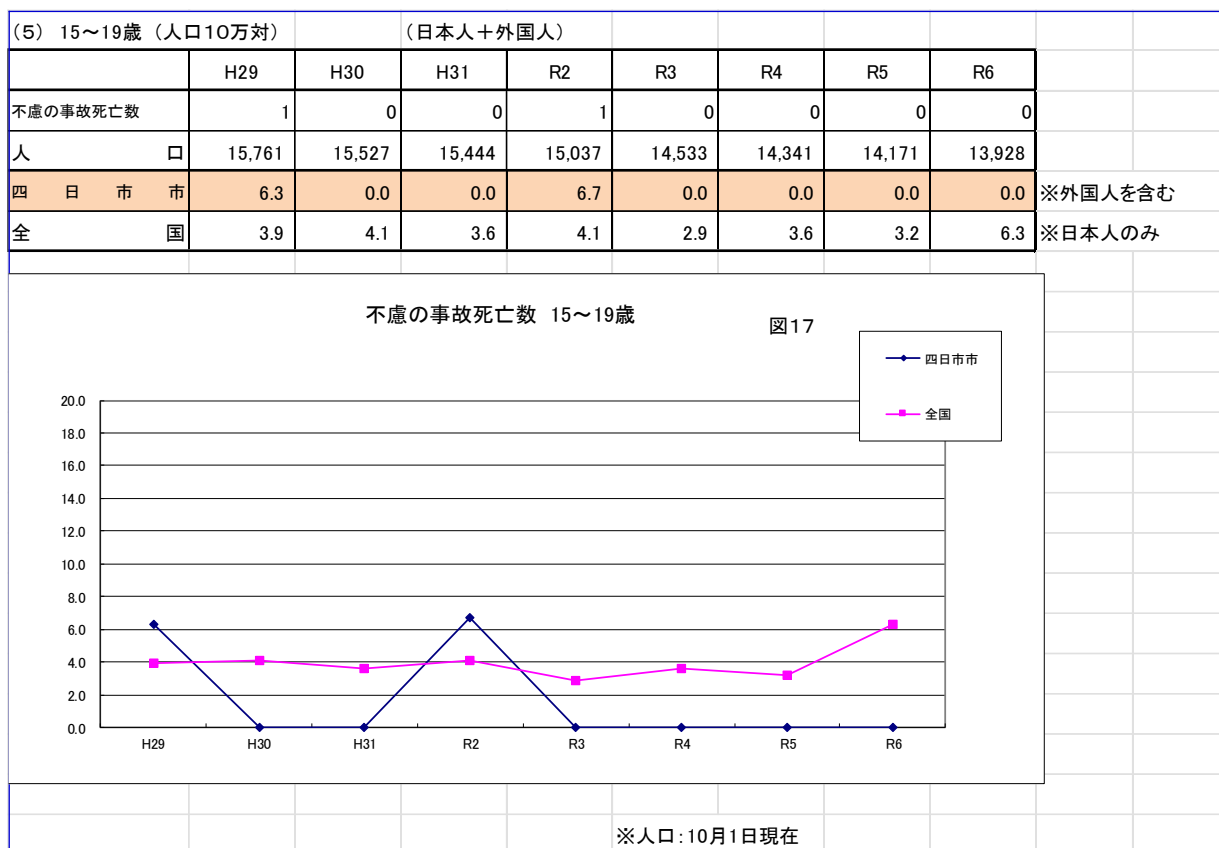


(3) 5～9歳 (人口10万対)		(日本人+外国人)							
	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6	
不慮の事故死亡数	2	0	0	0	0	0	0	0	
人 口	13,659	13,611	13,295	13,182	12,999	12,656	12,340	12,126	
四 日 市 市	14.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	※外国人を含む
全 国	1.2	1.5	1.1	1.0	0.9	0.6	1.0	2.0	※日本人のみ



(4) 10～14歳 (人口10万対)		(日本人+外国人)							
	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6	
不慮の事故死亡数	0	0	0	0	1	0	0	0	
人 口	14,415	14,133	13,837	13,881	13,776	13,595	13,526	13,249	
四 日 市 市	0.0	0.0	0.0	0.0	7.3	0.0	0.0	0.0	※外国人を含む
全 国	0.9	1.2	1.0	1.0	1.0	0.6	1.0	1.9	※日本人のみ





12 10代の自殺率(人口10万対)

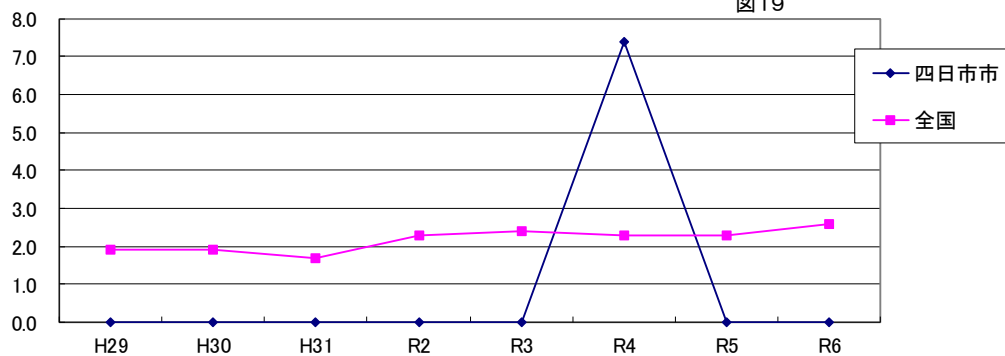
(1) 10～14歳

(日本人+外国人)

	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6	
10～14歳の自殺数	0	0	0	0	0	1	0	0	
人 口	14,415	14,133	13,837	13,881	13,776	13,595	13,526	13,249	
四 日 市 市	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.4	0.0	0.0	※外国人を含む
全 国	1.9	1.9	1.7	2.3	2.4	2.3	2.3	2.6	※日本人のみ

10～14歳の自殺率(人口10万対)

図19



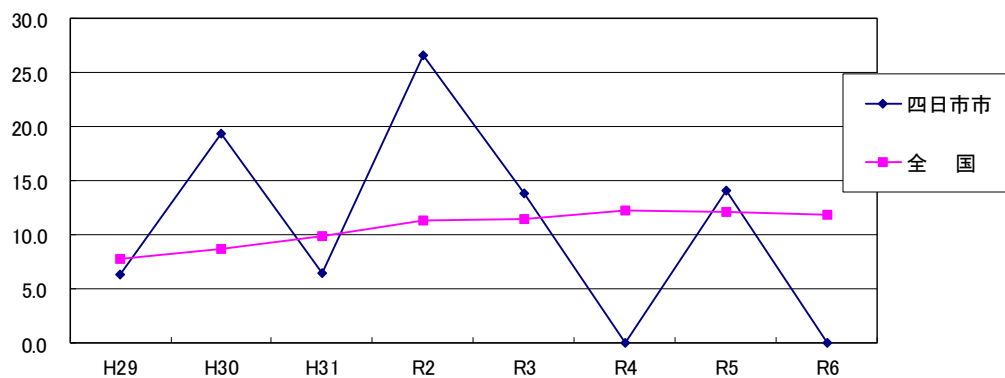
(2) 15～19歳 (人口10万対)

(日本人+外国人)

	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6	
15～19歳の自殺数	1	3	1	4	2	0	2	0	
人 口	15,761	15,527	15,444	15,037	14,533	14,341	14,171	13,928	
四日市市	6.3	19.3	6.5	26.6	13.8	0.0	14.1	0.0	※外国人を含む
全 国	7.8	8.7	9.9	11.4	11.5	12.2	12.1	11.8	※日本人のみ

15～19歳の自殺率(人口10万対)

図20



VII. 保健所内

1. 学生実習

地域保健活動の中核として、保健・医療・福祉分野に従事する人材育成のため実習受け入れを行った。

学校名	実習生数	実習期間	実習内容
三重大学医学部（医学生及び看護学生）	計 14 人	1) 1 年生 7 人 10 月 3 日 2) 2 年生 7 人 10 月 31 日	1) ヘルスプラザで開催された「脳力リフレッシュ教室」に参加 2) 生活習慣病予防に関するパンフレットを作成し、ステキ健康サポーターの会役員および公園ステキの会の世話人に配布と説明を行い、内容に関するアンケートを実施
金城学院大学（管理栄養士）	1 人	6 月 16 日～6 月 20 日	保健所業務の説明、公立保育園見学、1 歳 6 ヶ月児・3 歳児健診見学、乳幼児食教室見学
名古屋葵大学（管理栄養士）	2 人		
至学館大学（管理栄養士）	1 人		
名古屋文理大学（管理栄養士）	1 人		
四日市看護医療大学	計 184 人	4 年生：23 人 6 月 30 日（月）～9 月 19 日（金） （5 グループに分かれて学内実習を含む延べ各 8.5 日間）	1) 集中講義 2) 各保健事業の見学、健康教育の実施等
三重県立看護大学	計 60 人	3 年生：5 人 令和 8 年 2 月 10 日（火）～ 令和 8 年 2 月 27 日（金） （12 日間）	各保健事業の見学、健康教育の実施等
四日市医師会看護専門学校	計 46 名	2 年生：46 人 令和 7 年 11 月 6 日（木）	講義
ユマニテク看護助産専門学校	計 12 名	助産専攻科 6 名 （2 グループに分かれて 2 日間）	各保健事業の見学等

		令和7年7月17日～7月18日 令和7年7月24日～7月25日	
--	--	------------------------------------	--

2. 「1日看護体験」の実施

三重県が主催する「1日看護体験」事業への協力を行った。本事業は、高校生が医療機関において看護業務を見学・体験することにより、看護の実際を理解し、看護職を志望するきっかけづくりとすることを目的として、下記のとおり実施された。

市内参加高校数	参加人数	実施日	受入先医療機関数
11校	102名	令和7年8月1日 令和7年8月7日	11病院

3. 臨床研修医研修

地域保健活動の中核として、臨床研修医の受け入れを行い、保健所の役割についての理解を目標とした研修を実施した。

病院名	研修医数	研修期間	研修内容
市立四日市病院	1人	令和7年6月30日～7月4日	講義、各保健事業の見学

保健衛生事業の概要

令和7年度実施
(令和8年度版)

編集・発行

四日市市 健康福祉部 保健企画課

四日市市諏訪町2番2号

電話 (059) 352-0585

ホームページ <http://www.city.yokkaichi.mie.jp>